

令和4年度

病院年報

地方独立行政法人 堺市立病院機構

堺市立総合医療センター

理 念

すべての患者さんの権利と人格を尊重し、安心・安全で心の通う医療を提供します。

憲 章

- 一、思いやりとふれあいの心がかよう人間尊重の医療サービスを提供します。
- 一、安心と満足を与え、信頼が得られる医療サービスを提供します。
- 一、医療機関との連携を基本として、きめ細かい医療サービスを提供します。
- 一、常に医療水準の向上に努め、専門的かつ高度な医療サービスを提供します。
- 一、地域の中核病院としての役割を認識し、効果的で効率的な医療サービスを提供します。

患者さんの権利に関する宣言

すべての患者さんは個人として人格を尊重され、医療の中心は患者さんである、という理念のもとに最善の医療を受ける権利をもっています。「患者さん中心の医療」を実践するために、患者さんには次の権利があることを宣言します。

1. 平等に医療を受ける権利

患者さんは、社会的地位、民族、国籍、宗教、信条、性、障害の有無などに関わらず、最善の医療を平等に受ける権利があります。

2. 十分な説明と情報を得る権利

患者さんは、わかりやすい言葉や方法で、十分理解し納得できるまで医療に関する説明や情報の提供を受ける権利があります。

3. 自己決定する権利

患者さんは、提供された情報と医療従事者の説明をよく聞き理解したうえで、自分の意志で検査や治療などの医療を受けるか受けないかを決める権利があります。別の医療機関の意見を聞きたい場合は、検査結果の提供を受けたり、紹介状の発行をしてもらうことができます。

4. 自分の受けた医療について知る権利

患者さんは、自分が受けた医療について知る権利があります。そのために、十分な説明を受けることができます。必要な場合には、診療記録の開示などを受けることもできます。

5. 個人情報を守られる権利

患者さんは、診療過程における個人情報を保護され、プライバシーを侵害されない権利があります。

6. 臨床研究に対象として参加するかどうかを自由に決める権利

患者さんは、臨床研究(患者さん自身を対象とした医学研究や開発途上にある治療の実施)に、その目的、方法、危険性などについて、十分に説明を受け理解した上で、研究対象として参加するかどうかを自由に決める権利があります。

以上のような権利を実現するためには、患者さんは自らの権利を自覚するとともに、納得できるまで質問することが大切です。また、医療従事者による医療提供や他の患者さんへの治療に支障を与えないようにする必要があります。

子どもの権利に関する宣言

公益社団法人日本小児科学会に定められている「医療における子ども憲章」に則って、医療における子どもに次の権利があることを宣言します。

1. 人として大切にされ、自分らしく生きる権利
2. 子どもにとって一番良いこと(子どもの最善の利益)を考えてもらう権利
3. 安心・安全な環境で生活する権利
4. 病院などで親や大切な人といっしょにいる権利
5. 必要なことを教えてもらい、自分の気持ち・希望・意見を伝える権利
6. 希望どおりにならなかったときに理由を説明してもらう権利
7. 差別されず、こころやからだを傷つけられない権利
8. 自分のことを勝手にだれかに言われない権利
9. 病気のときにも遊んだり勉強したりする権利
10. 訓練を受けたスタッフから治療とケアを受ける権利
11. 今だけでなく将来も続けて医療やケアを受ける権利



目 次

I 病 院 の 沿 革	1
II 病 院 の 現 状	
概 要	7
病 院 配 置 図	8
組 織 図	10
III 経 理 状 況	
決 算 報 告	13
貸 借 対 照 表	14
損 益 計 算 書	16
IV 業 務 状 況	
入 院 患 者 延 数 (科 別)	17
外 来 患 者 延 数 (科 別)	17
平 均 在 院 日 数 (科 別)	18
救 急 搬 送 受 入 件 数 (救 急 隊 別)	18
新 入 院 (科 別)	19
病 院 新 来 (科 別)	19

総合内科・内科	20
血液内科	20
腎臓内科	20
糖尿病・内分泌・代謝内科	20
呼吸器内科	20
消化器内科	20
循環器内科	20
脳神経内科	20
心療内科	20
小児科	21
がんセンター	21
外科統括部	21
胃食道外科	21
大腸肛門外科	21
肝胆膵外科	21
乳腺・内分泌外科	21
呼吸器外科	21
救命救急科	21
整形外科	22
脳神経外科	22
心臓血管外科	22
皮膚科	22
形成外科	22
泌尿器科	22
産婦人科	22
アイセンター	23
耳鼻咽喉科・頭頸部外科	23
歯科口腔外科	23
放射線治療科	23
放射線診断科・放射線技術科	23
病理診断科	23
麻酔科	23
診療科別手術室件数	24
臨床検査技術科	24
薬剤科	24
リハビリテーション科	24

臨 床 工 学 科	24
栄 養 管 理 科	25
看 護 局	25
病 床 管 理.....	25
救命救急センター.....	25
集中治療センター.....	25
予 防 健 診 科	25

V 研 究 研 修

原著、総説、著書	27
学会研究会報告	45
学 術 講 演	66
院内研究活動	73

I 病院の沿革

病 院 の 沿 革

大正	12年	7月	堺市宿院町東3丁に堺市立公民病院として開設(内科、外科、産婦人科、放射線科)
	14年	7月	堺市立公民病院施設拡張工事完了
昭和	2年	5月	附属看護婦養成所を設置(昭和26年3月閉鎖)
		6月	健康保険法に基づく患者取扱いを開始
	6年	8月	夜間診療開始
	8年	5月	市立堺市民病院と改称し、小児科を新設
	9年	6月	火災により焼失、材木町に臨時診療所を開設
		9月	関西大風水害にて臨時診療所被災
	11年	8月	市立堺市民病院処務規程制定
	13年	9月	堺宿院町西2丁1番1号に市立堺市民病院を再建(鉄筋コンクリート3階建及び木造診療棟)
		12月	耳鼻咽喉科、眼科を新設、市立堺予防(性病)診療所を院内に開設
	19年	9月	市立堺市民病院の木造建築物(1階小児科・産婦人科・2階看護婦寄宿舍)強制疎開のため撤去
	20年	7月	戦火による損傷が甚だしく、府立堺中学校(現府立三国丘高等学校)内に仮診療所を設置
		10月	東館が復旧、診療を開始
	21年	3月	七道西町に分院を開設(昭和23年3月閉鎖)
	22年	5月	歯科を新設
		6月	市立堺花柳病診療所を院内に開設
	23年	7月	結核病棟を増築(52床)
		10月	看護婦寄宿舍(木造平屋建)新築工事竣工
	24年	12月	中館の増築工事起工
	25年	7月	皮膚泌尿器科を新設
		9月	ジェーン台風により被災、病院で救護班を編成し出動
	26年	4月	市立堺病院と改称、中館(鉄筋コンクリート3階建)が完成
		6月	病院運営円滑化のため医長会(幹部会)発足
		9月	市立堺病院において全国公立病院長会議を開催
	27年	6月	夜間診療開始
		8月	東光学園(土塔町)内に市立堺病院東百舌鳥診療所を開設(昭和33年5月閉鎖)
	28年	1月	性病診療所を堺市保健所内に移設
		7月	病院創立30周年記念式挙行
	29年	4月	附属准看護婦養成所を再開(昭和34年3月閉鎖)
		5月	完全看護・完全給食を実施するためインターホンを設置
		10月	給食場(鉄筋コンクリート平屋建て)を増築、完全看護・完全給食を実施
	31年	9月	西看護婦宿舎(鉄筋コンクリート4階建て)完成
	32年	4月	西館(鉄筋コンクリート3階建)及び併設伝染病棟(鉄筋コンクリート3階建)完成
		8月	医療法に基づく総合病院となる
	33年	9月	基準看護・基準給食・基準寝具を実施
		11月	伝染病棟のうち3階部分(28床)を一般病棟に空床利用
	35年	12月	東館4階部分の増築工事完成
	36年	4月	企業会計方式採用(地方公営企業法 財務規定適用)
		9月	機構改革により、従来の医局、薬局、事務局を診療局と事務局の二局とし、診療局を部長制に、事務局に庶務課と業務課の二課を新設
	37年	10月	整形外科を新設、皮膚泌尿器科を皮膚科、泌尿器科に分科
	39年	6月	中館・西館渡り廊下を設置
	40年	11月	中館と西館の間の道路敷無償取得

昭和41年	10月	レントゲンテレビ装置を設置
42年	5月	伝染病棟を12床増床(合計72床)
	8月	増改築第1期工事完成(内科待合室完成、応急ベット8床増設)
43年	8月	大阪府赤十字血液センター堺出張所開設(昭和60年4月閉鎖)
		結核病棟廃止、一般病床に転用
	9月	増改築第2期工事完成(玄関ホール、中央検査室改築)
		病棟の冷房実施
44年	2月	中央手術部独立
	4月	院内学級を開設(堺市立浅香山養護学校、昭和50年8月府立泉北養護学校に変更、平成9年4月堺市教育委員会に変更)
	7月	外来診療棟の冷房実施
	8月	人工透析室を新設(コルフ型)
	10月	人工透析装置を増設(キール型)
	12月	大阪府救急医療ブロックセンターとなる
45年	2月	救急告示病院(25床)
	3月	東看護婦宿舎、地下駐車場完成
	7月	全館冷暖房実施
	9月	小児科・耳鼻咽喉科待合室、シンチレーションカメラ室、リハビリ室完成
	12月	院内保育所を設置(平成11年3月廃止)
46年	9月	第2レントゲンテレビ室完成、装置増設
47年	2月	特類看護実施
	4月	臨床研修病院に指定
	9月	大町職員宿舎、一般会計より移管
49年	2月	運動療法施設基準所得
	3月	リニアック棟完成
	8月	セントラルパイピング工事完成
	10月	特Ⅱ類看護実施
50年	4月	コンピューターによる薬品管理事務を開始
	8月	レントゲンテレビジョン装置取替え
51年	4月	伝票会計方式採用
52年	8月	市立堺病院運営審議会を設置
	12月	血液ガス分析装置導入
53年	1月	市立堺病院運営審議会より「市立堺病院の運営のあり方について」の中間答申
54年	3月	市立堺病院運営審議会より「市立堺病院の運営のあり方について」最終答申
		西新館(鉄筋コンクリート3階建)完成
55年	7月	電子走査型超音波診断装置設置
56年	1月	電子顕微鏡設置
	10月	重症者の看護及び重症者の収容基準実施
57年	3月	全身用コンピューター断層撮影装置を設置
	6月	市内9病院の輪番制による二次救急診療実施
	12月	全自動成分採血装置設置
58年	11月	リニア電子走査形超音波診断装置設置
59年	12月	「市立堺病院改築検討試料報告書」作成
60年	3月	市立堺病院建設基金条例制定
		循環器X線撮影装置設置
	4月	コンピューターによる外来会計業務開始
	11月	コンピューターによる入院会計業務開始
61年	3月	生化学自動分析装置設置
	4月	伝染病棟2階、3階部分(54床)を空床利用

昭和	61年	9月	時間外診療体制の充実
	62年	7月	神経内科標榜
	63年	4月	事務局に病院建設準備担当を設置 コンピューターによる薬剤管理業務開始
		7月	「市立堺病院移転新築基本構想」策定
		9月	市立堺病院建設用地決定(堺市南安井町1丁1番)
平成	元年	8月	市立堺病院建設計画専門委員を設置
	2年	4月	看護部を診療局から分離
		10月	コンピューターによる給食管理業務開始 放射線CR装置設置
	3年	4月	病院建設室を設置(病院建設準備担当を格上げ) 4週6休制実施
		6月	病院建設に関する増床許可申請が認可される
		10月	コンピューターによる入院調剤業務開始
	4年	4月	特Ⅲ類看護(東1、東4、西2)実施
		11月	特Ⅲ類看護(中2、西3)実施
	5年	3月	新病院建設工事着工
		4月	週休2日制実施 コンピューターによる放射線受付業務開始 FAXによる地域医療連携予約システムの開始
		7月	神経内科部(昭和62年7月標榜済) 麻酔科部(平成8年4月標榜)を設置
	6年	1月	入院調剤技術基本料認可(投薬の施設基準)
		3月	病院70年誌発行
		8月	電算研修室(オーダーリング入力研修室)完成
		11月	新看護実施(2:1、A加算)
		12月	給食オーダーリングシステム開始
	7年	1月	阪神淡路大震災医療救護班派遣(平成7年3月まで)
		12月	エイズ拠点病院に指定
	8年	1月	中央検査室オーダーリングシステム開始
		3月	市立堺病院憲章制定(平成8年10月実施) 新病院定礎式実施 外来カルテA版化導入
		4月	事務局機構改革(医事業務一部委託、給食調理業務全面委託、洗濯業務全面委託 設備管理業務一部委託、宿日直業務全面委託、建設室を開院準備担当に変更 経営企画課新設、庶務課を総務課に変更) 麻酔科標榜
		8月	永代宿舎完成入居開始
		9月	新病院竣工内覧会実施
		10月	堺市南安井町1丁1番1号に新病院を開設 一般480床 伝病20床 計500床 脳神経外科標榜 機構改革(診療局に医局部、中央部、薬剤・技術部設置、看護部→看護局に 外来看護科、中央看護科、病棟看護科設置、開院準備担当を解散)
		12月	少林寺宿舎完成 入居開始
	9年	3月	災害拠点病院に指定
		4月	歯科を歯科口腔外科に標榜科名変更
		7月	市民健康教育講座開設
	10年	3月	(財)日本医療機能評価機構から一般病院種別Bの認定を受ける (認定期間 平成10年3月9日から平成15年3月8日まで)

平成10年	4月	耳原総合病院の臨床研修指定病院連携病院となる 医療業務マニュアル発行
	11月	院内学術雑誌創刊号発行
11年	3月	職場保育所廃止(既受付済者への経過措置有り 12年3月完全廃止)
	4月	伝病法の改正により伝病廃止 感染症病床 1類1床、2類12床(一般480床 感染症13床 計493床) 投書箱設置
12年	4月	経営企画課廃止、診療局に医療情報科設置
	6月	看護相談室開設
	7月	ICU病棟改装(3床室1室をカンファレンスルームに、旧伝病3室をICU1床室3室に) 病院ボランティア制度導入開始(市立堺病院ボランティアグループ もず)
13年	5月	院内全面禁煙実施・院内喫煙所全廃・屋外喫煙所の設置
	10月	医薬分業開始・院外処方せん相談窓口の開設(堺市薬剤師会) 外来会計方法の変更(平均待時間30分前後から10分前後に短縮)
14年	4月	組織改正(診療局に第一診療部・第二診療部を設置、内科の臓器別診療体制を実施、 看護局職名変更(婦長→看護主幹、管理婦長→看護科長) (注:法律上の名称(看護婦→看護師、等)は14年3月に変更) 新病院5周年記念誌「市立堺病院の臨床と実績」発行
	9月	外来化学療法の実施
15年	4月	電子カルテ化に向けた新しい診療支援システムの一部稼働 消化器科、循環器科、呼吸器科を標榜 感染症病棟・病室(陰圧室)の換気回数強化工事施工(SARS対策)
	8月	(財)日本医療機能評価機構から継続認定(一般病院)を受ける (認定期間 平成15年3月9日から平成20年3月8日まで)
	10月	新医師臨床研修制度による管理型臨床研修病院に指定
16年	1月	「患者さんの権利に関する宣言」制定
	4月	機構改革(医療情報科廃止、事務局に経営企画課設置。事務局内各課グループ制導入) 女性外来開設
	5月	新制度による研修医受入
	10月	電子カルテ本格稼働 乳がん検診(マンモグラフィ併用)実施
17年	7月	敷地内指定場所以外禁煙実施
	10月	乳腺センター、脳脊髄神経センター開設
18年	4月	敷地内禁煙実施
	7月	DPC実施 HCU開設
	10月	がんセンター、循環器病センター、消化器病センター開設
19年	1月	DMAT(災害派遣医療チーム)発足 外来化学療法室を外来化学療法センターに拡充
	4月	医療サポートセンターの組織新設
	6月	7対1一般病棟入院基本料実施
	7月	眼科診療の休診
	8月	関西国際空港における医療救護活動に関する協定書の締結
20年	4月	新病院建設準備室の組織新設
	8月	(財)日本医療機能評価機構より一般(審査体制区分3)の認定の更新を受ける (認定期間 平成20年3月9日から平成25年3月8日まで)
	12月	新病院基本構想発表
21年	4月	大阪府がん診療拠点病院に指定
	10月	眼科診療を紹介予約制で再開

平成 22 年	1 1 月	地方独立行政法人への移行を発表 新病院整備基本計画策定
	1 2 月	地方独立行政法人堺市立病院機構定款が堺市議会において可決
23 年	3 月	東北地方太平洋沖地震の被災者支援のためDMAT(災害派遣医療チーム)を派遣
	6 月	ドクターカー運用開始
	7 月	頭頸部外科標榜
	1 0 月	電子カルテシステムの更新 形成外科標榜
	1 1 月	市立堺病院後利用事業者を医療法人清恵会に決定 地域医療支援病院の承認を受ける 新病院基本設計業務完了
24 年	1 月	リハビリテーション科標榜
	4 月	地方独立行政法人への移行 地方独立行政法人 堺市立病院機構 市立堺病院と改称 腎臓・代謝内科、血液内科、臨床検査科、救急科標榜 放射線科から放射線治療科、放射線診断科標榜変更
25 年	3 月	(財)日本医療機能評価機構より一般(審査体制区分3)の認定の更新を受ける (認定期間 平成25年3月9日から平成30年3月8日まで) 「地域医療連携業務」の土曜日窓口の開始 消費税法改正に伴う保険適用外の料金改定
	6 月	入院センターの設置
	7 月	院内保育所ぞうさん開所
	8 月	病院開院90周年式典・講演会・発表会開催
26 年	2 月	職員厚生会設立総会 兼 開院90周年記念パーティー
	3 月	看護方式変更について(PNS導入)
	4 月	感染症病床 1 類1床、2 類6床(一般480床 感染症7床 計487床)
	5 月	病理診断科標榜
	8 月	地域がん診療連携拠点病院に指定
	1 0 月	臨床教育支援センターの設立
27 年	6 月	ゆるキャラ(エバちゃん、ラジくん)の誕生
	7 月	地方独立行政法人 堺市立病院機構 堺市立総合医療センターと改称 西区家原寺町1丁1番1号へ移転 三次救急医療機関に認定 心臓血管外科、消化器外科、乳腺・内分泌外科、呼吸器外科標榜 手術支援ロボット「da Vinci(ダビンチ)Xi」の導入 院内保育所「ぞうさん」開所 「わくわくるーむ(プレイルーム)」設置 がん患者・家族サロン「なないろ」設置 「シミュレーションセンター」設置
28 年	4 月	熊本地震の被災者支援のためDMAT(災害派遣医療チーム)派遣
	5 月	NPO法人卒後臨床研修評価機構(JCEP)による外部評価認定を受ける
	7 月	登録医総会の開催(第1回)
29 年	4 月	多職種チーム医療を実現するための診療センター化を構築 初期研修医地域研修の見直し(僻地から市内へ)
	6 月	患者用送迎バス路線拡大(1路線⇒3路線)
30 年	3 月	(財)日本医療機能評価機構より一般(審査体制区分3)の認定の更新を受ける (認定期間 平成30年3月9日から令和5年3月8日まで)
	4 月	DPCⅡ群(特定病院群)病院に認定 感染症内科標榜

平成30年	6月	大阪北部地震へのDMAT(災害派遣医療チーム)派遣
	10月	神経内科を脳神経内科に標榜科名変更 腎臓・代謝内科を腎臓内科に標榜科名変更 糖尿病内科、リウマチ科、膠原病内科、緩和ケア内科標榜 緩和ケアセンター開設 電子カルテシステムの更新
	11月	大阪府難病診療連携拠点病院に指定
31年	4月	ピロリ菌外来開設
令和元年	5月	大阪府外国人患者受入れ地域拠点医療機関に認定
	6月	G20大阪サミット対応
	8月	IVRセンター設置
	10月	遺伝カウンセリング外来開設
	11月	がんゲノムセンターをゲノムセンターへ名称変更 遺伝診療科標榜
	12月	難病センター設置
2年	2月	新型コロナウイルス感染症対策本部設置 新型コロナウイルス感染症入院患者初受入
	3月	新型コロナウイルス感染症患者受入要請への協力 ドクターカーの更新
	4月	疾病予防管理センター設置 救命救急センターの充実段階評価(令和元年度分)S評価取得 新型コロナウイルス感染症患者専用病棟運用開始 帰国者・接触者外来運用開始 院内LAMP検査開始
	5月	新型コロナウイルス感染症トリアージ病院運用開始 NPO法人卒後臨床研修評価機構(JCEP)による外部評価認定を受ける
	7月	1階救命救急センター病棟(HCU)設置 大阪府より「大阪府新型コロナウイルス感染症重点医療機関」に指定
	8月	新型コロナウイルス感染症クラスター発生医療機関へのDMAT派遣
	10月	新型コロナウイルス感染症クラスター発生医療機関へのDMAT派遣
	12月	地域外来・検査センターの建設および運用開始
3年	3月	新型コロナウイルス感染症ワクチン接種開始 大阪府より「令和2年度おおさかストップ温暖化 特別賞」を受賞 新型コロナウイルス感染症対策として陰圧個室増床
	4月	腫瘍内科設置
	6月	糖尿病内科を糖尿病・内分泌・代謝内科に標榜科名変更 地域連携ICT本稼働開始
	7月	新型コロナウイルス感染症カクテル療法ロナプリーブ開始
	8月	新型コロナウイルス感染症陽性者外来開始
	9月	CGA外来開始
4年	1月	産後ケア病床運用の開始
	3月	6階東病棟にSCU設置 国際規格ISO15189の認定 新型コロナウイルス感染症小児ワクチン接種開始 関西大学人間健康学部と包括連携協定を締結
	4月	「医療機関と産学官民との連携による複合的フレイル予防の試行に関する調査研究事業」が厚生労働省令和4年度老人保健健康増進等事業に採択
	6月	大阪府小児地域医療センターに指定
5年	2月	(公財)日本医療機能評価機構より一般病院2(3rdG:Ver.2.0)の認定の更新を受ける (認定期間 令和5年3月9日から令和10年3月8日まで)

Ⅱ 病院の現状

概 要 施設概要

所在地：大阪府堺市西区家原寺町 1 丁 1 番 1 号

敷地及び建築延面積(単位：㎡)

	敷 地 面 積	建 築 面 積	延 床 面 積
病 院	19,693.47	9,771.50	41,680.20
宿 舎	5,257.66	1,151.98	2,971.07

診 療 科 目

総合内科／循環器内科／呼吸器内科／消化器内科／血液内科／心療内科／腫瘍内科／腎臓内科／
糖尿病・内分泌・代謝内科／脳神経内科／リウマチ膠原病内科／感染症内科／人工透析科／
救急・総合診療科／救命救急科／消化器外科／胃食道外科／肝胆脾外科／大腸肛門外科／
心臓血管外科／呼吸器外科／乳腺内分泌外科／集中治療科／麻酔科／中央手術科／脳神経外科／
整形外科／リハビリテーション科／泌尿器科／耳鼻咽喉科・頭頸部外科／皮膚科／形成外科／
眼科／歯科口腔外科／小児科／産婦人科／放射線診断科／放射線治療科／病理診断科／
臨床検査科／内視鏡科／遺伝診療科／予防健診科／緩和ケア科

病 床 数

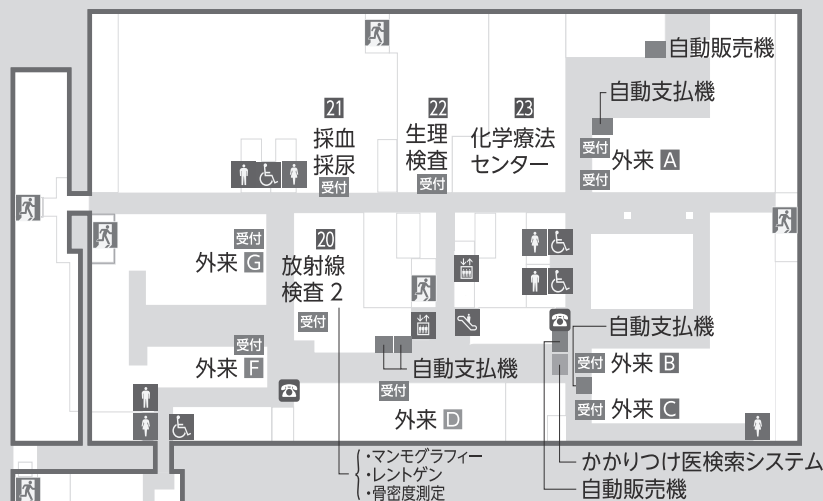
一 般	480床
感 染 症	7床
計	487床

各種指定等(令和 5 年 3 月31日現在)

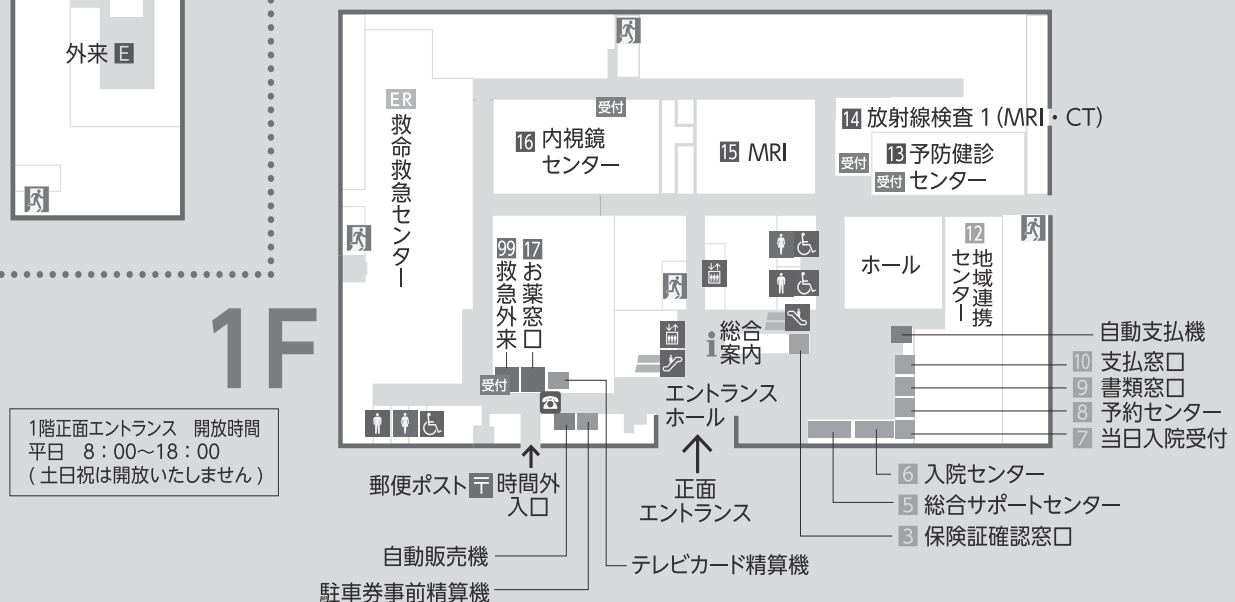
- ・ 保険医療機関
- ・ 労災保険指定医療機関
- ・ DPC特定病院群
- ・ 地域医療支援病院
- ・ 生活保護法等に関する指定医療機関
- ・ 救急医療機関
- ・ 大阪府指定三次救急医療機関
- ・ 臨床研修指定病院
- ・ 外国人医師修練施設
- ・ 外国医師歯科医師臨床修練指定病院
- ・ 災害拠点病院
- ・ 難病の患者に対する医療等の指定医療機関
- ・ 大阪府難病診療連携拠点病院
- ・ 大阪府小児地域医療センター
- ・ 指定小児慢性特定疾病医療機関
- ・ 指定自立支援医療機関(精神通院医療)
- ・ 指定自立支援医療機関(育成医療・更生医療)
- ・ 母体保護法指定施設
- ・ 児童福祉施設(助産施設)
- ・ 地域がん診療連携拠点病院
- ・ がんゲノム医療連携病院
- ・ 大阪府肝炎専門医療機関
- ・ 感染症指定医療機関(第一種、第二種)
- ・ 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に基づく指定届出機関(内科・疑似症定点)
- ・ 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に基づく指定届出機関(小児科・疑似症定点)
- ・ 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に基づく指定届出機関(基幹・疑似症定点)
- ・ 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に基づく指定届出機関(眼科定点)
- ・ 感染症発生動向調査指定届出機関(小児科定点)
- ・ 結核指定医療機関
- ・ エイズ診療拠点病院
- ・ 新型インフルエンザ等対策特別措置法指定地方公共機関
- ・ 被爆者一般疾病医療機関
- ・ 管理栄養士を置かなければならない特定給食施設
- ・ 大阪府外国人患者受入れ地域拠点医療機関
- ・ 不在者投票施設
- ・ 日本医療機能評価機構認定病院
- ・ 卒後臨床研修評価機構認定病院
- ・ 新型コロナウイルス感染症重点医療機関

病院配置図(GF～9F)

エスカレーター
 エレベーター
 トイレ
 車椅子対応トイレ
 非常口
 公衆電話



外来 A：内科、外科
 外来 B：脳神経外科、泌尿器科
 外来 C：産婦人科
 外来 D：小児科
 外来 E：アイセンター
 外来 F：整形外科、皮膚科、形成外科、
耳鼻咽喉科・頭頸部外科
 外来 G：歯科口腔外科



1階正面エントランス 開放時間
 平日 8:00～18:00
 (土日祝は開放いたしません)

G階北エントランス 開放時間
 平日 8:00～20:00
 土日祝 11:00～20:00

SAKAI 総合医療センター食堂
 営業時間／平日 8:00～19:00(ラストオーダー 18:30)
 土日祝 11:00～19:00(ラストオーダー 18:30)

ファミリーマート
 営業時間／24 時間
 (主なサービス：ATM、コピー、FAX、新聞販売、宅急便)

ドトールコーヒー
 営業時間／平日 8:00～17:00
 (土日祝は営業していません)

北エントランス
 (JR津久野駅側)

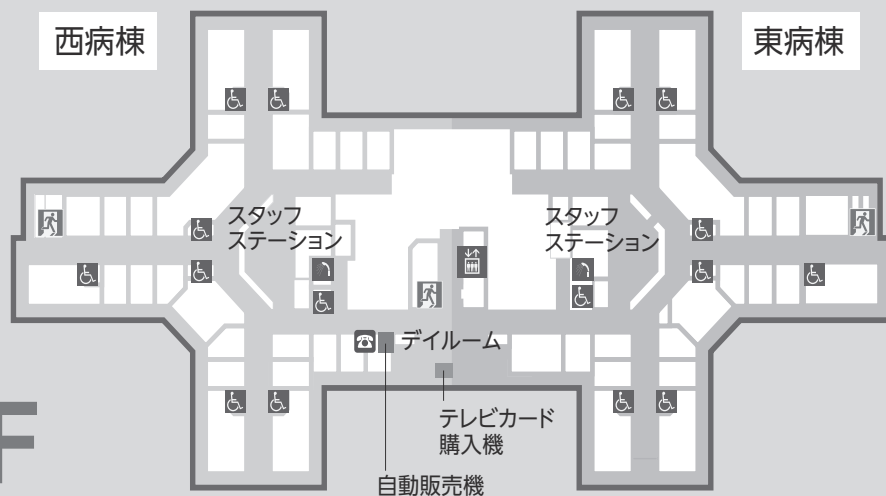
18 核医学検査・
 放射線治療

GF

 エスカレーター
  エレベーター
  トイレ
  車椅子対応トイレ
  非常口
  公衆電話

非常時に備えあらかじめ避難口をご確認ください。また、非常時には病院スタッフの指示に従ってください。

6～9F



5F

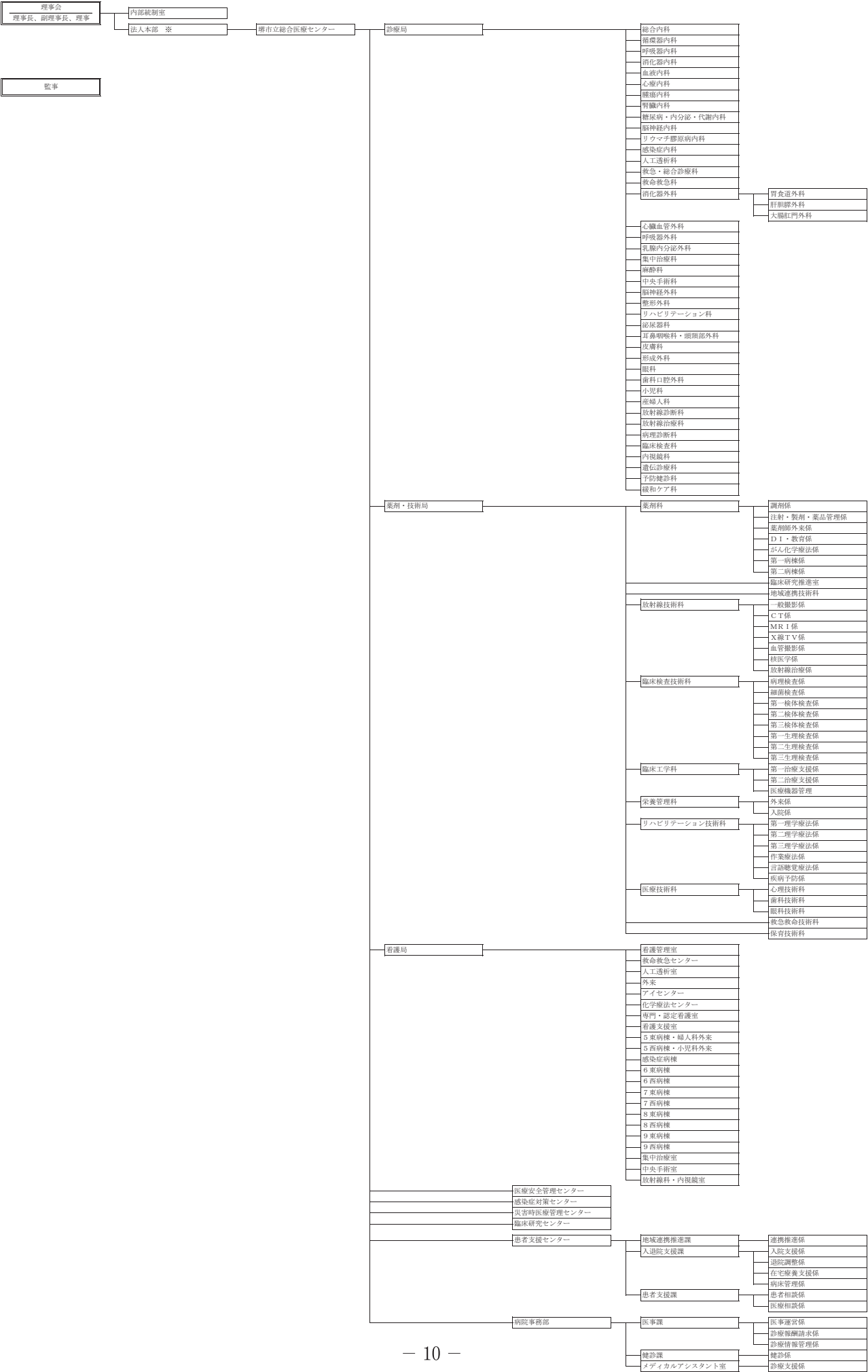


3F



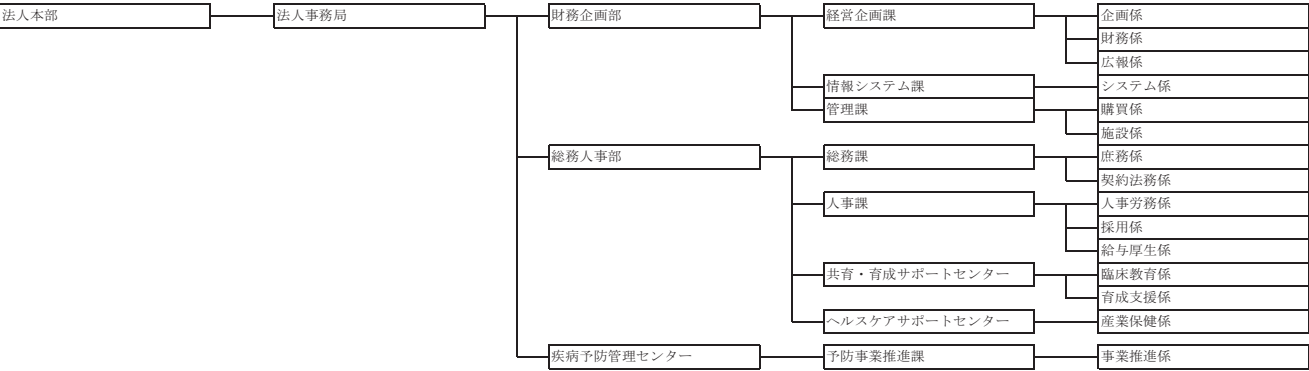
地方独立行政法人堺市立病院機構 組織図（全体）

令和4年4月1日改正



※地方独立行政法人堺市立病院機構 組織図（法人本部）

令和 4 年 4 月 1 日改正



Ⅲ 経 理 状 況

令和4年度決算報告書

地方独立行政法人堺市立病院機構

(単位:円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算額－予算額)	備 考
収入				
営業収益	21,856,600,000	24,219,961,044	2,363,361,044	
医業収益	19,585,926,000	19,792,910,927	206,984,927	新型コロナウイルス感染患者数の増
運営費負担金	2,113,086,000	2,113,086,000	0	
その他営業収益	157,588,000	2,313,964,117	2,156,376,117	新型コロナウイルスに対応するための補助金収益増
営業外収益	224,866,000	234,503,521	9,637,521	
運営費負担金	79,387,000	77,364,000	▲ 2,023,000	
その他営業外収益	145,479,000	157,139,521	11,660,521	
臨時利益	9,000,000	16,000,000	7,000,000	
資本的収入	796,000,000	442,771,870	▲ 353,228,130	
長期借入金	696,000,000	369,300,000	▲ 326,700,000	長期借入予定より減
運営費負担金	100,000,000	69,384,870	▲ 30,615,130	
その他資本収入	0	4,087,000	4,087,000	
その他収入	0	0	0	
計	22,886,466,000	24,913,236,435	2,026,770,435	
支出				
営業費用	20,233,708,000	20,466,210,441	232,502,441	
医業費用	19,908,789,000	19,999,900,974	91,111,974	
給与費	9,961,590,000	9,884,699,716	▲ 76,890,284	
材料費	6,442,168,000	6,605,629,464	163,461,464	高額薬品の購入増
経費	3,395,738,000	3,429,223,549	33,485,549	主に光熱水費の値上げによる増及び修繕費等の減
研究研修費	109,293,000	80,348,245	▲ 28,944,755	WEB会議等への切替による減
一般管理費	324,919,000	466,309,467	141,390,467	
営業外費用	156,987,000	168,299,999	11,312,999	
臨時損失	15,597,000	16,000,000	403,000	
資本的支出	2,132,559,000	1,791,449,463	▲ 341,109,537	
建設改良費	896,000,000	556,091,504	▲ 339,908,496	予定購入額より減
償還金	1,234,159,000	1,234,157,959	▲ 1,041	
投資	2,400,000	1,200,000	▲ 1,200,000	
その他支出	0	0	0	
計	22,538,851,000	22,441,959,903	▲ 96,891,097	
単年度資金収支(収入－支出)	347,615,000	2,471,276,532	2,123,661,532	

(注)損益計算書の計上額と決算額の相違の概要は、以下のとおりであります。

- (1)損益計算書の営業収益に含まれている資産見返運営費負担金戻入及び資産見返補助金等戻入並びに資産見返寄附金戻入は、決算額に含まれておりません。
- (2)損益計算書の減価償却費および固定資産除却損は、決算額には含まれておりません。
- (3)上記数値は消費税等込みの金額を記載しております。

貸借対照表

(令和5年3月31日)

地方独立行政法人堺市立病院機構

(単位:円)

科 目	金 額			
資産の部				
I 固定資産				
1 有形固定資産				
土地		3,047,666,896		
建物	15,761,074,117			
建物減価償却累計額	▲ 5,735,875,349	10,025,198,768		
構築物	547,603,162			
構築物減価償却累計額	▲ 287,838,599	259,764,563		
器械備品	10,627,372,122			
器械備品減価償却累計額	▲ 8,868,212,054	1,759,160,068		
車輛	49,230,566			
車輛減価償却累計額	▲ 36,323,602	12,906,964		
有形固定資産合計		15,104,697,259		
2 無形固定資産				
ソフトウェア		8,055,379		
施設利用権		43,269,320		
無形固定資産合計		51,324,699		
3 投資その他の資産				
保証金		600,000		
長期貸付金		600,000		
投資その他の資産合計		1,200,000		
固定資産合計			15,157,221,958	
II 流動資産				
現金及び預金		12,427,182,293		
医業未収金	3,989,908,679			
貸倒引当金	▲ 82,644,882	3,907,263,797		
未収金		348,241,089		
医薬品		94,490,052		
診療材料		3,055,142		
前払費用		30,715,332		
未収収益		2,694,658		
流動資産合計			16,813,642,363	
資産合計				31,970,864,321

貸 借 対 照 表

(令和5年3月31日)

地方独立行政法人堺市立病院機構

(単位:円)

科 目	金 額			
負債の部				
I 固定負債				
資産見返負債(注)				
資産見返運営費負担金(注)		151,676,782		
資産見返補助金等(注)		808,782,152		
資産見返寄附金(注)		19,992,185		
長期借入金		11,750,368,792		
移行前地方債償還債務		2,370,130,790		
引当金				
退職給付引当金		4,167,015,440		
資産除去債務		7,574,000		
固定負債合計			19,275,540,141	
II 流動負債				
寄附金債務(注)		46,940,910		
一年以内返済予定長期借入金		1,165,499,055		
一年以内返済予定移行前地方債償還債務		112,911,928		
未払金		2,582,105,257		
一年以内支払予定リース債務		8,320,518		
未払費用		75,613,756		
未払消費税等		6,547,300		
前受金		162,800		
預り金		154,864,514		
引当金				
賞与引当金		484,815,582		
流動負債合計			4,637,781,620	
負債合計				23,913,321,761
純資産の部				
I 資本金				
設立団体出資金		303,592,310		
資本金合計			303,592,310	
II 資本剰余金				
資本剰余金		1,581,748,790		
資本剰余金合計			1,581,748,790	
III 利益剰余金				
病院施設整備等積立金(注)		3,784,145,725		
当期末処分利益		2,388,055,735		
(うち当期総利益)		(2,388,055,735)		
利益剰余金合計			6,172,201,460	
純資産合計				8,057,542,560
負債・純資産合計				31,970,864,321

(注)これらは、地方独立行政法人固有の会計処理に伴う勘定科目であります。

損 益 計 算 書
(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

地方独立行政法人堺市立病院機構

(単位:円)

科 目	金 額		
営業収益			
医業収益			
入院収益	12,737,261,574		
外来収益	6,510,542,021		
その他医業収益	495,703,160	19,743,506,755	
運営費負担金収益(注)		2,113,086,000	
補助金等収益(注)		2,301,359,235	
寄附金収益(注)		2,542,370	
資産見返運営費負担金戻入(注)		46,178,795	
資産見返補助金等戻入(注)		99,975,843	
資産見返寄附金戻入(注)		7,077,991	
その他営業収益		12,012,430	
営業収益計			24,325,739,419
営業費用			
医業費用			
給与費	9,876,150,780		
材料費	6,018,592,378		
経費	3,153,190,686		
研究研修費	74,780,927		
減価償却費	1,535,461,929	20,658,176,700	
一般管理費			
給与費	406,432,200		
経費	54,491,858		
減価償却費	4,482,932	465,406,990	
営業費用計			21,123,583,690
営業利益			3,202,155,729
営業外収益			
運営費負担金収益(注)		77,364,000	
財務収益		4,779,863	
その他		141,347,924	
営業外収益合計			223,491,787
営業外費用			
財務費用			
移行前地方債償還債務利息	43,629,185		
長期借入金利息	111,209,269		
その他支払利息	345,515	155,183,969	
控除対象外消費税等		869,337,022	
その他		10,123,577	
営業外費用合計			1,034,644,568
経常利益			2,391,002,948
臨時利益			
保険金収入		16,000,000	
臨時利益合計			16,000,000
臨時損失			
固定資産除却損		2,947,213	
その他臨時損失		16,000,000	
臨時損失合計			18,947,213
当期純利益			2,388,055,735
当期総利益			2,388,055,735

(注)これらは、地方独立行政法人固有の会計処理に伴う勘定科目であります。

IV 業 務 状 況

入院患者延数(科別)	前年度平均	平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年同期	前年同期 差異
総合内科	463	560	547	608	465	607	690	596	472	574	483	616	561	506	6,725	5,559	1,166
血液内科	435	492	406	521	473	664	413	502	431	519	662	528	400	380	5,899	5,216	683
腎臓内科	482	548	418	483	578	574	631	495	521	582	516	582	550	642	6,572	5,780	792
感染症内科	656	251	196	161	121	421	634	308	148	155	421	393	41	16	3,015	7,877	▲4,862
糖尿病・内分泌・代謝内科	119	165	164	175	160	187	169	162	193	124	75	173	208	192	1,982	1,432	550
リウマチ膠原病内科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
呼吸器内科	971	1,046	883	896	1,003	1,055	1,188	1,008	1,030	1,064	1,112	1,184	1,077	1,056	12,556	11,649	907
消化器内科	586	654	713	639	597	688	719	663	650	747	660	602	494	681	7,853	7,036	817
循環器内科	544	448	414	384	427	308	429	304	449	459	483	644	541	535	5,377	6,526	▲1,149
脳神経内科	391	547	538	624	437	545	603	575	563	567	515	489	588	516	6,560	4,686	1,874
小児科	497	562	438	393	420	687	783	697	507	601	545	583	465	619	6,738	5,967	771
外科	2	1	0	2	1	3	0	0	0	0	0	0	0	1	7	23	▲16
胃食道外科	290	397	297	357	430	388	429	425	551	403	431	391	332	335	4,769	3,483	1,286
大腸肛門外科	591	518	375	615	729	481	518	518	463	499	524	499	425	566	6,212	7,094	▲882
肝胆膵外科	268	307	296	294	226	332	259	407	378	280	276	319	265	347	3,679	3,210	469
呼吸器外科	153	178	213	176	154	202	168	189	154	116	164	113	225	258	2,132	1,837	295
乳腺・内分泌外科	97	111	84	154	119	75	101	99	117	170	108	140	96	70	1,333	1,159	174
救命救急科	1,057	1,311	1,312	1,337	1,148	1,201	1,451	1,288	1,263	1,232	1,256	1,475	1,318	1,453	15,734	12,688	3,046
整形外科	637	758	753	852	826	782	722	807	803	690	761	607	803	693	9,099	7,646	1,453
脳神経外科	678	736	720	874	720	577	713	642	720	802	804	919	768	576	8,835	8,139	696
心臓血管外科	256	214	186	229	173	203	176	174	132	207	290	238	220	343	2,571	3,067	▲496
皮膚科	143	165	264	211	163	275	185	126	135	150	146	95	97	136	1,983	1,720	263
形成外科	156	210	154	176	237	276	217	131	126	250	266	143	255	291	2,522	1,866	656
泌尿器科	493	569	509	487	471	597	611	514	600	658	580	603	616	580	6,826	5,914	912
産婦人科	396	389	451	361	364	401	461	373	355	405	397	351	358	393	4,670	4,756	▲86
眼科	24	54	48	27	57	44	45	70	75	71	55	57	53	47	649	288	361
耳鼻咽喉科・頭頸部外科	161	220	224	171	232	207	256	225	245	212	163	225	208	273	2,641	1,926	715
歯科口腔外科	52	54	15	54	115	100	63	58	34	36	26	36	49	59	645	620	25
救急・総合診療科	5	12	7	5	4	18	13	3	23	34	8	10	6	8	139	63	76
麻酔科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	10,603	11,477	10,625	11,266	10,850	11,898	12,647	11,359	11,138	11,607	11,727	12,015	11,019	11,572	137,723	127,232	10,491
前年度	-	-	10,482	7,639	9,763	10,811	10,882	9,992	11,370	11,654	12,629	12,130	9,653	10,227	127,232	-	-
差異	-	-	143	3,627	1,087	1,087	1,765	1,367	▲232	▲47	▲902	▲115	1,366	1,345	10,491	-	-

外来患者延数(科別)	前年度平均	平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年同期	前年同期 差異
総合内科	487	466	459	502	527	409	527	466	502	480	436	420	385	474	5,587	5,844	▲257
血液内科	953	900	981	878	874	921	948	980	880	904	840	844	815	932	10,797	11,440	▲643
腎臓内科	405	438	410	401	446	419	443	458	445	419	457	421	442	491	5,252	4,859	393
感染症内科	88	383	85	101	103	310	1,206	532	363	384	421	670	225	192	4,592	1,056	3,536
糖尿病・内分泌・代謝内科	511	632	563	625	677	650	629	628	621	634	646	617	622	677	7,589	6,133	1,456
リウマチ膠原病内科	89	52	52	49	55	43	59	48	41	62	62	57	48	48	624	1,070	▲446
呼吸器内科	1,481	1,409	1,359	1,327	1,590	1,397	1,433	1,411	1,309	1,388	1,444	1,306	1,371	1,578	16,913	17,766	▲853
消化器内科	1,294	1,275	1,289	1,200	1,354	1,265	1,172	1,232	1,250	1,313	1,271	1,191	1,260	1,500	15,297	15,524	▲227
循環器内科	627	569	581	597	600	572	600	556	549	513	567	513	541	638	6,827	7,529	▲702
脳神経内科	414	478	419	478	509	438	551	415	492	472	501	471	484	505	5,735	4,966	769
心療内科	75	107	101	112	105	107	101	115	95	107	109	112	96	120	1,280	905	375
小児科	699	799	707	631	702	1,012	1,175	829	666	753	774	834	702	804	9,589	8,386	1,203
外科	211	157	179	173	169	165	178	148	159	146	147	121	143	153	1,881	2,528	▲647
胃食道外科	395	403	392	417	397	362	457	398	406	422	408	413	355	410	4,837	4,737	100
大腸肛門外科	808	788	750	746	838	701	828	796	799	753	823	768	793	858	9,453	9,690	▲237
肝胆膵外科	291	334	322	320	345	348	400	284	326	365	328	301	334	335	4,008	3,487	521
呼吸器外科	147	152	155	120	127	153	163	151	164	140	149	175	145	185	1,827	1,761	66
乳腺・内分泌外科	715	751	776	702	793	697	768	784	772	751	783	722	661	807	9,016	8,578	438
救命救急科	140	181	157	206	210	185	124	192	247	193	174	152	162	172	2,174	1,684	490
整形外科	1,136	1,137	1,154	1,244	1,212	1,192	1,285	1,120	1,176	1,111	1,073	967	956	1,157	13,647	13,631	16
脳神経外科	485	452	482	473	469	429	412	479	461	498	451	394	413	464	5,425	5,822	▲397
心臓血管外科	165	166	152	145	202	170	172	152	147	159	163	157	174	204	1,997	1,975	22
皮膚科	914	1,057	977	1,019	1,069	1,055	1,156	1,075	1,073	1,031	1,015	990	998	1,224	12,682	10,966	1,716
形成外科	441	465	513	445	546	440	484	434	470	465	456	412	380	538	5,583	5,288	295
泌尿器科	1,054	1,171	1,080	1,124	1,256	1,104	1,184	1,166	1,177	1,114	1,201	1,162	1,093	1,394	14,055	12,653	1,402
産婦人科	1,174	1,069	1,050	1,052	1,217	1,064	1,165	1,118	1,120	1,052	1,054	966	884	1,085	12,827	14,085	▲1,258
眼科	990	1,007	983	950	1,044	1,011	1,037	955	1,028	989	1,083	985	927	1,092	12,084	11,875	209
耳鼻咽喉科・頭頸部外科	645	659	634	690	713	638	672	632	673	658	643	625	600	728	7,906	7,741	165
放射線治療科	571	645	710	627	459	470	615	570	642	710	736	643	726	829	7,737	6,850	887
放射線診断科	145	166	179	181	174	156	121	155	171	166	179	148	147	219	1,996	1,740	256
歯科口腔外科	674	685	683	655	752	657	702	672	691	633	660	663	670	777	8,215	8,088	127
救急・総合診療科	547	497	729	649	607	1,040	388	345	381	399	321	347	348	414	5,968	6,563	▲595
緩和ケア科	24	25	22	20	14	28	32	26	21	31	31	29	24	23	301	289	12
麻酔科	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	2	17	▲15
遺伝診療科	1	3	2	0	6	2	1	3	4	3	0	4	2	4	31	29	2
発熱外来(再掲)	216	374	326	242	216	657	913	420	278	274	380	448	210	127	4,491	-	-
合計	18,795	19,478	19,087	18,859	20,161	19,610	21,188	19,325	19,322	19,218	19,406	18,600	17,926	21,032	233,734	225,555	8,179
前年度	-	-	18,557	15,292	18,756	18,527	18,829	19,109	19,896	19,471	19,762	19,119	17,473	20,764	225,555	-	-
差異	-	-	530	3,567	1,405	1,083	2,359	216	▲574	▲253	▲356	▲519	453	268	8,179	-	-

※病棟の病床稼働率は転出を含んだ計算とする

平均在院日数(科別)	前年度平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	前年同期 平均	前年同期 差異
総合内科	10.4	12.3	11.9	9.4	12.6	14.6	12.1	11.9	11.1	9.6	17.4	13.2	11.3	12.2	10.4	1.8
血液内科	14.0	10.8	13.9	14.1	16.0	13.3	14.3	14.9	15.6	21.0	17.8	17.3	12.7	15.0	14.0	1.0
腎臓内科	12.1	10.5	12.3	12.3	9.5	11.9	8.6	9.2	9.7	10.2	10.2	9.0	10.5	10.2	12.1	▲1.8
感染症内科	14.7	11.4	17.8	21.1	10.1	8.6	11.7	8.8	7.2	8.4	11.0	4.9	7.5	9.9	14.7	▲4.9
糖尿病・内分泌・代謝内科	9.4	9.4	10.3	7.4	9.6	8.9	7.7	9.4	6.5	5.1	9.9	10.2	10.2	8.8	9.4	▲0.6
リウマチ膠原病内科	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
呼吸器内科	10.5	10.1	10.5	7.9	11.4	14.1	10.5	11.0	10.2	12.3	11.6	11.5	9.3	10.7	10.5	0.2
消化器内科	6.8	7.1	7.6	7.0	8.8	9.5	8.0	7.2	9.3	7.5	9.1	7.3	9.6	8.1	6.8	1.3
循環器内科	9.1	10.1	9.6	8.1	7.6	10.6	8.0	9.1	11.1	11.4	14.5	8.4	8.8	9.7	9.1	0.6
脳神経内科	16.2	14.6	16.8	14.1	16.6	15.2	18.3	17.6	18.1	14.8	16.0	15.3	14.3	15.9	16.2	▲0.3
小児科	4.6	4.3	3.3	3.9	3.7	3.6	4.4	4.5	4.7	3.9	4.2	4.7	4.4	4.1	4.6	▲0.5
外科	3.8	0.0	1.0	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0	2.0	3.8	▲1.8
胃食道外科	14.3	13.0	19.0	18.5	18.6	17.0	17.8	16.4	14.4	14.0	18.7	12.1	13.6	15.9	14.3	1.6
大腸肛門外科	12.1	9.4	14.5	13.8	13.5	13.5	14.8	13.1	12.2	14.1	13.1	10.9	17.5	13.3	12.1	1.2
肝胆膵外科	11.8	6.9	7.7	7.3	9.2	8.7	12.6	11.3	9.2	7.2	9.4	8.1	10.8	9.0	11.8	▲2.8
呼吸器外科	10.9	13.3	12.0	14.2	11.3	13.5	11.2	9.8	9.5	12.0	14.4	13.5	14.1	12.3	10.9	1.5
乳腺・内分泌外科	6.3	5.7	8.8	5.8	4.4	5.0	7.3	5.4	6.7	4.9	7.1	5.1	4.1	5.9	6.3	▲0.4
救命救急科	11.4	11.2	13.6	11.1	12.8	16.4	13.5	10.8	13.1	12.5	15.7	13.3	15.5	13.2	11.4	1.7
整形外科	13.0	16.1	14.6	17.0	13.0	13.6	12.3	16.3	13.8	12.6	15.5	15.4	12.2	14.2	13.0	1.2
脳神経外科	17.9	14.7	20.1	16.6	19.3	15.8	17.6	14.7	15.7	15.3	18.4	14.3	14.6	16.3	17.9	▲1.7
心臓血管外科	23.6	22.1	27.8	18.1	19.2	13.7	17.3	23.1	28.7	21.0	27.2	16.4	27.7	21.3	23.6	▲2.3
皮膚科	15.0	16.1	13.5	13.2	16.7	12.1	13.1	15.1	15.4	15.1	7.3	8.3	8.7	12.9	15.0	▲2.0
形成外科	10.5	10.3	12.2	9.7	14.6	9.6	7.6	7.2	11.3	9.7	10.4	15.4	12.9	10.9	10.5	0.4
泌尿器科	6.8	6.1	6.3	6.5	7.6	7.1	6.5	6.4	7.3	6.9	6.8	6.4	5.3	6.6	6.8	▲0.2
産婦人科	5.0	5.1	4.5	4.8	5.0	5.5	4.7	4.7	4.8	4.6	5.6	5.2	4.6	4.9	5.0	▲0.1
眼科	1.5	1.2	1.0	1.0	1.2	1.5	1.2	1.1	1.1	1.3	1.4	1.0	1.4	1.2	1.5	▲0.3
耳鼻咽喉科・頭頸部外科	6.6	7.7	7.6	7.4	6.6	7.1	8.2	9.1	5.9	5.6	5.8	7.1	7.5	7.1	6.6	0.5
歯科口腔外科	3.8	2.0	4.0	9.5	6.4	4.4	4.2	2.4	2.3	3.5	2.3	3.3	2.7	4.0	3.8	0.2
救急・総合診療科	1.4	1.0	2.0	2.0	2.5	3.1	1.3	15.3	4.5	0.9	0.9	0.9	0.9	2.4	1.4	1.0
麻酔科	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
合計	9.9	9.4	10.5	9.4	9.8	10.1	9.7	9.6	9.7	9.7	10.8	9.8	9.7	9.8	9.9	▲0.1
前年度	-	10.4	11.0	9.0	9.8	9.6	9.4	9.6	10.1	9.8	10.4	11.3	9.5	9.9	-	-
差異	-	▲1.0	▲0.6	0.5	0.1	0.5	0.3	0.0	▲0.4	▲0.1	0.4	▲1.5	0.1	▲0.1	-	-

救急搬送受入件数(救急隊別)	前年度平均	平均	構成比	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年同期	前年同期 差異
堺	17	22	2.9%	16	19	22	27	16	27	23	21	29	26	20	18	264	202	62
本部	15	19	2.5%	8	21	21	31	28	13	15	12	16	28	19	11	223	185	38
旭ヶ丘	22	28	3.8%	33	31	21	36	30	19	29	33	22	29	35	18	336	267	69
三国ヶ丘	15	23	3.1%	35	16	21	23	30	26	20	21	25	20	20	21	278	176	102
三宝	11	11	1.5%	13	6	14	16	19	9	11	7	7	16	10	8	136	128	8
西	72	77	10.4%	102	76	82	90	58	66	92	57	79	66	81	80	929	858	71
臨海	21	28	3.7%	29	25	30	33	21	31	38	39	21	22	25	18	332	254	78
救急ワークステーション	78	94	12.6%	89	89	82	94	134	100	110	78	91	92	86	86	1,131	937	194
北	24	38	5.0%	30	43	27	49	44	41	34	26	49	40	35	32	450	293	157
百舌鳥	47	62	8.3%	52	43	41	79	51	69	60	76	63	69	67	75	745	561	184
中	46	66	8.9%	52	66	65	80	59	64	73	67	62	78	56	73	795	550	245
東	19	23	3.0%	24	25	10	21	23	28	24	25	23	18	32	17	270	223	47
登美丘	11	12	1.5%	9	7	6	14	17	10	8	13	14	13	16	11	138	131	7
南	21	28	3.7%	30	36	24	20	32	29	28	26	27	34	24	22	332	252	80
茶山台	13	22	2.9%	18	24	20	26	16	24	27	25	21	16	23	22	262	160	102
福泉	17	24	3.2%	20	22	20	28	23	27	24	24	27	22	27	24	288	209	79
美原	7	10	1.3%	5	7	7	11	19	8	9	11	13	14	6	10	120	81	39
高石	34	43	5.8%	37	50	53	58	25	39	50	38	30	46	48	43	517	407	110
高師浜	15	21	2.9%	18	17	19	36	27	19	18	18	22	17	21	24	256	-	-
堺市・高石市計	505	650	87.1%	620	623	585	772	672	649	693	617	641	666	651	613	7,802	6,059	1,743
前年度	-	-	88.6%	391	212	548	698	430	455	652	620	684	648	300	421	6,059	-	-
差異	-	-	▲1.5%	229	411	37	74	242	194	41	▲3	▲43	18	351	192	1,743	-	-
大阪市	11	17	2.3%	8	12	5	31	30	21	21	19	16	11	17	13	204	133	71
和泉	14	15	2.0%	11	13	11	14	6	23	24	13	16	17	18	12	178	171	7
富田林	2	5	0.6%	4	5	0	6	3	8	3	4	3	9	10	3	58	24	34
河内長野	2	3	0.4%	3	3	1	1	3	2	5	2	1	3	3	5	32	19	13
柏羽藤	3	4	0.6%	1	0	2	7	5	5	2	11	3	8	2	5	51	37	14
その他大阪府下	33	52	6.9%	19	49	35	113	148	27	16	24	63	77	14	37	622	390	232
大阪府計	65	95	12.8%	46	82	54	172	195	86	71	73	102	125	64	75	1,145	774	371
前年度	-	-	11.3%	47	24	38	56	45	58	63	77	87	93	110	76	774	-	-
差異	-	-	1.5%	▲1	58	16	116	150	28	8	▲4	15	32	▲46	▲1	371	-	-
他府県	0	0	0.0%	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0	1	0	4	0	4
D・ヘリ	1	1	0.1%	0	1	3	2	1	0	0	0	1	0	0	1	9	8	1
合計	570	747	-	666	706	643	947	868	735	764	691	744	791	716	689	8,960	6,841	2,119
前年度	-	-	-	438	236	588	755	476	513	717	697	771	741	412	497	6,841	-	-
差異	-	-	-	228	470	55	192	392	222	47	▲6	▲27	50	304	192	2,119	-	-

新入院(科別)	前年度平均	平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年同期	前年同期 差異
総合内科	43	44	47	50	46	48	42	46	36	49	52	34	40	40	530	520	10
血液内科	28	30	34	35	33	38	30	29	26	34	27	27	24	24	361	339	22
腎臓内科	36	49	39	40	43	51	48	52	51	56	41	56	55	57	589	434	155
感染症内科	42	23	12	7	6	52	63	21	14	20	49	29	4	3	280	508	▲228
糖尿病・内分泌・代謝内科	12	17	13	16	19	16	17	18	18	16	14	17	18	16	198	140	58
リウマチ膠原病内科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
呼吸器内科	83	89	77	84	111	89	77	84	85	99	78	106	81	100	1,071	999	72
消化器内科	75	72	88	73	74	68	74	75	76	75	70	66	59	66	864	897	▲33
循環器内科	54	42	34	34	47	32	39	36	44	40	39	40	56	57	498	646	▲148
脳神経内科	22	32	34	35	29	31	42	24	34	25	32	32	34	29	381	265	116
小児科	89	111	86	88	92	150	167	126	94	103	115	110	82	114	1,327	1,067	260
外科	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	6	▲3
胃食道外科	18	22	18	21	21	14	28	21	30	23	26	22	21	23	268	217	51
大腸肛門外科	43	35	35	46	44	29	40	28	35	34	31	37	33	29	421	514	▲93
肝胆膵外科	20	30	38	30	29	31	29	30	27	29	28	33	27	32	363	242	121
呼吸器外科	12	13	17	13	8	17	10	16	11	10	11	10	16	16	155	145	10
乳腺・内分泌外科	13	16	12	19	14	15	15	12	20	21	17	20	14	13	192	153	39
救命救急科	90	98	110	98	99	97	89	85	118	91	96	104	96	90	1,173	1,084	89
整形外科	45	48	43	59	40	53	49	63	41	47	49	39	51	47	581	537	44
脳神経外科	36	43	49	45	35	30	42	35	47	47	50	50	46	38	514	429	85
心臓血管外科	10	9	7	9	8	9	12	9	6	8	9	10	10	13	110	119	▲9
皮膚科	9	12	17	14	12	15	13	10	10	7	8	12	11	14	143	111	32
形成外科	13	18	12	16	21	15	21	13	16	23	20	18	14	21	210	159	51
泌尿器科	63	74	69	70	62	68	75	65	88	74	71	79	84	88	893	753	140
産婦人科	66	66	74	68	60	69	70	67	61	71	64	58	58	68	788	795	▲7
眼科	10	25	21	14	28	19	18	32	36	34	22	25	26	20	295	117	178
耳鼻咽喉科・頭頸部外科	21	27	23	21	32	22	32	26	22	29	24	34	29	31	325	253	72
歯科口腔外科	10	11	5	12	12	13	11	10	10	13	4	13	12	14	129	125	4
救急・総合診療科	0	0	5	5	4	9	5	2	3	8	5	6	4	5	61	50	11
麻酔科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	969	1,060	1,019	1,023	1,030	1,100	1,158	1,035	1,059	1,086	1,052	1,087	1,005	1,069	12,723	11,624	1,099
前年度	-	-	888	643	1,001	1,009	1,016	969	1,062	1,088	1,118	1,111	749	970	11,624	-	-
差異	-	-	131	380	29	91	142	66	▲3	▲2	▲66	▲24	256	99	1,099	-	-

病院新来(科別)	前年度平均	平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年同期	前年同期 差異
総合内科	47	49	58	63	50	46	55	42	46	64	53	38	32	46	593	564	29
血液内科	16	18	16	19	21	16	16	22	20	18	17	13	19	24	221	187	34
腎臓内科	38	98	13	18	14	19	11	13	11	14	16	12	15	22	178	133	45
感染症内科	19	73	2	6	5	69	246	101	55	64	103	184	27	13	875	228	647
糖尿病・内分泌・代謝内科	8	10	10	9	13	12	12	7	9	4	13	6	10	15	120	91	29
リウマチ膠原病内科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
呼吸器内科	33	33	19	31	42	36	34	25	29	31	47	45	32	23	394	390	4
消化器内科	45	43	45	53	53	29	40	45	40	55	28	40	30	59	517	542	▲25
循環器内科	21	15	12	15	16	15	25	11	11	17	16	14	13	14	179	247	▲68
脳神経内科	19	20	21	24	19	22	24	22	16	20	21	16	17	17	239	232	7
心療内科	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	1	0	1	4	4	0
小児科	111	168	110	113	139	330	308	167	126	144	164	185	128	102	2,016	1,330	686
外科	4	3	6	5	1	5	2	5	1	4	2	1	0	4	36	48	▲12
胃食道外科	3	3	5	3	1	3	6	5	3	6	3	3	1	2	41	40	1
大腸肛門外科	7	5	11	5	4	4	2	3	3	7	6	4	3	11	63	79	▲16
肝胆膵外科	2	3	7	2	1	2	1	5	3	2	3	4	4	3	37	29	8
呼吸器外科	2	2	4	3	0	4	0	3	2	2	1	2	0	1	22	25	▲3
乳腺・内分泌外科	13	12	12	11	7	13	13	11	13	12	13	10	16	10	141	161	▲20
救命救急科	95	121	109	127	129	126	107	121	148	120	119	112	113	122	1,453	1,142	311
整形外科	40	50	58	61	51	58	45	52	47	44	41	47	31	59	594	478	116
脳神経外科	17	21	30	20	25	16	15	16	16	16	28	29	24	20	255	209	46
心臓血管外科	3	2	0	2	1	2	3	0	0	3	4	2	4	3	24	31	▲7
皮膚科	34	37	43	43	60	40	44	29	36	19	33	21	28	42	438	410	28
形成外科	18	19	21	17	27	19	22	16	20	18	10	17	17	27	231	212	19
泌尿器科	22	25	29	30	34	31	26	29	17	24	19	18	13	28	298	260	38
産婦人科	44	44	40	45	52	31	50	38	48	50	51	40	37	41	523	526	▲3
眼科	34	33	29	24	40	37	39	32	35	29	44	26	18	38	391	413	▲22
耳鼻咽喉科・頭頸部外科	45	49	50	51	61	50	53	44	57	53	40	42	35	50	586	543	43
放射線治療科	3	4	5	1	2	3	5	1	7	3	7	3	5	6	48	41	7
放射線診断科	25	32	29	36	35	33	22	24	38	35	40	29	25	33	379	296	83
歯科口腔外科	53	50	44	44	59	52	52	45	46	51	52	50	45	55	595	632	▲37
救急・総合診療科	149	141	174	189	163	276	125	110	113	122	99	100	102	113	1,686	1,787	▲101
麻酔科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
遺伝診療科	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	1
合計	943	1,098	1,012	1,070	1,127	1,399	1,405	1,044	1,016	1,051	1,095	1,114	844	1,004	13,181	11,312	1,869
前年度	-	-	867	644	948	984	966	860	993	993	1,052	1,071	945	989	11,312	-	-
差異	-	-	145	426	179	415	439	184	23	58	43	43	▲101	15	1,869	-	-

総合内科・内科	前年平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年同期	差異
初診患者(内科系)	105	118	123	146	102	123	116	135	116	98	103	82	109	1,371	1,255	116
新来患者(内科系)	47	58	63	50	46	55	42	46	64	53	38	32	46	593	562	31

血液内科	前年平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年同期	差異
骨髓穿刺	29	28	26	27	30	27	29	37	37	22	20	33	35	351	348	3
造血幹細胞移植	1	1	0	3	1	0	2	2	2	0	1	2	2	16	9	7
造血器腫瘍遺伝子検査	19	14	18	14	17	12	15	18	18	14	14	18	23	195	223	▲28
造血器腫瘍細胞抗原	36	37	35	37	41	39	43	41	42	36	28	37	45	461	431	30

腎臓内科	前年平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年同期	差異
経皮的針生検法(腎)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0
後天性免疫不全症療養指導	64	64	63	65	57	73	70	62	68	71	63	67	72	795	769	26
透析導入期加算	25	9	10	18	8	16	24	19	29	28	18	29	22	230	300	▲70
難病外来指導管理料	55	58	56	52	53	58	62	55	54	62	46	49	47	652	662	▲10

※後天性免疫不全症療養指導以外は腎臓内科オーダー分とする。

糖尿病・内分泌・代謝内科	前年平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年同期	差異
在宅自己注射指導管理料	255	259	257	258	275	261	261	255	254	254	242	248	264	3,088	3,063	25
糖尿病透析予防指導管理料	22	19	18	20	17	13	20	14	11	14	12	16	17	191	261	▲70

※糖尿病・内分泌・代謝内科オーダー分とする。

呼吸器内科	前年平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年同期	差異
EF-気管支	4	8	3	7	8	7	7	5	7	4	10	6	4	76	52	24
ニコチン依存症管理料1(初回)	3	5	2	6	3	1	2	2	6	2	2	4	4	39	35	4
ニコチン依存症管理料1	11	7	8	13	14	12	9	8	10	12	13	9	11	126	126	0
経気管肺生検法	17	16	13	24	18	10	11	14	16	9	11	16	16	174	198	▲24
呼吸ケアチーム加算	11	8	11	22	23	26	18	12	11	9	27	27	22	216	126	90
在宅酸素療法指導管理料	60	61	59	68	62	69	64	63	65	60	62	57	62	752	722	30
在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料	39	37	30	43	39	27	29	32	27	34	35	28	33	394	463	▲69
在宅人工呼吸指導管理料	13	13	13	14	13	10	12	11	11	10	10	10	9	136	161	▲25
終夜睡眠ポリグラフィー	9	9	12	12	10	7	9	10	10	7	16	5	13	120	110	10
精密呼吸機能	81	70	83	82	85	82	61	91	90	70	101	68	101	984	970	14

消化器内科	前年平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年同期	差異
超音波内視鏡	7	5	12	10	13	9	0	15	16	5	10	19	7	121	84	37
RFA	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	5	3	2
上部消化管	478	416	411	515	466	451	508	551	591	530	455	456	630	5,980	5,731	249
下部消化管	185	195	163	196	180	153	168	159	205	169	162	163	205	2,118	2,224	▲106
内視鏡的止血術(上部)	11	10	12	6	8	6	4	13	16	4	11	7	5	102	131	▲29
胃・食道ESD	5	6	3	8	7	5	6	7	8	6	5	8	3	72	60	12
大腸ESD	3	2	1	4	2	3	4	3	1	3	4	1	6	34	38	▲4
内視鏡的胃瘻造設術	1	2	1	5	2	3	3	3	2	1	1	0	2	25	15	10
カプセル内視鏡	1	0	2	1	2	0	0	2	1	1	1	2	1	13	9	4

循環器内科	前年平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年同期	差異
PTCA	14	7	6	8	7	11	9	7	13	9	7	11	16	111	164	▲53
PCPS	2	1	0	1	2	1	0	2	1	3	1	1	3	16	29	▲13
IABP	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	3	5	▲2
四肢のPTA	2	4	2	1	0	0	1	0	2	3	2	5	3	23	24	▲1
シャントPTA	0	0	0	0	0	2	2	2	3	2	5	1	1	18	1	17
ペースメーカー移植・交換	4	4	6	4	7	5	1	3	0	2	2	3	3	40	49	▲9
心臓カテーテル検査	18	12	18	26	23	12	14	27	25	12	22	17	16	224	220	4

※PCPS及びIABPは実人数とする。

脳神経内科	前年平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年同期	差異
難病外来指導管理料	74	71	80	83	74	98	60	89	71	86	70	86	85	953	882	71
神経学的検査	18	20	28	27	23	20	8	13	16	23	17	20	22	237	215	22
てんかん指導料	26	25	31	29	30	45	25	32	37	36	29	49	34	402	312	90
SPECTシンチ	6	2	8	7	14	4	9	7	2	7	5	3	8	76	67	9
嚥下造影	0	0	0	2	2	0	2	0	4	2	4	2	1	19	2	17

※脳神経内科オーダー分とする。

心療内科	前年平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年同期	差異
心身医学療法(入院)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	▲1
心身医学療法(入院外)(初診時)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	▲3
心身医学療法(入院外)(再診時)	41	43	57	37	46	47	60	47	53	55	61	51	67	624	494	130
標準型精神分析療法	21	28	33	39	39	33	36	29	31	32	27	25	21	373	254	119

※心療内科オーダー分とする。

小児科	前年平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年同期	差異
救急搬送患者	85	100	94	96	283	257	137	102	106	149	173	148	106	1,751	1,020	731
救急搬送からの入院	28	33	34	30	58	70	41	29	40	38	45	41	35	494	337	157
ウォークイン患者	45	53	74	86	217	279	154	113	106	103	152	92	59	1,488	543	945
ウォークインからの入院	19	12	20	25	49	62	50	39	40	44	39	24	39	443	227	216

がんセンター	前年平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年同期	差異
がん性疼痛緩和指導管理料	51	53	62	57	51	52	51	45	48	67	54	50	52	642	609	33
がん患者指導管理料1(医師)	33	42	32	34	29	29	30	19	34	32	38	24	28	371	391	▲20
がん患者指導管理料2(看護師等)	54	58	40	55	36	36	45	48	41	53	46	51	64	573	653	▲80
がん患者指導管理料3(薬剤師等)	112	43	38	40	44	20	28	29	28	38	29	27	25	389	1,344	▲955
がん治療連携計画策定料	5	5	7	6	4	5	4	5	5	5	7	1	3	57	57	0
がん拠点病院入院加算	50	36	57	54	42	39	51	68	60	54	56	43	37	597	594	3
緩和ケア診療加算	37	21	25	53	56	29	25	36	31	21	42	38	38	415	440	▲25

外科統括部	前年平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年同期	差異
時間内緊急手術	4	11	5	6	2	6	5	2	6	5	2	2	6	58	49	9
時間外緊急手術	3	5	3	1	0	2	1	1	5	2	1	0	7	28	33	▲5

胃食道外科	前年平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年同期	差異
胃悪性腫瘍手術(ロボット支援)	1	3	1	1	0	2	4	4	5	7	5	5	6	43	-	-
胃悪性腫瘍手術	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	▲7
胃悪性腫瘍手術(腹腔鏡下)	3	4	3	5	3	5	2	1	0	1	0	0	1	25	37	▲12
胃(単純手術)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	▲1
食道悪性腫瘍手術	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
食道悪性腫瘍手術(胸腔鏡)	1	0	2	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	5	12	▲7

※胃食道外科オーダ分とする。

大腸肛門外科	前年平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年同期	差異
結腸悪性腫瘍手術	1	1	2	2	1	0	2	1	0	3	2	0	5	19	9	10
結腸悪性腫瘍手術(腹腔鏡)	7	3	8	6	5	7	1	1	2	4	0	0	2	39	78	▲39
直腸悪性腫瘍手術(ロボット支援)	3	1	3	3	3	1	0	1	4	3	5	3	5	32	-	-
直腸悪性腫瘍手術	1	0	0	1	1	1	0	2	0	2	1	0	0	8	9	▲1
直腸悪性腫瘍手術(腹腔鏡)	2	3	2	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	8	24	▲16
結腸単純切除	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	3	4	▲1
結腸単純切除(腹腔鏡)	1	1	2	1	1	1	0	1	2	0	1	0	1	11	15	▲4

※大腸肛門外科オーダ分とする。

肝胆膵外科	前年平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年同期	差異
肝悪性腫瘍手術	0	1	2	2	1	2	1	2	0	0	1	0	1	13	4	9
肝悪性腫瘍手術(腹腔鏡)	2	4	4	0	2	1	1	1	3	1	2	1	2	22	23	▲1
胆のう悪性腫瘍手術	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	2	0	0	4	4	0
胆のう摘出術	0	1	0	0	0	0	0	2	0	0	0	1	1	5	1	4
腹腔鏡下胆嚢摘出術	7	14	11	8	8	8	9	13	13	13	8	10	7	122	82	40
膵臓腫瘍手術	1	1	1	3	1	4	2	0	1	2	1	2	4	22	14	8
膵臓腫瘍手術(腹腔鏡)	1	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2	7	▲5

※肝胆膵外科オーダ分とする。

乳腺・内分泌外科	前年平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年同期	差異
乳腺悪性腫瘍手術	10	8	13	13	10	15	10	14	15	16	14	12	11	151	125	26
再建術(組織拡張器)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	▲3
乳房再建(一期・二期)	0	0	1	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	4	1	3
乳がんセンチネルリンパ節加算	8	6	10	10	8	11	9	10	13	11	12	9	9	118	98	20

※乳腺・内分泌外科オーダ分とする。

呼吸器外科	前年平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年同期	差異
呼吸器外科手術件数	12	19	12	12	14	15	13	14	13	14	13	17	20	176	149	27
肺悪性腫瘍手術(ロボット支援)	6	7	5	7	5	8	7	4	4	8	4	8	11	78	71	7
肺悪性腫瘍手術	2	4	0	0	1	0	1	1	2	0	2	1	4	16	20	▲4
縦隔腫瘍手術(ロボット支援)	1	1	1	0	1	0	1	2	1	0	1	0	0	8	8	0
肺切除術	3	3	2	3	4	4	2	4	2	2	1	5	3	35	31	4

※呼吸器外科オーダ分とする。

救命救急科	前年平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年同期	差異
観血的整復固定術	12	13	15	11	12	13	10	11	14	16	12	14	12	153	143	10
腹腔鏡下虫垂切除術	2	5	1	4	1	4	1	2	2	1	1	1	3	26	26	0
腹腔鏡下胆嚢摘出術	1	2	2	2	2	0	0	2	1	2	1	3	0	17	13	4
骨内異物(挿入物)除去術	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	4	1	3
人工骨頭置換術	2	2	1	1	0	2	3	2	1	2	1	1	1	17	29	▲12

※救命救急科オーダ分とする。

整形外科	前年平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年同期	差異
関節骨折	3	3	3	4	4	1	1	4	2	3	2	3	9	39	34	5
骨折外傷	23	36	34	29	22	19	24	24	22	31	34	21	23	319	276	43
人工関節置換術	2	1	2	2	1	1	2	0	3	3	2	3	4	24	25	▲1
人工骨頭挿入術	4	3	3	5	2	4	4	5	3	6	6	3	5	49	53	▲4
脊椎手術	16	17	15	15	12	20	15	10	19	15	14	17	17	186	195	▲9

脳神経外科	前年平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年同期	差異
脳腫瘍手術	3	3	2	3	1	3	4	4	7	2	2	2	2	35	32	3
超急性期脳卒中加算(t-PA)	2	5	3	0	4	0	3	4	1	3	3	3	1	30	25	5
脳動脈瘤クリッピング	1	0	2	0	1	1	1	2	2	1	1	2	0	13	8	5
慢性硬膜下血腫穿孔洗浄術	4	2	4	1	1	2	2	6	6	6	1	6	2	39	52	▲13
経皮的脳血管形成術	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	4	▲3
頸動脈ステント留置術	1	0	2	2	1	2	1	0	1	1	0	0	0	10	9	1
脳血管内手術	4	4	1	2	5	4	4	5	3	4	8	6	5	51	45	6
脳アンギオ	10	11	13	18	19	17	6	17	16	16	13	13	16	175	114	61

※脳神経外科オーダ分とする。

心臓血管外科	前年平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年同期	差異
冠動脈バイパス手術	1	1	0	1	0	0	2	1	0	3	0	0	0	8	11	▲3
冠動脈バイパス・複合手術	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
弁置換術	1	1	1	1	0	1	0	0	3	1	4	1	2	15	9	6
弁形成術	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	4	3	1
胸部大血管手術	6	4	3	2	4	1	3	5	2	4	4	4	4	40	68	▲28
うちステントグラフト	3	1	2	2	2	0	1	2	1	1	0	2	3	17	38	▲21
その他開心術	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	▲3
腹部大血管手術	2	1	2	4	3	6	2	1	6	2	4	2	4	37	25	12
うちステントグラフト	1	1	0	2	2	1	1	0	0	1	0	1	3	12	8	4
末梢血管・静脈手術	1	1	0	0	4	2	3	0	1	4	1	2	5	23	14	9
その他手術	1	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1	5	7	▲2

※心臓血管外科オーダ分とする。

皮膚科	前年平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年同期	差異
皮膚悪性腫瘍手術	3	1	2	2	4	7	4	7	7	4	3	4	1	46	34	12
組織試験採取、切採法(皮膚)	32	34	34	33	38	36	36	42	30	38	36	30	49	436	383	53
ダーモスコピー	9	11	7	17	5	12	11	24	11	9	11	4	5	127	104	23
ワイヤー及びバクリップ療法	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	3	14	▲11

※皮膚科オーダ分とする。

形成外科	前年平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年同期	差異
皮弁形成術	3	1	3	2	2	5	5	3	1	2	2	2	1	29	32	▲3
下肢静脈瘤手術	2	4	1	3	4	6	2	6	6	3	2	1	3	41	28	13
褥瘡ハイリスクケア加算	146	130	112	170	177	232	188	178	194	200	172	194	232	2,179	1,750	429
局所陰圧閉鎖処置初回	6	11	8	12	15	2	8	12	5	10	6	8	22	119	77	42
他科共観手術	7	6	4	5	2	0	6	5	1	3	4	6	2	44	87	▲43

泌尿器科	前年平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年同期	差異
経尿道的前立腺手術	3	5	2	2	3	1	0	2	4	1	3	2	0	25	30	▲5
前立腺針生検法	20	21	15	12	14	21	17	16	14	21	27	22	33	233	234	▲1
腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(ロボット支援)	5	6	5	5	6	1	4	4	7	1	3	5	6	53	60	▲7
腹腔鏡下腎(尿管)悪性腫瘍手術	2	0	0	4	0	4	2	1	0	3	1	0	0	15	24	▲9
腹腔鏡下腎部分切除術(ロボット支援)	-	2	1	0	1	2	1	2	0	0	1	0	1	11	-	-
膀胱悪性腫瘍手術(ロボット支援)	1	0	1	1	0	4	1	2	0	1	2	2	0	14	9	5
膀胱悪性腫瘍手術(経尿道的手術)	10	6	9	10	17	12	13	18	17	15	11	16	12	156	123	33
経尿道的尿管碎石術	-	-	4	8	8	4	8	8	4	5	8	7	3	67	-	-
腎(尿管)悪性腫瘍手術(ロボット支援)	2	-	-	1	1	1	3	0	0	2	1	1	1	11	22	▲11

※泌尿器科オーダ分とする。

産婦人科	前年平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年同期	差異
コルポスコピー	25	18	13	18	16	18	22	17	15	19	24	22	25	227	294	▲67
子宮悪性腫瘍手術(ロボット支援)	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	9	▲8
子宮悪性腫瘍手術	2	1	1	2	4	0	1	1	1	2	3	2	3	21	24	▲3
子宮附属器悪性腫瘍手術	1	1	1	2	0	3	1	0	1	1	2	1	1	14	15	▲1
腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術	1	0	0	0	0	1	1	1	0	0	1	2	1	7	6	1
子宮附属器腫瘍摘出術	2	3	2	1	2	3	2	3	4	0	2	0	0	22	25	▲3
子宮附属器腫瘍摘出術(腹腔鏡)	8	8	8	7	8	11	8	4	8	11	4	7	12	96	95	1
子宮頸部(陰部)切除(レーザー含)	5	3	6	5	6	3	5	3	3	3	3	4	5	49	61	▲12
子宮全摘(ロボット支援)	0	0	1	0	0	2	2	1	1	0	2	1	5	15	2	13
子宮全摘	2	1	1	2	3	2	1	1	0	3	0	1	1	16	25	▲9
子宮全摘術(腹腔鏡)	4	3	3	1	1	3	5	4	3	0	1	3	3	30	42	▲12
ハイリスク妊娠管理加算	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	1	5	10	▲5
ハイリスク分娩管理加算	3	0	8	7	9	7	1	7	0	8	16	8	16	87	31	56

※産婦人科オーダ分とする。

アイセセンター	前年平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年同期	差異
水晶体再建術	73	61	56	79	69	71	69	81	75	73	70	67	68	839	871	▲32
硝子体網膜症手術	15	15	6	8	5	11	16	16	15	16	13	17	16	154	185	▲31
緑内障手術	4	3	7	4	3	5	3	5	1	7	2	4	5	49	49	0
硝子体内注射	196	216	196	207	211	252	220	255	240	272	255	235	233	2,792	2,355	437

※アイセセンターオーダ分とする。

耳鼻咽喉科・頭頸部外科	前年平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年同期	差異
口蓋扁桃手術	4	4	4	3	5	3	2	4	4	5	4	4	6	48	43	5
嚥下機能手術	1	1	1	2	0	2	2	1	2	1	0	2	1	15	6	9
喉頭形成手術	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
甲状腺・副甲状腺手術	3	4	5	2	3	3	4	3	3	2	2	2	5	38	39	▲1
唾液腺(耳下腺・顎下腺)手術	2	3	2	3	1	3	2	5	2	2	2	1	2	28	22	6
鼻・副鼻腔手術	8	10	7	13	12	12	11	7	16	7	15	10	17	137	100	37

※耳鼻咽喉科・頭頸部外科オーダ分とする。

歯科口腔外科	前年平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年同期	差異
外来手術件数	91	95	85	112	81	97	87	99	80	84	102	89	102	1,113	1,095	18
周術期口腔機能管理計画策定料	56	49	54	52	49	54	56	40	71	52	44	50	64	635	669	▲34
周術期口腔機能管理料	136	115	133	134	109	126	131	132	137	155	115	122	184	1,593	1,632	▲39
周術期専門的口腔衛生処置	79	74	86	82	66	70	77	77	71	99	62	68	101	933	951	▲18
栄養サポート歯科医師連携加算	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
地域歯科診療支援病院歯科初診料	228	230	221	262	218	221	226	209	229	202	209	206	255	2,688	2,736	▲48

※歯科口腔外科オーダ分とする。

放射線治療科	前年平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年同期	差異
外来放射線照射診療料	121	124	143	86	86	126	123	126	150	132	136	131	159	1,522	1,448	74
管理料(IMRT)	11	11	16	14	10	20	13	23	19	11	17	14	13	181	130	51
画像誘導加算	461	488	441	368	381	433	384	540	476	549	372	422	550	5,404	5,534	▲130
強度変調放射線治療(IMRT)	246	317	290	282	233	311	278	388	368	418	289	278	353	3,805	2,956	849
管理料(1門・対向2門照射)	2	4	7	2	3	4	9	4	3	7	1	8	6	58	23	35
管理料(非対向2門・3門照射)	5	10	5	3	4	7	2	3	10	2	4	6	4	60	56	4
管理料(4門以上・原体照射)	22	19	16	12	22	21	17	20	16	14	29	22	27	235	258	▲23
体外照射(1門・対向2門照射)	13	40	45	31	21	29	43	19	10	72	24	31	48	413	150	263
体外照射(非対向2門・3門照射)	49	82	61	29	33	74	15	33	64	23	50	39	79	582	585	▲3
体外照射(4門以上・原体照射)	296	264	253	157	211	319	246	239	253	215	266	327	313	3,063	3,548	▲485
1回線量増加加算	138	111	173	110	102	221	175	132	227	164	201	192	141	1,949	1,660	289
直線加速器による定位放射線治療	7	6	4	6	10	5	8	9	5	14	9	9	7	92	80	12
放射性同位元素内用療法管理料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	▲2

放射線診断科・放射線技術科	前年平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年同期	差異
CT撮影(64列未満)	2,592	2,563	2,631	2,705	2,568	2,590	2,576	2,693	2,641	2,718	2,603	2,520	2,885	31,693	31,104	589
MRI撮影(1.5テスラ)	760	805	769	879	779	849	765	784	814	812	745	799	882	9,682	9,114	568
画像診断管理加算1	2,534	2,647	2,673	2,789	2,682	2,682	2,642	2,755	2,704	2,740	2,638	2,617	2,930	32,499	30,402	2,097
冠動脈CT撮影	26	15	25	25	19	18	22	25	21	25	25	22	29	271	313	▲42
時間外緊急院内検査加算	279	307	341	260	376	352	309	345	308	358	364	324	307	3,951	3,351	600
骨塩定量検査	68	71	70	70	73	68	76	79	79	71	95	91	79	922	820	102
乳房撮影	322	314	265	310	316	324	376	345	342	326	297	318	357	3,890	3,860	30
IVR件数	39	40	32	45	37	44	42	31	37	42	45	39	54	488	468	20

病理診断科	前年平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年同期	差異
術中迅速病理組織標本作製	23	28	30	37	29	44	40	28	45	42	39	39	35	436	321	115
病理組織標本作製	621	629	599	675	633	636	617	645	721	677	628	658	738	7,856	7,157	699
免疫染色病理組織標本作製(その他)	109	114	137	149	149	125	130	131	121	179	137	127	156	1,655	1,536	119
細胞診(婦人科材料等)	377	317	301	360	344	361	364	370	372	366	317	334	402	4,208	4,497	▲289
細胞診(穿刺吸引細胞診、体腔洗浄等)	255	335	351	376	292	317	308	303	355	325	318	334	374	3,988	3,929	59
術中迅速細胞診	15	13	13	19	17	25	16	13	11	19	20	17	24	207	204	3
病理診断管理加算2(組織診断)	524	536	531	555	553	553	519	579	587	575	552	551	641	6,732	6,285	447
病理解剖	2	0	2	1	0	0	4	1	1	3	2	1	1	16	18	▲2

麻酔科	前年平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年同期	差異
手術件数	466	440	451	464	454	487	441	453	496	463	444	460	522	5,575	5,586	▲11
全身麻酔	230	251	249	253	247	279	254	227	248	243	235	231	302	3,019	2,757	262
脊髄麻酔	65	61	61	50	62	58	58	67	71	68	73	78	74	781	779	2
麻酔管理料Ⅰ(全麻)	140	166	187	180	168	204	178	139	164	165	167	155	202	2,075	1,678	397
麻酔管理料Ⅰ(脊麻・硬麻)	3	2	7	3	0	6	3	2	3	4	3	6	3	42	40	2
麻酔管理料Ⅱ(全麻)	86	83	60	63	73	70	77	85	82	78	67	74	99	911	1,028	▲117
麻酔管理料Ⅱ(脊麻・硬麻)	2	1	0	1	2	1	0	4	0	1	2	1	1	14	24	▲10

診療科別手術室件数	前年平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年同期	差異
外科	0	2	1	0	2	1	1	2	3	1	0	0	1	14	0	14
胃食道外科	10	15	11	8	5	13	9	13	10	13	8	12	12	129	123	6
大腸肛門外科	40	29	42	26	17	29	28	24	44	34	27	24	32	356	483	▲127
肝胆膵外科	14	25	26	25	23	22	23	22	24	24	20	20	27	281	170	111
呼吸器外科	12	19	12	12	14	15	13	14	13	14	13	17	20	176	149	27
乳腺・内分泌外科	11	10	14	14	10	19	11	17	18	14	13	14	13	167	134	33
救命救急科	35	44	35	45	37	43	35	34	38	38	36	42	37	464	419	45
整形外科	58	65	71	69	74	59	71	59	62	64	57	59	79	789	693	96
脳神経外科	16	16	24	16	16	22	19	17	19	17	20	25	15	226	197	29
心臓血管外科	12	10	8	10	10	16	11	7	15	14	12	11	19	143	143	0
皮膚科	12	9	12	12	14	18	10	11	14	10	12	9	12	143	143	0
形成外科	19	14	16	21	21	21	14	17	20	20	15	18	23	220	233	▲13
泌尿器科	51	60	49	57	61	60	56	69	67	61	70	67	71	748	615	133
産婦人科	29	25	31	24	32	34	30	27	26	27	26	28	33	343	349	▲6
眼科	77	67	66	82	77	75	73	85	80	80	75	69	75	904	925	▲21
耳鼻咽喉科・頭頸部外科	20	25	21	26	22	25	22	20	22	19	22	23	28	275	238	37
歯科口腔外科	10	5	11	12	13	12	10	9	12	5	9	11	19	128	116	12
救急・総合診療科	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	▲7
腎臓内科	0	0	0	5	6	3	5	6	9	8	9	11	6	68	0	68
その他診療科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※手術室を利用した件数とする

臨床検査技術科	前年平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年同期	差異
生化Ⅰ判断料	5,317	5,286	5,394	5,531	5,510	5,701	5,490	5,347	5,341	5,419	5,341	5,183	5,734	65,277	63,808	1,469
生化Ⅱ判断料	1,484	1,471	1,483	1,577	1,593	1,707	1,602	1,590	1,564	1,716	1,700	1,587	1,800	19,390	17,804	1,586
免疫判断料	5,156	5,227	5,258	5,357	5,741	6,160	5,570	5,323	5,324	5,469	5,638	5,108	5,506	65,681	61,871	3,810
血液判断料	5,293	5,225	5,341	5,479	5,449	5,614	5,431	5,295	5,298	5,342	5,280	5,136	5,690	64,580	63,513	1,067
尿糞便判断料	1,817	1,826	1,847	1,955	1,884	2,003	1,889	1,821	1,823	1,895	1,837	1,754	2,017	22,551	21,809	742
外来迅速検体検査加算	4,368	4,232	4,391	4,570	4,231	4,531	4,393	4,167	4,209	4,169	4,107	3,943	4,623	51,566	52,412	▲846
時間外緊急院内検査加算	317	332	408	317	476	434	356	366	359	407	408	354	357	4,574	3,800	774

薬剤科	前年平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年同期	差異
薬剤管理指導料	1,430	1,462	1,602	1,662	1,645	1,783	1,607	1,562	1,729	1,552	1,568	1,559	1,683	19,414	17,155	2,259
病棟薬剤業務実施加算1	1,817	2,024	2,337	2,082	2,398	2,279	2,122	2,352	2,210	2,059	2,418	2,162	2,137	26,580	21,804	4,776
病棟薬剤業務実施加算2	1,054	949	922	757	1,167	1,545	1,142	901	963	1,522	1,457	899	1,013	13,237	12,650	587
無菌製剤処理料	823	856	888	1,005	940	983	920	862	913	869	879	806	1,001	10,922	9,881	1,041
外来腫瘍化学療法診療1	597	575	604	639	600	639	623	601	577	584	602	586	635	7,265	7,166	99
抗悪性腫瘍剤処方管理加算	544	555	524	568	548	583	592	557	565	568	553	518	633	6,764	6,530	234
退院時薬剤情報管理指導料	654	707	645	759	769	782	750	718	756	752	610	727	792	8,767	7,853	914
化学療法調製件数(入院)	131	118	126	169	156	134	130	96	193	153	126	104	125	1,630	1,572	58
化学療法調製件数(外来)	607	712	740	805	763	844	804	773	746	730	747	704	733	9,101	7,289	1,812

リハビリテーション科	前年平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年同期	差異
心大血管疾患リハビリテーション	675	687	548	515	426	399	359	403	550	573	596	547	732	6,335	8,095	▲1,760
脳血管リハビリテーション	2,458	2,876	2,780	2,916	2,223	2,351	2,193	2,581	2,536	2,333	2,400	2,318	2,382	29,889	29,498	391
廃用リハビリテーション	1,357	1,454	1,699	1,948	1,719	1,772	1,580	1,402	1,268	1,211	1,274	1,145	1,580	18,052	16,279	1,773
運動器リハビリテーション	1,269	1,348	1,180	1,378	1,417	1,380	1,319	1,291	1,114	1,106	981	1,066	1,172	14,752	15,233	▲481
呼吸器リハビリテーション	1,219	1,089	1,070	1,322	1,542	2,304	1,683	1,373	1,562	1,718	1,429	1,443	1,542	18,077	14,624	3,453
がん患者リハビリテーション	529	478	481	661	496	452	417	482	452	486	383	369	639	5,796	6,351	▲555

臨床工学科	前年平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年同期	差異
人工腎臓	147	122	101	108	89	114	135	124	133	162	159	152	166	1,565	1,759	▲194
持続緩徐式血液濾過	20	13	22	15	18	30	17	20	24	29	62	12	13	275	237	38
吸着式血液浄化法	1	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	3	0	6	10	▲4
血球成分除去療法	2	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	6	20	▲14
血漿交換療法	4	0	0	0	26	6	0	0	5	10	5	0	1	53	43	10
人工呼吸	486	288	353	302	273	299	236	273	319	351	363	363	505	3,924	5,836	▲1,912
ME機器点検件数	1,459	1,519	1,781	2,206	2,460	2,364	2,440	2,382	2,709	2,432	2,350	2,012	2,594	27,249	17,507	9,742

栄養管理科	前年平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年同期	差異
栄養サポートチーム加算	118	95	94	144	126	139	68	94	116	133	97	98	109	1,313	1,420	▲107
外来栄養食事指導料	83	83	78	93	96	86	85	79	88	89	90	71	76	1,014	994	20
入院栄養食事指導料	189	139	142	153	135	148	167	149	162	133	148	160	182	1,818	2,273	▲455
集団栄養食事指導料	6	7	10	12	5	5	12	9	9	3	8	12	3	95	71	24
普通食	5,740	6,409	6,265	6,416	7,152	7,248	6,054	5,983	6,449	6,365	6,395	5,950	6,213	76,899	68,880	8,019
軟食	6,708	6,579	7,099	6,985	7,545	8,444	7,368	8,275	7,710	7,426	7,970	7,107	7,998	90,506	80,501	10,005
流動食	2,993	2,242	2,795	2,731	2,981	3,381	3,672	3,002	2,697	2,961	3,620	2,863	2,894	35,839	35,914	▲75
特別食	10,988	11,093	11,966	10,884	12,089	11,692	10,685	10,067	11,154	11,326	12,062	11,735	10,933	135,686	131,852	3,834

看護局	前年平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年同期	差異
院内感染防止対策加算	942	970	986	969	1,047	1,127	987	1,013	1,021	1,014	1,057	980	1,024	12,195	11,303	892
医療安全対策加算	942	970	986	969	1,047	1,127	987	1,013	1,021	1,014	1,057	980	1,024	12,195	11,303	892
院内トリアージ実施料	1,301	1,494	1,446	1,364	1,890	2,210	1,488	1,404	1,366	1,423	1,710	1,224	1,332	18,351	15,614	2,737
人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算	7	8	6	6	3	9	7	6	6	9	9	6	7	82	79	3
精神科リエゾンチーム加算	55	56	65	61	60	60	43	51	52	40	59	68	44	659	661	▲2
入退院支援加算	710	764	708	762	772	832	795	795	801	866	694	759	766	9,314	8,522	792
地域連携診療計画加算	3	1	5	8	1	2	3	0	4	8	1	4	6	43	40	3
摂食機能療法	320	260	388	328	302	266	413	312	321	387	327	365	328	3,997	3,843	154
総合機能評価加算	454	500	439	503	493	507	520	526	519	604	457	511	516	6,095	5,453	642
認知症ケア加算1	315	43	259	256	364	323	320	337	367	324	300	366	435	3,694	3,785	▲91

病床管理	前年平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年同期	差異
1週間以内の再入院	18	21	19	21	15	21	22	15	12	31	15	15	20	227	222	5
計画外の再入院	11	15	13	14	9	13	17	11	6	15	7	8	15	143	134	9
計画的再入院	6	6	6	7	6	8	5	4	6	16	8	7	5	84	80	4
退院数	892	1,040	949	1,047	1,095	1,140	1,087	1,045	1,083	1,147	971	1,047	1,104	12,755	11,688	1,067
入院期間Ⅰ未満	189	243	204	210	240	261	232	219	201	273	212	216	226	2,737	2,513	224
入院期間Ⅰ以上Ⅱ未満	444	504	455	553	539	561	531	508	545	538	460	536	553	6,283	5,775	508
入院期間Ⅱ以上	221	248	257	236	273	285	280	275	297	286	259	240	281	3,217	2,898	319
包括対象外	10	14	6	11	14	10	17	17	11	12	16	22	11	161	137	24
その他(短期滞在等)	28	31	27	37	29	23	27	26	29	38	24	33	33	357	365	▲8
入院期間Ⅱ未満の割合(%)	73.3	74.0	71.5	75.5	73.1	73.6	72.0	71.3	70.8	73.1	71.0	74.2	72.7	72.8	73.2	▲0.4
室料差額徴収率(%)	51	48.9	40.7	49.6	51.0	47.6	45.5	51.2	51.5	46.0	38.0	52.8	54.6	48.1	51.0	▲2.9

救命救急センター	前年平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年同期	差異
救急搬送患者	573	666	706	643	947	868	735	764	691	744	791	716	689	8,960	6,842	2,118
救急搬送からの入院	259	299	291	247	321	344	289	304	294	321	326	293	299	3,628	3,112	516
救急搬送患者(内科系)	332	389	408	365	490	450	394	409	399	390	410	371	390	4,865	3,988	877
救急搬送からの入院(内科系)	164	189	186	136	190	195	170	185	184	204	186	176	186	2,187	1,965	222
ウォークイン患者	573	682	669	662	1,135	1,366	783	688	696	765	1,052	536	538	9,572	6,879	2,693
ウォークインからの入院	125	135	129	115	152	166	139	143	144	171	152	123	127	1,696	1,501	195
ウォークイン患者(内科系)	414	491	460	437	613	175	175	212	246	215	187	217	272	3,700	4,970	▲1,270
ウォークインからの入院(内科系)	78	87	82	64	76	65	57	67	74	85	76	75	64	872	930	▲58
救急搬送応需率(%)	7	75.3	76.9	80.5	65.9	53.3	67.7	73.7	73.3	61.4	58.9	73.4	69.6	69.2	78.4	▲9.2
お断り件数	158	219	212	156	489	759	350	272	252	468	551	260	301	4,289	1,898	2,391
ドクターカー出動件数	16	25	25	23	10	0	0	27	14	19	23	18	25	209	187	22
救命救急入院料3(HCU)	255	311	266	258	290	343	290	279	269	312	359	317	338	3,632	3,056	576
救命救急入院料4(ICU)	157	147	135	140	116	174	125	123	125	159	171	131	190	1,736	1,883	▲147

※救命救急入院料3・4は救命救急センターで算定した件数とする

集中治療センター	前年平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年同期	差異
ハイケアユニット入院医療管理料1	98	69	95	87	101	100	100	77	108	105	120	109	131	1,202	207	995
特定集中治療室管理料1	167	133	180	125	176	174	131	139	157	205	190	128	205	1,943	1,801	142

※集中治療センターで算定した件数とする

予防健診科	前年平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年同期	差異
がん検診	713	400	434	629	605	681	661	731	731	753	691	695	1,246	8,257	8,554	▲297
人間ドック	139	136	99	165	171	186	174	188	183	182	173	171	190	2,018	1,663	355
健康診断	220	127	170	231	283	244	223	292	476	268	226	226	313	3,079	2,635	444

V 研 究 研 修

原著、総説、著書(2022年4月～2023年3月)

科名	題名	著者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
血液内科	Adverse effect of donor-specific anti-human leukocyte antigen (HLA) antibodies directed at HLA-DP/-DQ on engraftment in cord blood transplantation	Jo T・Arai Y Hatanaka K・Ishii H Ono A・Matsuyama N Mori J・Koh Y Azuma F・Kimura T	Cytotherapy	25(4)	407-414	2023
腎臓内科	The effect of dapagliflozin on uric acid excretion and serum uric acid level in advanced CKD.	Iwata Y・Notsu S Kawamura Y Mitani W Tamai S・Morimoto M Yamato M	Scientific Report	13(1)	4849	2023
	腎サポートとアフレスシス：Kidney Replacement TherapyはRescueやRecoveryとしての効果も有しうるのか？	倭 成史	日本アフレスシス学会雑誌	42(1)	21-25	2023
糖尿病・内分泌代謝内科	Comparing the clinical significance and antigen specificity of insulinoma-associated antigen-2 autoantibodies between radioimmunoassay and enzyme-linked immunosorbent assay in Japanese patients with type 1 diabetes.	Kawasaki E Shimada A Imagawa A・Abiru N Awata T・Oikawa Y Osawa H・Kawabata Y Kozawa J・Kobayashi T Takahashi K・Chujo D Fukui T・Miura J Yasuda K・Yasuda H Kajio H・Hanafusa T Ikegami H	J Diabetes Investig	14	58-66	2022
	Novel loci for hyperglycemia identified by QTL mapping of 2 longitudinal phenotypes and congenic analysis.	Babaya N Itoi-Babaya M Ueda H・Kobayashi M Noso S・Hiromine Y Ishikawa A Fujisawa T Ikegami H	Scientific Reports	13	1315-1323	2023
	High monocyte CD300e expression in patients with acute onset type 1 diabetes.	Morimoto T・Hirao M Sano H・Terasaki J Hanafusa T・Imagawa A	Bulletin of Osaka Medical and Pharmaceutical University	68	29-37	2022
	1型糖尿病の成因解明：これまでの道のりと今後の展望	花房 俊昭	日本臨床	80(4)	582-586	2022

科名	題 名	著 者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
代謝内科・内分泌・	わが国の1型糖尿病研究の歴史と展望	花房 俊昭	医学のあゆみ	281(6)	582-586	2022
呼吸器内科	第16回日本禁煙学会学術総会「命を守るための禁煙へ」開催にあたって 禁煙の活動をケアすること	郷間 巖	日本禁煙学会雑誌	17 (2)	—	2022
	A case of thoracic SMARCA4-Deficient undifferentiated tumor successfully treated with combination Ipilimumab-Nivolumab	Nakano Y・Sekinada D Kuze Y・Okamoto N Gohma I・Yasuhara Y	Clin Case Rep	10(12)	e6745	2022
消化器内科	大量下痢が長期間持続した重症新型コロナウイルス感染症の1例	合原 彩・井関 隼也 中村 昌司・藤森 正樹 高橋 俊介・安原裕美子 北村 信次	日本消化器内視鏡学会雑誌	65(3)	236-243	2023
	腹部救急疾患Updateいざというとき困らないように！腹痛のメカニズムと腹部診察の基本	北村 信次	消化器外科	45 (12)	1277-83	2022
	【胃疾患アトラス 改訂版】 隆起を呈する病変 上皮性・ 非腫瘍性隆起病変 扁平隆起 胃黄色腫	澁川 成弘・飯島 英樹 小嶋 啓子	消化器内視鏡	34 (増刊)	58-59	2022
	Elderly onset age is associated with low efficacy of first anti-tumor necrosis factor treatment in patients with inflammatory bowel disease	Amano T・Shinzaki S Asakura A・Tashiro T Tani M・Otake Y Yoshihara T・Iwatani S Yamada T Sakakibara Y Osugi N・Ishii S Egawa S・Araki M Arimoto Y Nakahara M Murayama Y Kobayashi I Kinoshita K・Ogawa H Hiyama H Shibukawa N Komori M・Okuda Y Kizu T・Yoshii S Tsuji Y・Hayashi Y Inoue T・Iijima H Takehara T	Sci Rep.	12 (1)	5324	2022

科名	題名	著者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
脳 神 経 内 科	Cellular analysis of SOD1 protein-aggregation propensity and toxicity - A case of ALS with slow progression 2 harboring homozygous SOD1-D92G mutation	Sawamura M Imamura K Hikawa R・Enami T Nagahashi A Yamakado H Ichijyo H・Takao Fujisawa T Yamashita H Minamiyama S Kaido M・Wada H Urushitani M・Inoue H Egawa N・Takahashi R	Sci Rep	12 ・ 12636	https://doi.org/10.1038/s41598-022-16871-3	2022
	Guillain-Barré Syndrome Associated with COVID-19 in a Japanese Male.	Esa Y・Kajiyama Y Kaido M・Watanabe Y Fujimura H・Gohma I Takahashi K Kobayashi J	Case Reports in Neurological Medicine	2022 Oct 22; 2022: 6837851.	doi:10.1155/2022/6837851. eCollection 2022.	2022
	免疫療法下の免疫介在性神経筋疾患におけるCOVID-19ワクチン接種後の抗体産生能について	階堂三砂子・梶山 裕 佐々木伸也・齊藤 孝子 江左 佳樹・渡邊 有史 藤村 晴俊・小林 潤也	臨床神経	63	145-151	2022
心 療 内 科	死別後うつ病、複雑性悲嘆に対する薬物療法のエビデンス	阪本亮・蓮尾英明	精神医学	64 (12)	1655-1660	2022
	Morphine Versus Oxycodone for Cancer Pain Using a Catechol-O-methyltransferase Genotype Biomarker: A Multicenter Randomized Open-Label Phase III Clinical Trial (RELIEF Study)	Matsuoka H Tsurutani J・Chiba Y Fujita Y・Sakai K Yoshida T・Nakura M Sakamoto R・et al.	The Oncologist	28 (3)	278-e166	2022
	Analysis of Various Factors Associated With Opioid Dose Escalation in Patients With Cancer Pain	Ryo Sakamoto Atsuko Koyama	Cureus	14(5)	e25266	2022
	かかりつけ医でもできる！心療内科的診療術	阪本 亮(分担執筆)	金芳堂	—	98-108	2023
	遺族ケアガイドライン：がん等の身体疾患によって重要他者を失った遺族が経験する精神心理的苦痛の診療とケアに関するガイドライン	阪本 亮(分担執筆)	金原出版	—	64-65、86-90	2022

科名	題 名	著 者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
消化器外科科	日本臨床栄養代謝学会 JSPENコンセンサスブック①がん(日本臨床栄養代謝学会編)Expert Opinion VI-1 栄養臨床試験とエビデンス創出	西川 和宏	医学書院	—	169	2022
	胃癌腹膜播種に伴う腸閉塞に対する緩和手術	川端 良平・西川 和宏 牛丸 裕貴・北川 彰洋 大原 信福・三宅祐一朗 前田 栄・橋本 安司 能浦 真吾・宮本 敦史	臨床外科	77	1198-1201	2022
	Corona virus disease 2019に罹患した進行胃癌患者に対する手術経験	中西 智也・川端 良平 西川 和宏・牛丸 裕貴 大原 信福・三宅祐一朗 前田 栄・中平 伸 中田 健・小川 吉彦 西尾 智尋・安原裕美子 宮本 敦史	日消外会誌	55	736-743	2022
	ニボルマブにて結核と免疫性血小板減少性紫斑病を来した切除不能進行食道癌の1例	泉谷 祐甫・牛丸 裕貴 西川 和宏・川端 良平 大原 信福・三宅祐一朗 前田 栄・中平 伸 中田 健・宮本 敦史 安原裕美子	日消外会誌	55	490-496	2022
	集学的治療が奏功した Stage Ivb胸部食道癌の1例	老木 華・川端 良平 泉谷 祐・北川 彰洋 牛丸 裕貴・大原 信福 三宅祐一朗・前田 栄 中田 健・西川 和宏 宮本 敦史	癌と化学療法	49	1802-1804	2022
	肝細胞癌術後肺転移に対して経動脈的化学塞栓術と経皮的ラジオ波焼灼術を施行した1例	前田 栄・保本 卓 中村 純寿・北川 彰洋 橋本 安司・中平 伸 安原裕美子・牛丸 裕貴 大原 信福・三宅祐一朗 川端 良平・中田 健 西川 和宏・能浦 真吾 宮本 敦史	癌と化学療法	49	1597-1599	2022
	直腸癌膀胱/前立腺浸潤に対して他科との協力で施行し得たロボット支援下超低位前方切除・膀胱/前立腺合併切除の1例	泉谷 祐甫・中田 健 高山 仁志・三宅祐一朗 大原 信福・老木 華 梅田 一生・北川 彰洋 牛丸 裕貴・西川 和宏 川端 良平・前田 栄 中平 伸・宮本 敦史 安原裕美子	癌と化学療法	49	1565-1567	2022

科名	題名	著者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
消化器外科	Effects of perioperative eicosapentaenoic acid-enriched oral nutritional supplement on the long-term oncological outcomes after total gastrectomy for gastric cancer.	Aoyama T Yoshikawa T Ida S・Cho H Sakamaki K Ito Y・Fujitani K Takiguchi N Kawashima Y Nishikawa K・Nunobe S Hiki N	Oncol Lett	23	151	2022
	Initial Safety Analysis of CapeOx for Elderly Patients With Advanced Gastric Cancer Patients: A Phase II Trial	Chin K・Takahari D Kawabata R・Hosaka H Saitou SO・Shiraishi T Yabusaki H・Goto M Nakamura M Imamura H・Shindo Y Nagashima F Ichikawa W・Saotome T Yamamoto W Ishizuka N Yamaguchi K	Anticancer Res.	42	2683-2687	2022
	Phase 3 trial of sequential versus combination treatment in colorectal cancer: The C-cubed study.	Inada R・Nagasaka T Shimokawa M Ojima H Noura S・Tanioka H Munemoto Y Shimada Y・Ishibashi K Shindo Y・Mishima H Okajima M Yamaguchi Y	Eur J Cancer	169	166-178	2022
	Analysis of the risk factors for osteoporosis and its prevalence after gastrectomy for gastric cancer in older patients: a prospective study	Kawabata R Takahashi T Saito Y・Nakatsuka R Imamura H Motoori M Makari Y・Takeno A Kishi K・Adachi S Miyagaki H Kurokawa Y Yamasaki M・Eguchi H Doki Y	Surg Today	—	—	2022
	Survival analysis of a prospective multicenter observational study on surgical palliation among patients with malignant bowel obstruction caused by peritoneal dissemination of gastric cancer	Kawabata R Fujitani K Sakamaki K・Ando M Ito Y・Tanizawa Y Yamada T・Hirao M Yamada M・Hihara J Ryoji・Fukushima Choda Y・Kodera Y Teshima S Shinohara H Kondo M・Yoshida K	Gastric cancer	25	422-429	2022

科名	題名	著者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
消化器外科	Histology Classification Highlights Differences in Efficacy of S-1 versus Capecitabine • in Combination with Cisplatin • for HER2-Negative Unresectable Advanced or Recurrent Gastric Cancer with Measurable Disease.	Kawakami H Kawakami H Nishikawa K Shimokawa T Fujitani K • Tamura S Endo S • Kobayashi M Kawada J Kurokawa Y Tsuburaya A Yoshikawa T Sakamoto J • Satoh T	Cancers(Basel)	14	5673	2022
	Three-Year Outcomes of a Phase Ⅲ Study of Perioperative Capecitabine Plus Oxaliplatin Therapy for Clinical SS/SE N1-3 M0 Gastric Cancer (OGSG 1601)	Matsuyama J Terazawa T Goto M • Kawabata R Endo S • Imano M Fujita S • Akamaru Y Taniguchi H Tatsumi M Lee SW • Kawakami H Kurokawa Y Shimokawa T Sakai D • Kato T Fujitani K • Satoh T	Oncologist	5	251-e304	2022
	Real-world effectiveness of third- or later-line treatment in Japanese patients with HER2-positive • unresectable • recurrent or metastatic gastric cancer: a retrospective observational study	Sakai D • Omori T Fumita S • Fujita J Kawabata R Matsuyama J Yasui H • Hirao M Kawase T • Kishi K Taniguchi Y Miyazaki Y Kawada J • Satake H Miura T • Miyake A Kurokawa Y Yamasaki M Yamada T • Satoh T Eguchi H • Doki Y	Int J Clin Oncol	27	1154-1163	2022
	Neoadjuvant S-1 With Concurrent Radiotherapy Followed by Surgery for Borderline Resectable Pancreatic Cancer: A Phase II Open-label Multicenter Prospective Trial (JASPAC05).	Ohno I • Ikeda M Konishi M Kobayashi T Akimoto T • Kojima M Morinaga S • Toyama H Shimizu Y Miyamoto A Tomikawa M Takakura N Takayama W • Hirano S Otsubo T • Nagino M Kimura W Sugimachi K Uesaka K	Ann Surg.	276	510-517	2022

科名	題名	著者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
消化器外科	Effect of Preserving the Percutaneous Gallbladder Drainage Tube Before Laparoscopic Cholecystectomy on Surgical Outcome: Post Hoc Analysis of the CSGO-HBP-017.	Tomimaru Y Fukuchi N Yokoyama S・Mori T Tanemura M・Sakai K Takeda Y・Tsuje M Yamada T Miyamoto A Hashimoto Y Hatano H Shimizu J・Sugimoto K Kashiwazaki M Matsumoto K Kobayashi S・Doki Y Eguchi H	J Gastrointest Surg.	26	1224-1232	2022
	Efficacy of electrocoagulation hemostasis: a study on the optimal usage of the very-low-voltage mode.	Ushimaru Y・Odagiri K Akeo K・Ban N Hosaka M Yamashita K Saito T・Tanaka K Yamamoto K Makino T Takahashi T Kurokawa Y Eguchi H・Doki Y Nakajima K	Surg Endosc	36	8592-8599	2022
	A Simple and Safe T-Shaped Esophagojejunostomy for Laparoscopic Total Gastrectomy.	Ushimaru Y・Omori T Miyata H	J Gastrointest Surg	26	2019-2023	2022
	Real-world data on the efficacy and safety of adjuvant chemotherapy in Japanese patients with a high-risk of gastrointestinal stromal tumor recurrence.	Ushimaru Y Takahashi T Nakajima K Teranishi R Nishida T・Hirota S Motoori M・Omori T Kawabata R Nishikawa K Saito T・Yamashita K Tanaka K・Makino T Yamamoto K Kurokawa Y Eguchi H・Doki Y	Int J Clin Oncol	27	921-929	2022
	Translation from manual to automatic endoscopic insufflation enhanced by a pressure limiter.	Ushimaru Y Takahashi T Yamashita K・Saito T Tanaka K Yamamoto K Makino T Kurokawa Y Eguchi H・Doki Y Nakajima K	Surg Endosc	36	7038-7046	2022

科名	題 名	著 者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
消化器外科	A Preclinical Feasibility Study of Endoscopic Barostat: A Possible Diagnostic Tool for Visceral Hypersensitivity in Functional Dyspepsia.	Ushimaru Y Masaoka T Matsuura N Yamasaki Y Takeuchi Y Yamashita K Saito T・Tanaka K Yamamoto K Makino T Takahashi T Kurokawa Y Eguchi H・Doki Y Nakajima K	Dig Dis	40	675-683	2022
	DUPAN-II normalisation as a biological indicator during preoperative chemoradiation therapy for resectable and borderline resectable pancreatic cancer	Hasegawa S Takahashi H Akita H・Mukai Y Mikamori M・Asukai K Yamada D・Wada H Fujii Y・Sugase T Yamamoto M Takeoka T Shinno N・Hara H Kanemura T Haraguchi N Nishimura J Matsuda C Yasui M・Omori T Miyata H・Ohue M Ishikawa O・Sakon M	BMC Cancer	18	63	2023
	Minimizing invasiveness and simplifying the surgical procedure for upper and middle early gastric cancer with near-infrared light and organ traction	Nagano S・Ushimaru Y Kawabata R Kitagawa A Ohara N・Miyake Y Tomihara H・Maeda S Noura S・Miyamoto A Nishikawa K	World J Surg Oncol.	21	82	2023
	Phase II dose titration study of regorafenib in progressive unresectable metastatic colorectal cancer	Kato T・Kudo T Kagawa Y・Murata K Ota H・Noura S Hasegawa J Tamagawa H Ohta K・Ikenaga M Miyazaki S・Komori T Uemura M Nishimura J Hata T・Matsuda C Satoh T・Mizushima T Ohno Y・Yamamoto H Doki Y・Eguchi H	Sci Rep	13	2331	2023

科名	題名	著者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
消化器外科	Study Group of Appendiceal Neoplasms from the Japan Society of Colorectal Cancer Research Group. Clinicopathological features of appendiceal goblet cell adenocarcinoma in Japan: a multicenter retrospective study	Shiota T・Murata K Kishimoto M・Yao T Noura S・Morita S Akiyoshi T Okamura S Imasato M・Furuhata T Suto T・Takemasa I Shingai T・Ueda M Mizuno H Hisamatsu Y Takeda T・Fujii M Kagawa Y・Sugihara K	Surg Today	53	174-181	2023
	虫垂子宮内膜症による虫垂重積症の1例	地主 皓一・鈴木 陽三 竹山 廣志・能浦 真吾 池永 雅一・清水 潤三 田村 裕美・足立 史朗 富田 尚裕	日本大腸肛門病学会雑誌	76	40-44	2023
救命救急科	遅発性外傷性横隔膜ヘルニア嵌頓の2例	植田 典子	Japanese Journal of Acute Care Surgery	12	106-111	2022
	内腸骨動脈破綻の1年後・上直腸動脈破綻をきたしたNF1患者の1例	辻 泉穂	Japanese Journal of Acute Care Surgery	12	100-105	2022
	【ACSのチームビルディング】堺流ACS最強チームを作るための虎の巻(解説)	天野 浩司	Japanese Journal of Acute Care Surgery	12	13-17	2022
	外傷性多発肋骨骨折に対する胸腔鏡併用プレート固定術	茅田 洋之	日本呼吸器外科学会誌	37	76-84	2023
	COVID-19流行下における自殺企図患者の推移	加藤 明裕	日本救急医学会誌	33	330-337	2022
	多発肋骨骨折に対するMatrix RIBの使用経験	川本 匡規	骨折	45	46-50	2022
整形外科	クリニカルクエスチョン 手の変形性関節症のあるべき治療(Q&A)	片岡 利行	Loco Cure	8(2)	238-242	2022
	下肢骨折の観血的整復固定術(足関節)	川本 匡規	整形外科看護	27(7)	677-681	2022
	成人の大理石骨病患者の大腿骨転子部骨折の1例	鄒 明憲・杉田 淳	骨折	44(1)	89-93	2022
	下肢長管骨開放骨折症例のLower extremity functional scale(LEFS)による患者立脚型機能評価—個別項目の検討—	大野 一幸・久野亜積実 亀山 貞・川本 匡規 杉田 淳	別冊整形外科	81	12-15	2022

科名	題名	著者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
整形外科	小児上腕骨顆上骨折の経皮ピンニングにおける仰臥位と側臥位での成績の比較	亀山 貞・久野亜積実 川本 匡規・片岡 利行 杉田 淳・大野 一幸	骨折	44(2)	219-223	2022
	当院における小児下肢骨折の特徴と傾向	杉田 淳・久野亜積実 亀山 貞・川本 匡規 片岡 利行・大野 一幸	骨折	44(2)	516-519	2022
	創外固定装着患者の退院支援における病病連携と多職種連携の効果	杉田 淳・大野 一幸 山村 佳永・井田真由美 山岡 千晶・松川 訓久	日本四肢再建・創外固定学会雑誌	33	49-53	2022
	イリザロフ法導入5年間の病棟看護師が抱く不安感の変化	末松 茉莉・井田真由美 山村 佳永・矢田 夏基 金本 裕平・郡司 紗季 杉田 淳・大野 一幸	日本四肢再建・創外固定学会雑誌	33	55-59	2022
	ワイヤー刺入部の慢性骨髄炎の治療経験	大野 一幸・杉田 淳	日本四肢再建・創外固定学会雑誌	33	89-94	2022
	創外固定器で使用したワイヤーとハーフピン刺入部の画像所見の経時的変化の検討	大野 一幸・杉田 淳	日本四肢再建・創外固定学会雑誌	33	95-100	2022
	大腿骨転子下骨折における再手術に寄与する因子の解析	久野亜積実・亀山 貞 川本 匡規・杉田 淳 大野 一幸	骨折	44(3)	706-708	2022
	一時的創外固定術のハーフピン刺入部の画像上の経時的変化について	大野 一幸・久野亜積実 亀山 貞・川本 匡規 杉田 淳	骨折	44(3)	777-781	2022
	小児上腕骨顆上骨折の経皮ピンニングにおける仰臥位と側臥位での成績の比較	亀山 貞・杉田 淳 大野 一幸・久野亜積実 川本 匡規	骨折	44(2)	219-223	2022
	多発肋骨骨折に対するMatrix RIBTMの使用経験	川本 匡規・久野亜積実 岡田 昌浩・亀山 貞 片岡 利行・杉田 淳 大野 一幸	骨折	45(1)	46-50	2023
科	Freehand screw insertion technique without image guidance for the cortical bone trajectory screw in posterior lumbar interbody fusion: what affects screw misplacement?	Ishii M Ohnishi A Yamagishi A Ohwada T	J Neurosurg Spine	36	1-7	2022

科名	題 名	著 者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
形成外科	Squamous cell carcinoma of the scalp arising in a site of synthetic hair grafts: a case report	Maitani K Kadowaki M Yasuhara Y Yamaguchi S Kubo T	Plastic and Reconstructive Surgery-Global open	—	e4428	2022
泌尿器科	低身長例に対してロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘除術を施行した1例	岩西 利親・武田 健 脇田 哲平・稲垣 裕介 王 聡・木内 利郎 高山 仁志	泌尿器科紀要	68	251-254	2022
産婦人科	Application of immunocytochemical and molecular analysis of six genes in liquid-based endometrial cytology.	Munakata S Yamamoto T	Diagn Cytopathol	50	8-17	2022
	当院における遺伝性乳癌卵巣癌症候群に対する取り組み	横山 拓平・山村 順 階堂三砂子・好井 里世	堺市立総合医療センター医学雑誌	23	2-6	2022
	Mayer-Rokitansky-Kuster-Hauser症候群に卵巣腫瘍茎捻転を合併した1例	山口 峻市・兪 史夏 松吉 光・河田真由子 八木 一暢・北井 俊大 竹田満寿美・横山 拓平 太田 行信・山本 敏也	堺市立総合医療センター医学雑誌	23	13-16	2022
	薬剤性肺炎の被疑薬が漢方薬であると判断し、化学療法を継続し得た卵巣癌肺転移の1症例	松吉 光・大塚 文湖 加藤真由子・北井 俊大 竹田満寿美・兪 史夏 横山 拓平・太田 行信 山本 敏也	堺市立総合医療センター医学雑誌	23	30-33	2022
眼科	A case of retinoblastoma resulting in phthisis bulbi after proton beam radiation therapy	Nakagawa N Morimoto T Miyamura T Suzuki S Shimojo H Nishida K	Am J Ophthalmol Case Rep	29	101715	2022
耳鼻咽喉科・頭頸部外科	喉頭閉鎖術・声門閉鎖術について	長井 美樹	重症心身障害/医療的ケア児者診療・看護実践マニュアル	第2版	59	2022
	鼻出血	赤澤 仁司	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	94	1112-1115	2022
歯科口腔外科	歯科医療機関における口腔機能低下症の認知度と検査実施状況 ～堺市近隣の一般歯科クリニックを対象とした質問票による調査～	小倉 孝文・瀧井 知恵 上田 貴史	堺市立総合医療センター医学雑誌	23	7～12	2022

科名	題 名	著 者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
放射線治療科	Definitive radiotherapy consisting of external beam radiotherapy without central shielding and 3D image-guided brachytherapy for patients with cervical cancer: feasibility for Japanese patients and dose-response analyses for local control in the low-dose range	Toita T Wada K Sutani S Umezawa R Maemoto H li N et al.	Japanese Journal of Clinical Oncology	53(6)	480-488	2023
放射線診断科	The evaluation of the reduction of radiation dose via deep learning-based reconstruction for cadaveric human lung CT images.	Miyata T Yanagawa M Kikuchi N Yamagata K Sato Y Yoshida Y Tsubamoto M Tomiyama N	scientific reports	—	—	2022
病 理 診 断 科	A case of thoracic SMARCA4-Deficient undifferentiated tumor successfully treated with combination Ipilimumab-Nivolumab	Nakano Y Sekinada D Kuze Y Okamoto N Gohma I Yasuhara Y	Clin Case Rep.	10(12)	e6745	2022
	Disseminated Verruconis gallopava infection in a patient with systemic lupus erythematosus in Japan: A case report • literature review • and autopsy case	Murata K Ogawa Y Kusama K Yasuhara Y	Med Mycol Case Rep.	35(5)	35?38	2022
	Successful laparoscopic conversion surgery for gastric cancer with para-aortic lymph node metastasis after third-line chemotherapy: a case report	Ushimaru Y Nishikawa K Yasuhara Y Kawabata R Makari Y • Fujita J Kitagawa A Ohara N Miyake Y Maeda S • Nakahira S Nakata K • Miyamoto A	Int Cancer Conf J.	11(1)	50?56	2022
	Squamous Cell Carcinoma of the Scalp Arising in a Site of Synthetic Hair Grafts	Maitani K Kadowaki M Yasuhara Y Yamaguchi S Kubo T	Plast Reconstr Surg Glob Open.	10(7)	e4428	2022

科名	題名	著者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
病 理 診 断 科	胸水・腹水の原因精査中にびまん性肺陰影が出現し・最終的に透析困難となり死亡した1例	平井 信登・安原裕美子	堺市立総合医療センター 医学雑誌	23	140-149	2023
	アルコール性肝硬変を背景に十二指腸潰瘍からの出血性ショックにより死亡した1例	石田 貴大・安原裕美子	堺市立総合医療センター 医学雑誌	23	133-139	2023
	Sjogren症候群を背景にEBV-positive nodal T-cell lymphomaを発症した1例	相原 諒・安原裕美子	堺市立総合医療センター 医学雑誌	23	127-132	2023
	中心静脈カテーテル感染よりRothia kristinaeの敗血症性肺塞栓症を呈し死亡した1例	萩原 伊織・安原裕美子	堺市立総合医療センター 医学雑誌	23	121-126	2023
	急激な悪化を認めた原発性アミロイドーシスの1例	鈴木 裕・安原裕美子	堺市立総合医療センター 医学雑誌	23	113-120	2023
	原因不明のミオパチーを背景に急性肝障害を呈し死亡した1例	渡邊 有史・安原裕美子	堺市立総合医療センター 医学雑誌	23	105-112	2023
	急性骨髄性白血病の寛解導入療法中に発熱し・急激に昏睡状態に陥り死亡した1例	中谷 早希・安原裕美子	堺市立総合医療センター 医学雑誌	23	98-104	2023
	抗好中球細胞質抗体陽性にミスリードされた急性腎障害を伴う心筋梗塞の1例	石橋 拓恵・安原裕美子	堺市立総合医療センター 医学雑誌	23	90-97	2023
	来院当日に死亡した肺大細胞癌の1例	青木 雅実・安原裕美子	堺市立総合医療センター 医学雑誌	23	85-89	2023
	著明な右室拡大・右室機能低下を呈した急性右室梗塞の1例	小川 亮・安原裕美子	堺市立総合医療センター 医学雑誌	23	78-84	2023
	治療により原発部位は消失したものの対側胸膜に中皮腫様の胸膜転移を来した肺腺癌の1例	山下 央・安原裕美子	堺市立総合医療センター 医学雑誌	23	72-77	2023
	全身性エリテマトーデス長期治療中に制御不能の消化管出血を来した1例	甲斐智太郎・安原裕美子	堺市立総合医療センター 医学雑誌	23	65-71	2023

科名	題名	著者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
遺 伝 診 療 科	Cellular analysis of SOD1 protein-aggregation propensity and toxicity – A case of ALS with slow progression 2 harboring homozygous SOD1-D92G mutation	Sawamura M Imamura K Hikawa R Enami T Nagahashi A Yamakado H Ichijyo H Fujisawa T Yamashita H Minamiyama S Kaido M Wada H Urushitani M Inoue H Egawa N Takahashi R	Sci Rep	12・ 12636	https://doi.org/10.1038/s41598-022-16871-3	2022
	Guillain-Barré Syndrome Associated with COVID-19 in a Japanese Male.	Esa Y・Kajiyama Y Kaido M・Watanabe Y Fujimura H・Gohma I Takahashi K Kobayashi J	Case Reports in Neurological Medicine	2022 Oct 22; 2022: 6837851.	https://doi.org/10.1155/2022/6837851	2022
	免疫療法下の免疫介在性神経筋疾患におけるCOVID-19ワクチン接種後の抗体産生能について	階堂三砂子・梶山 裕太 佐々木伸也・齊藤 孝子 江左 佳樹・渡邊 有史 藤村 晴俊・小林 潤也	臨床神経	63	145-151	2023
感 染 症 内 科	Disseminated Coccidioidomycosis infection in a patient with systemic lupus erythematosus in Japan: A case report・literature review・and autopsy case	Murata K Ogawa Y Kusama K Yasuhara Y	Medical Mycology Case Report	35	35-38	2022
	Persistent viral shedding of severe acute respiratory syndrome coronavirus 2 after treatment with bendamustine and rituximab: A case report	Arai T Mukai S Kazama R Ogawa Y Nishida K Hatanaka K Gohma I	Journal of Infection and Chemotherapy	28	810-813	2022
	Corynebacterium pseudodiphtheriticum as a Pathogen in Bacterial Co-Infection in COVID-19 Patients on Mechanical Ventilation	Ogawa Y Ote H Arai T Kazama R Kimura K Nagata T Kohno M Kohata H Nishida K Gohma I Kasahara K	Japanese Journal of Infectious Diseases	75	202-204	2022

科名	題名	著者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
集中治療科	High versus low blood pressure targets for cardiac surgery while on cardiopulmonary bypass.	Kotani Y・Kataoka Y Izawa J・Fujioka S Yoshida T Kumasawa J Kwong JS	Cochrane Database Syst Rev.	Nov 30; 11(11): CD 013494.	—	2022
	Integrated model for COVID-19 diagnosis based on computed tomography artificial intelligence・and clinical features: a multicenter cohort study.	Kataoka Y・Kimura Y Ikenoue T・Matsuoka Y Matsumoto J Kumasawa J Tochitatni K Funakoshi H Hosoda T・Kugimiya A Shirano M・Hamabe F Iwata S・Fukuma S	Ann Transl Med.	Feb; 10(3): 130.	—	2022
	Doppler trans-thoracic echocardiography for detection of pulmonary hypertension in adults.	Tsujimoto Y Kumasawa J Shimizu S・Nakano Y Kataoka Y Tsujimoto H Kono M・Okabayashi S Imura H・Mizuta T	Cochrane Database Syst Rev.	May 9; 5(5): CD 012809.	—	2022
	No Association of Early Postoperative Heart Rate With Outcomes After Coronary Artery Bypass Grafting.	Morita Y・Kumasawa J Miyamoto Y・Izawa J Krishnamoorthy V Raghunathan K Bartz RR Thompson A Ohnuma T	Am J Crit Care.	1;31(5)	402-410	2022
	Phenytoin versus other antiepileptic drugs as treatments for status epilepticus in adults: a systematic review and meta-analysis.	Hoshiyama E Kumasawa J Uchida M・Hifumi T Moriya T・Ajimi Y Miyake Y・Kondo Y Yokobori S	Acute Med Surg.	Jan 7; 9(1): e717.	—	2022
	Characteristics of COVID-19 in multicenter ICUs in Japan.	Ohbe H Endo H Kumasawa J	J Anesth.	Aug; 36(4)	572-573	2022
薬剤・技術局	Visualization of cross-resistance between antimicrobial agents by asymmetric multidimensional scaling	Hatsuda Y Maki S Ishizaka T Omotani S Koizumi N Yasui Y Saito T Myotoku M Okada A Imaizumi T	Journal of Clinical Pharmacy and Therapeutics	47	345-359	2022
薬剤科	Determination of Aerosol Particle Levels upon Ampule Opening	Kiko Hashimoto Shunji Ishiwata Tomomi Inoue Takeshi Kotake	Japanese society of occupational medicine andtraumatology	70(3)	101-107	2022

科名	題 名	著 者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
シリ ヨハ ンビ リ技 術テ 科1	多発外傷患者に対する早期 リハビリテーションーICU 専属PTの立場からー	木村 純子・臼井 章浩 犬飼 公一・茅田 洋之 向井 信貴・天野 浩司 松本 光史・茂刈 洋介 藤原麻美子	Japanese Journal of Acute Care Surgry	12巻 1号	18-21	2022
臨 床 工 学 科	救急・集中治療領域におけ る医療スタッフの多職種連 携協働と論理的苦悩との関 連	大西 輝幸・河野 あゆみ 岡本双美子	臨床倫理	11	45-53	2023
	英論文をどう抄読し、何を 学ぶか終末期に近い入院患 者におけるPOLSTと集中 治療室との関連	大西 輝幸・石原 拓磨 河野あゆみ	看護研究	55	434-439	2022
看 護 局	ケミカルコーピングが疑わ しい・ケミカルコーピング と診断されたがん患者への 看護ケア実践【3】	河田 尚子	エンド・オブ・ライフ・ ケア	6(3)	21-25	2022
	当院における“わたしのノー ト”を用いたアドバンス・ ケア・プランニングの実態 調査	河田 尚子	堺市立総合医療センター 医学雑誌	23	38-44	2022
	コロナ禍で面会制限を強い られた家族への支援	藤原 真弓	保健の科学	64(12)	826-830	2022
	週3回、1回4時間の根拠 は？	田中 順也	透析ケア	29(1)	27-29	2023
	透析の種類はどんなものが あるの？	田中 順也	透析ケア	29(1)	24-26	2023
	腎臓病療養指導のポイント 腎臓病と体重	田中 順也	日本腎臓病協会News letter	12号	8-9	2022
	糖尿病と心不全による自ら の身体状況を受容するた めの支援	田中 順也	月刊ナーシング	42(10)	52-57	2022
	SDMの実際	田中 順也	腎臓内科	15(4)	379-386	2022
	多職種連携によるSDMの あり方ー維持透析終了・看 取りの題材にー	田中 順也	高齢腎不全患者のため の保存的腎臓療法 CKMの考え方と実践	第1版	79-82 231-238	2022

科名	題 名	著 者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
看護局	新型コロナウイルス感染症入院患者の看護体制のありかた ―重症度、医療・看護必要度のデータからの考察―	谷口 孝江	全国自治体病院協議会雑誌	61 (5)	58-64	2022
	重症度、医療・看護必要度を用いた病棟マネジメントの実際	谷口 孝江	病院	82 (3)	30-35	2023
財務企画部	新型コロナウイルス感染症の拡大を契機としたメディア対応の見直し	安井 謙太	病院	81(11)	980-982	2022
医事課	継続・安定した診療報酬請求にむけての取り組みについて ～ベンチマークデータから病院全体を動かす～	藤川 修平	医事業務	633	17-20	2022

学会研究会報告(2022年 4 月～2023年 3 月)

科 名	演 題	発 表 者	学 会 ・ 研 究 会 名	年 月 日
血 液 内 科	RUNX1-RUNX1T1を有するAML初発後6.5年でJAK2変異陽性MPNを発症した1例	向井 悟・松浦 愛 新井 達也・柴野 賢 畑中 一生	第113回近畿血液学地方会	2022.6.4
	急激な悪化を認めた原発性肝アミロイドーシスの剖検例	鈴木 裕・新井 達也 向井 悟・松浦 愛 森本まどか・安原裕美子 畑中 一生	第237回日本内科学会近畿地方会	2022.3.10
	T細胞大顆粒リンパ球性(T-LGL)白血病に合併した中枢原発大細胞型B細胞リンパ腫(PCNSL)の1剖検例	松浦 愛・柴野 賢 向井 悟・新井 達也 安原裕美子・畑中 一生	第84回日本血液学会学術集会	2022. 10.14-16
	ダサチニブ治療中のp190 BCR-ABL陽性慢性骨髄性白血病患者に骨髄異形成症候群を合併した1症例	新井 達也・畑中 一生 松浦 愛・向井 悟	第84回日本血液学会学術集会	2022. 10.14-16
	急速な経過を辿った菌状息肉症の1例	シリヤナ・松浦 愛 新井 達也・向井 悟 安原裕美子・畑中 一生	第117回近畿血液学地方会	2022.11.26
	高悪性度B細胞リンパ腫の化学療法後に高度房室ブロックを認めた1例	榎本 悠里・松浦 愛 新井達也・向井 悟 安原裕美子・綿谷 陽作 畑中 一生	第238回日本内科学会近畿地方会	2022.12.10
	急性骨髄性白血病の寛解導入療法中にBacillus cereusによる劇症型敗血症により死亡した1例	溝辺 達季・中野 光世 新井 達也・松浦 愛 向井 悟・安原裕美子 畑中 一生	第239回日本内科学会近畿地方会	2023.3.4
腎 臓 内 科	多職種セッション3：急性血液浄化から維持透析移行例の検討IS3-4：急性血液浄化療法から維持透析移行に対する当院での現状	倭 成史・森本まどか 藤井 宏一・田中 順也	第33回日本急性血液浄化学会学術集会	2022.10.8
	初診時蜂窩織炎と診断されたカルシフィラキシスの1例	羽田美沙祈・村田 賢哉 森本まどか・倭 成史	第237回内科学会近畿地方会	2022.9.10
糖 尿 病 ・ 内 分 泌 ・ 代 謝 内 科	緩徐進行1型糖尿病における膵島関連自己抗体の評価―「日本人1型糖尿病の包括的データベースの構築と臨床研究への展開」より―	小谷 紀子・島田 朗 川崎 英二・福井 智康 中條 大輔・今川 彰久 霜田 雅之・寺川 瞳子 阿比留教生・栗田 卓也 池上 博司・及川 洋一 大澤 春彦・小澤 純二 香月 健志・金重 勝博 高橋 和真・土屋恭一郎 長澤 幹・能宗 伸輔 安田 和基・安田 尚史 春日 雅人・小林 哲郎 花房 俊昭・梶尾 裕	第65回日本糖尿病学会年次学術集会	2022. 5.12-5.14

科名	演 題	発 表 者	学 会 ・ 研 究 会 名	年 月 日
糖 尿 病 ・ 内 科	1 型糖尿病の発症時のビタミンD濃度—日本人1型糖尿病の包括的データベースの構築と臨床研究への展開(TIDE-J)より—	長江 亮太・橘 恵 今川 彰久・寺前 純吾 金綱 規夫・小谷 紀子 高橋 信行・寺川 瞳 阿比留教生・栗田 卓也 池上 博司・能宗 伸輔 岩橋 博見・及川 洋一 島田 朗・大澤 春彦 川村 良一・大津 洋 香月 健志・金重 勝博 川崎 英二・小澤 純二 小林 哲郎・霜田 雅之 高橋 和真・中條 大輔 辻本 哲郎・土屋恭一郎 長澤 幹・福井 智康 安田 和基・安田 尚史 柳内 秀勝・春日 雅人 花房 俊昭・梶尾 裕	第65回日本糖尿病学会年次学術集会	2022. 5.12-5.14
分 泌	超速効型インスリンアナログ投与中・朝高量・昼低量でも昼高血糖・夕低血糖となる患者における新しいアナログへの切替への効果	村川 慧祐・戸上 竜一 宮里 舞・福井 健司 花房 俊昭・藤澤 智巳	第65回日本糖尿病学会年次学術集会	2022. 5.12-5.14
・ 代	心身医学から身心医学へ：糖尿病におけるレインボーメディスンを例に(シンポジウム2：心身医学から身心医学へ)	深尾 篤嗣・村川 治彦 岸原千雅子・富士見ユキオ 花房 俊昭・中井 吉英	第63回日本心身医学会総会	2022. 6.25-6.26
謝 内	HbA1c著明高値(15.0%以上)であった40例の臨床的特徴	村川 慧祐・戸上 竜一 井関 隼也・宮里 舞 福井 健司・花房 俊昭 藤澤 智巳	第37回日本糖尿病合併症学会	2022. 10.21-10.22
科	免疫チェックポイント阻害薬投与後に急激な糖代謝異常をきたした12症例の臨床的特徴	宮里 舞・戸上 竜一 村川 慧祐・井関 隼也 福井 健司・花房 俊昭 藤澤 智巳	第59回日本糖尿病学会近畿地方会	2022.11.5
	発症前に一時的に高インスリン血症を伴う低血糖が確認できた妊娠関連劇症1型糖尿病の1例	秋山沙由里・戸上 竜一 村川 慧祐・井関 隼也 宮里 舞・福井 健司 花房 俊昭・藤澤 智巳	第239回日本内科学会近畿地方会	2023.3.4
呼 吸 器 内 科	呼吸器内視鏡セミナー EBUS 座長	岡本 紀雄	第28回日本呼吸器内視鏡学会近畿支部会	2023.1.21
	免疫チェックポイント阻害薬 気管支肺胞洗浄液を用いた肺癌免疫微小環境の解析による抗PD-1抗体効果予測因子の探索	益弘健太郎・田宮 基裕 藤本 康介・内藤祐二郎 小山 正平・白山 敬之 井上 貴子・西野 和美 鈴木 秀和・岡本 紀雄 平島 智徳・熊谷 融 武田 吉人・熊ノ郷 淳	第62回日本呼吸器学会学術講演会	2022.4.22

科名	演 題	発 表 者	学 会 ・ 研 究 会 名	年 月 日
呼吸器内科	EBUS-TBNAによるコア採取に影響する因子の検証	松元 祐司・中井 俊之 渡辺 徹也・細 敬祐 平石 尚久・小田 未来 小林 史・五十嵐 朗 岡地祥太郎・橋本 直純 高島 雄太・品川 尚文 都竹 晃文・浅野 文祐 岡本 紀雄・山本 寛 清水 哲男・今林 達哉 三上 優	日本呼吸器内視鏡学会	2022.5
	High Flow Therapy併用での運動が下肢筋組織酸素化に与える影響	嶋崎 勇介・堀 竜次 松下有加里・竹田 倫世 中村 孝人・郷間 厳	日本呼吸ケア・リハビリテーション学会	2022.10
	COVID-19重症例における急性期治療後の認知機能障害(単施設後ろ向き研究)	江左 佳樹・梶山 裕太 鈴木 裕・渡邊 有史 階堂三砂子・藤村 晴俊 小川 吉彦・西田 幸司 郷間 厳・熊澤 淳史 小島 久和・松川 訓久 藤原麻美子・大野 一幸 小林 潤也	第63回日本神経学会学術大会	2022. 5.18-5.21
	命のための禁煙・目の前の禁煙支援からSDHおよびSDGsへの取り組み	郷間 厳	第16回日本禁煙学会学術総会	2022. 10.29-10.20
	人工呼吸器の使用の優先を決めることが許されるのか？ COVID-19パンデミックでの重症対応医療資源逼迫時の経験より	郷間 厳・澤田 恵美 熊澤 淳史・高野 良彦 堀知 津江・小玉 友子 濱中 裕子・齊藤 孝子 松下 靖弘・澤野 純子 坂本 孝雄・濱岡 重徳 井村 勇樹・安井 謙太 谷口 孝江	第10回臨床倫理学会年次大会	2023. 3.18-3.19
	COVID-19患者の栄養管理 COVID-19症例へのNST活動の実践と今後の課題	郷間 厳	第14回日本臨床栄養代謝学会近畿支部学術集会	2022.7.30
	ニボルマブ+イピリムマブ併用療法が奏功したThoracic SMARCA4-deficient undifferentiated tumorの1例	中野 仁夫・関灘 大輔 梶田 元・西田 幸司 西尾 智尋・郷間 厳 岡本 紀雄・白石 綾 池田 直樹・安原裕美子	第63回日本肺癌学会	2022.12.1
	Bevacizumabによる肺癌治療中に肺出血を生じた1剖検例	安原裕美子・郷間 厳	日本病理学会	2022
	新型コロナ・新型タバコ時代の禁煙推進方策－新しい問題に立ち向かう－ 新型コロナウイルス感染症と禁煙推進	郷間 厳	第81回日本公衆衛生学会総会	2022. 10.7-10.9
	COVID-19パンデミックでの重症対応医療資源逼迫時の集中治療対応とトリアージ	郷間 厳	日本呼吸ケア・リハビリテーション学会	2022.10

科名	演 題	発 表 者	学 会 ・ 研 究 会 名	年 月 日
呼 吸 器 内 科	オミクロン変異株による重症COVID-19への呼吸ケアとリハビリテーション	桂 智哉・木村 純子 郷間 厳	日本呼吸ケア・リハビリテーション学会	2022.10
	多職種連携による禁煙指導ー多職種による禁煙指導マニュアル作成に向けて 禁煙支援ポケットブックを含む様々な禁煙支援と禁煙の多職種連携	郷間 厳	日本呼吸ケア・リハビリテーション学会	2022.10
	当院でレンバチニブを投与した胸腺癌の2例	久瀬 雄介・中野 仁夫 梶田 元・草間 加与 西田 幸司・西尾 智尋 岡本 紀雄・郷間 厳	日本肺癌学会	—
	ロルラチニブ投与による急激な血糖コントロールの悪化を認めた2型糖尿病合併肺癌の1例	中野 仁夫・久瀬 雄介 梶田 元・西田 幸司 草間 加与・西尾 智尋 郷間 厳・岡本 紀雄 林 大輝・竹原 洋士 池田 直樹・藤澤 智巳	第62回日本呼吸器学会学術講演会	2022. 4.22-4.24
	COVID-19の危機管理・診療体制 COVID-19呼吸不全への医療資源不足時対応アルゴリズム策定	郷間 厳・谷口 孝江 中田 康城・石坂 敏彦 森 英彦・花房 俊昭 池田 恢・中島 義和	第62回日本呼吸器学会学術講演会	2022. 4.22-4.24
消 化 器 内 科	重篤な下痢を伴ったCOVID-19症例	合原 彩	第478回大阪胃研究会	2022.5.18
	当院における内視鏡治療について	澁川 成弘	第2回大阪内視鏡医懇話会	2022.6.9
脳 神 経 内 科	脳出血を契機に診断に至った骨形成不全症Ⅰ型の1例	青沼 可也・江左 佳樹 渡邊 有史・大藺 達彦 階堂三砂子・藤村 晴俊 小林 潤也	第236回日本内科学会近畿地方会	2022.6.25
	COVID-19重症例における急性期加療後の認知機能障害の検討：単施設後向き研究	梶山 裕太・藤原麻美子 小川 吉彦・西田 幸司 郷間 厳・熊澤 淳史 小畠 久和・松川 訓久 小林 潤也・大野 一幸	第59回日本リハビリテーション医学会	2022.6.24
	当院における摂食嚥下支援加算の取り組みと課題	舟橋 康弘・中川 千佳 長井 美樹・階堂三砂子 小倉 孝文・吉山 詩織 藤原麻美子・毛利 祐治 鳥羽ちひろ・大谷 夏子 東南 花凜・山口 晴菜 松本芽久美・小林 竜也	第28回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会・千葉	2022. 9.23-9.24
	精神発達遅滞を伴う難治性てんかんの移行期医療の話題	階堂三砂子	てんかん勉強会・Web	2022.10.11

科名	演 題	発 表 者	学 会 ・ 研 究 会 名	年 月 日
脳 神 経 内 科	免疫療法下の免疫介在性神経筋疾患におけるCOVID-19ワクチン接種後の抗体産生能について	階堂三砂子・梶山 裕太 佐々木伸也・齊藤 孝子	第40回日本神経治療学会学術集会・福島	2022. 11.2-11.4
	小細胞肺癌発生の予測スコアが有用であったランバート・イートン筋無力症候群の1例	明石 大輝・江左 佳樹 鈴木 裕・渡邊 有史 大藺 達彦・階堂三砂子 藤村 晴俊・小林 潤也	日本内科学会第238回近畿 地方会・Web開催	2022.12.10
	高齢で認めたn-ヘキサシアン中毒による多発ニューロパチーの1例	平井 信登・江左 佳樹 大藺 達彦・鈴木 裕 渡邊 有史・階堂三砂子 藤村 晴俊・小林 潤也	日本内科学会第239回近畿 地方会・大阪またはWeb開 催	2023.3.4
	非外傷性患者に胸骨圧迫を行い脳内空気塞栓をきたした1例	村田 篤哉・江左 佳樹 大藺 達彦・鈴木 裕 渡邊 有史・階堂三砂子 藤村 晴俊・小林 潤也	日本神経学会第124回近畿 地方会・大阪	2023.3.5
	長期生存を得た巨大軸索性ニューロパチーの1剖検例	渡邊 有史・江左 佳樹 大藺 達彦・梶山 裕太 階堂三砂子・藤村 晴俊 安原裕美子・小林 潤也	日本神経学会第124回近畿 地方会・大阪	2023.3.5
心 療 内 科	遺族の精神的苦痛に有効な向精神薬についてー遺族ケアガイドラインからー	阪本 亮	第5回日本グリーフ&ビリー ブメント学会学術大会	2023.1.21
	よく分かるシリーズ 向精神薬	阪本 亮	第66回日本心身医学会近畿 地方会および第53回近畿地 区講習会	2023.1.15
	がん等の身体疾患で死別した遺族の精神 心理的苦痛に対する向精神薬の有効性について	阪本 亮・蓮尾 英明	第35回日本サイコオンコロ ジー学会総会	2022. 10.14-10.15
	ヒューマン・ケアと笑い	阪本 亮	第23回日本ヒューマン・ケ ア心理学会学術集会	2022.7.7
	がん疼痛患者におけるオピオイド増量に 関連する諸要因の解析	阪本 亮・稲田 修士 上村 泰徳・小山 敦子	第27回日本緩和医療学会学 術大会	2022. 7.2-7.1
	心療内科受診患者の転帰とその要因	阪本 亮・稲田 修士 上村 泰徳・小山 敦子	第63回日本心身医学会総会	2022. 6.25-6.26
	COVID-19流行下に心療内科外来を受診 する患者の意識と心理状態の各波におけ る差異	上村 泰徳・稲田 修士 阪本 亮・梶田 紫子 梶原都香紗・奥見 裕邦 名倉 美樹・松岡 弘道 小山 敦子	第63回日本心身医学会総会	2022. 6.25-6.26
消 化 器 外 科	TACEが有効であった肝内胆管癌の1例	前田 栄	第49回近畿肝臓外科研究会	2022.5.28
	Repeat laparoscopic liver resection for hepatocellular carcinoma in our hospital	北川 彰洋	第34回日本肝胆膵外科学会	2022.6.10

科名	演 題	発 表 者	学 会 ・ 研 究 会 名	年 月 日
消化器外科	肺転移に対して経動脈的化学塞栓術と経皮的ラジオ波焼灼術を施行した肝細胞癌の1例	前田 栄	第44回日本癌局所療法研究会	2022.7.1
	切除不能局所進行膵癌に対し化学療法後に血流改変をして動門脈合併切除を施行した1例	北川 彰洋	第44回局所療法研究会	2022.7.1
	穿孔を契機に発見された多発性小腸悪性リンパ腫の1例	梅田 一生	第77回大腸肛門病学会	2022.7.8
	腹腔鏡下再肝切除における当院での取り組み	北川 彰洋	第77回日本消化器外科学会総会	2022.7.21
	当院における低侵襲幽門側胃切除術における肝圧排法の変遷とその検討	永野慎之介	第35回近畿内視鏡外科研究会	2022.9.17
	胃癌術後の体重減少に成分栄養剤の利点を生かす	西川 和宏	第9回消化器癌栄養療法セミナー(第60回日本癌治療学会学術集会サテライト)	2022.10.21
	胃癌手術患者における栄養リスク指標および筋肉量評価を用いた術後合併症発生因子の検討	永野慎之介	第84回日本臨床外科学会総会	2022.11.24
	当院における低侵襲幽門側胃切除術における肝圧排法の変遷とその検討	永野慎之介	第35回日本内視鏡外科学会総会	2022.12.8
	「非血液毒性をいかに拾い上げるか? ~Electronic Patient Reported Outcome (ePRO)の導入経験~」	川端 良平	第29回日本がんチーム医療研究会	2022.2.11
	集学的治療が奏効したStageIVb胸部食道癌の1例	老木 華	第44回日本癌局所療法研究会	2022.7.1
外科	化学療法が奏功し原発巣pCRが得られたBRAF変異有する切除不能横行結腸癌の1例	大原 信福	第44回日本癌局所療法研究会	2022.7.1
	食道癌治療に関わる最前線ー薬物治療編ー	川端 良平	食道癌治療フォーラム in 和歌山	2022.9.2
	『高齢がん患者の意思決定支援』の現状と課題ー堺市医療圏での取り組みー	川端 良平	第30回日本がんチーム医療研究会	2022.9.17
	虫垂切除10年後にイレウスにて発見された虫垂goblet cell adenocarcinoma腹膜播種の1例	三宅祐一郎	第77回大腸肛門病学会	2022.10.14-10.15
	膀胱浸潤を伴う局所進行大腸癌における術後尿道再発の2例	大原 信福	第77回日本大腸肛門病学会学術集会	2022.10.14-10.15
	COVID-19感染後に腹腔鏡下大腸癌手術を施行した2例の経験	大原 信福	第60回日本癌治療学会学術集会	2022.10.20-10.22
	胃癌オリゴリンパ節転移に対する放射線療法の臨床経験	川端 良平	第60回日本癌治療学会学術集会	2022.10.20-10.22
	重症慢性閉塞性肺疾患を有する大腸癌患者における硬膜外併用脊椎麻酔下手術の経験	三宅祐一郎	第60回日本癌治療学会学術集会	2022.10.20-10.22
	悪液質を伴う胃癌化学療法患者の予後因子解析	川端 良平	第20回日本消化器外科学会大会(JDDW 2022 FUKUOKA)	2022.10.27-10.30

科名	演 題	発 表 者	学 会 ・ 研 究 会 名	年 月 日
消化器外科	腹部外科手術におけるアスピリン継続投与研究	遠藤 俊治	JDDW 2022	2022. 10.27-10.30
	出血性切除不能進行胃癌に対する放射線治療の安全性と有効性の検討	牛丸 裕貴	第20回日本消化器外科学会大会 (JDDW 2022 FUKUOKA)	2022. 10.27-10.30
	正中開腹が困難な腹膜播種患者に対して緩和手術を施行した2例の経験	三宅祐一郎	第84回日本臨床外科学会総会	2022. 11.24-11.26
	腹腔内膿瘍を契機に診断し得た low-grade BilINの1例	Siripongvutikorn Yanakawee	第84回日本臨床外科学会総会	2022. 11.24-11.26
	小腸原発悪性リンパ腫の1例	梅田 一生	第84回日本臨床外科学会総会	2022. 11.24-11.26
	当科にて遺伝子パネル検査を施行した胆膵癌6例の検討	北川 彰洋	第84回日本臨床外科学会	2022. 11.24-11.26
	髄膜播種を認めた・多発転移を伴う直腸癌の1例	鈴木美佐季	第84回日本臨床外科学会総会	2022. 11.24-11.26
	正中開腹が困難な腹膜播種患者に対して緩和手術を施行した2例の経験	大原 信福	第84回日本臨床外科学会総会	2022. 11.24-11.26
	Stanford A型急性大動脈解離を発症し・虚血性大腸炎を併発した直腸癌術後患者の1例	中谷 早希	第84回日本臨床外科学会総会	2022. 11.24-11.26
	当科における創傷ケアチームの立ち上げと活動の報告	前田 栄	外科感染症学会	2022. 11.8-11.9
	急性胆嚢炎に対する胆嚢ドレナージ後の腹腔鏡下胆嚢摘出術に関する我々のこれまでの多施設共同研究	富丸 慶人	第35回日本外科感染症学会総会学術集会	2022. 11.8-11.9
	腹腔鏡下幽門側胃切除術Billroth-1法再建術における吻合法の検討	牛丸 裕貴	第35回日本内視鏡外科学会総会	2022. 12.8-12.10
	腹腔鏡下再肝切除における当院での取り組み	北川 彰洋	第35回日本内視鏡外科研究会	2022. 12.8-12.10
	右側結腸癌に対する腹腔鏡手術における体外デルタ吻合の検討	三宅祐一郎	第35回日本内視鏡外科学会総会	2022. 12.8-12.10
	カテコラミン産生性paragangliomaに対する腹腔鏡下肝切除の脱転手技を応用した視野展開法	中平 伸	第35回日本内視鏡外科学会総会	2022. 12.8-12.10
	TACEが有効であった肝内胆管癌の1例	前田 栄	第84回日本臨床外科学会総会	2022. 11.24-11.26
	肝細胞癌と術前診断された脾症の1例	宮本 佳奈	第84回日本臨床外科学会総会	2022. 11.24-11.26
	腹腔鏡下アプローチを主体とした肝嚢胞に対する治療	前田 栄	第35回内視鏡外科学会総会	2022. 12.8-12.10
	肝嚢胞に対する腹腔鏡下手術の取り組み	前田 栄	第77回日本消化器外科学会総会	2022. 7.20-7.22

科名	演 題	発 表 者	学 会 ・ 研 究 会 名	年 月 日
消化器外科	低電圧凝固の効率化と安定化の検証	牛丸 裕貴	第122回日本外科学会定期学術集会	2022. 4.14-4.16
	回腸に発生した悪性末梢神経鞘腫の1例	Siripongvutikorn Yanakawee	第122回日本外科学会定期学術集会	2022. 4.14-4.16
	診断と治療に難渋した胃後壁に接する脱分化型脂肪肉腫再発の1例	辻 泉穂	第122回日本外科学会定期学術集会	2022. 4.14-4.16
	急性胆嚢炎に対し胆道ドレナージ施行症例を対象とした・胆嚢亜全摘術前予測モデルの樹立 多施設共同後ろ向き試験副次解析(CSGO-HBP-017B)	富原 英生	日本外科学会定期学術集会	2022. 4.14-4.18
	機能性上部消化管疾患の診断と治療 内視鏡的バロスタット法の可能性についての基礎的検討	牛丸 裕貴	日本消化器内視鏡学会	2022. 5.13-5.15
	胃切除後の長期的な体重減少に影響する因子の検討	木村 豊	第37回日本臨床栄養代謝学会学術集会	2022. 5.31-6.1
	An observational study on the nutrition status of patients with advanced gastric cancer (AGC) who receive chemotherapy with ramucirumab and a taxane	Kawabata R	第7回日本がんサポーターブケア学会学術集会	2022. 6.18-6.19
	EMILOS(Endoscopic mini or less open sublay)法による腹壁癒着ヘルニア修復術の経験	永野慎之介	第20回日本ヘルニア学会学術集会	2022. 6.3-6.4
	高リスクGISTに対する術後補助化学療法の忍容性と有用性の検討	牛丸 裕貴	第77回日本消化器外科学会総会	2022. 7.20-7.22
	出血性進行胃癌に対する緩和的放射線治療の有用性に関する検討	梅田 一生	第77回日本消化器外科学会総会	2022. 7.20-7.22
	胃癌術後早期の成分栄養剤による栄養サポート介入の有効性に関する検討	木村 豊	第77回日本消化器外科学会総会	2022. 7.20-7.22
	当院におけるStageⅡ/Ⅲ閉塞性大腸癌 bridge to surgery症例の予後に関する検討	三宅祐一郎	97回大腸癌研究会	2022. 7.7-7.8
	胃切除術後の長期的な体重減少に影響する因子の検討	木村 豊	第59回日本外科代謝栄養学会学術集会	2022. 7.7-7.9
	腹腔鏡下幽門側胃切除術Billroth-1法再建術における吻合法の検討	牛丸 裕貴	近畿内視鏡外科研究会	2022.9.17
	化学放射線療法により長期生存している胸部食道癌・異時性肺転移の1例	川端 良平	第76回日本食道学会学術集会	2022. 9.24-9.26
	ニボルマブにて結核と免疫性血小板減少性紫斑病を来した切除不能進行食道癌の1例	牛丸 裕貴	第76回日本食道学会学術集会	2022. 9.24-9.26
	Host-related biomarkers to predict toxicities of nivolumab in advanced gastric cancer: DELIVER trial (JACCRO GC-08)	Sunakawa Y	第81回日本癌学会総会	2022. 9.29-10.1

科名	演 題	発 表 者	学 会 ・ 研 究 会 名	年 月 日
消化器外科	胃癌悪液質症例におけるアナモレリンの使用経験	川端 良平	第95回日本胃癌学会	2023. 2.23-2.25
	血清NY-ESO-1交替を用いた術後早期再発予測マーカーの開発	西塔 拓郎	第95回日本胃癌学会	2023. 2.23-2.25
	高齢者転移進行胃癌に対するCapeOX第2層試験(TCOG GI-1601) G8/MINI-COGを用いた探索的解析	陳 頌松	第95回日本胃癌学会	2023. 2.23-2.25
	胃癌切除術後骨障害に対するミノドロロン酸治療の服薬継続における課題：多施設ランダム化比較試験の解析から	広田 将司	第95回日本胃癌学会	2023. 2.23-2.25
	ICG蛍光法と胃rotation methodによる胃体上部中部後壁胃癌に体する腹腔鏡下幽門側胃切除・Billroth I 再建	永野慎之介	第95回日本胃癌学会	2023. 2.23-2.25
	腹腔鏡下幽門側胃切除術術後早期に生じた非閉塞性腸管虚血の1例	牛丸 裕貴	第95回日本胃癌学会	2023. 2.23-2.25
	高齢者胃癌手術の治療成績と合併症リスク因子の検討	牛丸 裕貴	第95回日本胃癌学会	2023. 2.23-2.25
	有茎性腹直筋皮弁による会陰部再建術を施行した若年発症の痔瘻癌の1例	永野慎之介	第98回大腸癌研究会学術集会	2023. 1.26-1.27
	脊髄損傷搬送後に下部消化管穿孔・急性腹膜炎の診断に至った1例	佐野 友規	第59回日本腹部救急医学会総会	2023. 3.9-3.10
	当院におけるロボット支援下直腸癌手術の手術成績	大原 信福	第15回日本ロボット外科学会学術集会	2023. 2.2-2.3
	胃がんに対する遺伝子パネル検査の実施のタイミングの現状と成績について	原 尚志	第95回日本胃癌学会	2023. 2.23-2.25
	胃癌術後補助化学療法Docetaxel+S-1の使用経験	山本 昌明	第95回日本胃癌学会	2023. 2.23-2.25
	当院における腹腔鏡下/ロボット支援胃切除術の教育システムとその成果	新野 直樹	第95回日本胃癌学会	2023. 2.23-2.25
	胃体上部cT1胃癌のリンパ節転移の検討	久保 孝介	第95回日本胃癌学会	2023. 2.23-2.25
	胃癌悪液質症例におけるアナモレリンの使用経験	川端 良平	第31回日本がんチーム医療研究会	2023.3.4
	局所進行直腸癌に対する術前XELOXIRI療法の成績	鄭 充善	第98回大腸癌研究会学術集会	2023. 1.26-1.27
科	The association between the increased performance of laparoscopic liver surgery and a reduced risk of surgical site infection	Daiki Marukawa	The 34th Meeting of Japanese Society of Hepato-Biliary-Pancreatic Surgery	2022. 6.10-6.11
	Laparoscopic resection of retro-peritoneal paraganglioma behind the Spiegel lobe using laparoscopic liver mobilization technique in a kyphotic patient	Nakahira S	The 34th Meeting of Japanese Society of Hepato-Biliary-Pancreatic Surgery	2022. 6.10-6.11

科名	演 題	発 表 者	学 会 ・ 研 究 会 名	年 月 日
消化器外科	Histology classification highlights the difference in the effectiveness of S-1 over capecitabine when combined with cisplatin in patients with HER2-negative unresectable advanced or recurrent gastric cancer with measurable disease	Kawakami H	ESMO 24th World Congress on Gastro-intestinal Cancer 2022	2022. 6.29-7.2
	12 cases of Laparoscopic approach for the treatment of liver cysts	Maeda S	The 34th Meeting of Japanese Society of Hepato-Biliary-Pancreatic Surgery	2022. 6.10-6.11
	Optimal usage of very-low-voltage electrosurgical technology	Ushimaru Y	EAES 2022	2022. 7.5-7.8
	Preoperative risk score for subtotal cholecystectomy after gallbladder drainage (CSGO-HBP-017B)	Tomihara H	The 77th General Meeting of the Japanese Society of Gastroenterological Surgery	2022. 7.20-7.22
呼吸器外科	ロボット支援呼吸器外科手術におけるde tent positionを意識したバイポーラ剥離	池田 直樹・白石 綾 山本 陽子	日本ロボット外科学会学術集会 (15)	2023.2.2
	インジゴカルミンによるCTガイド下色素マーキングとFirefly蛍光イメージング併用によるロボット支援肺区域切除術	山本 陽子・池田 直樹 白石 綾・茅田 洋之 坂本 篤彦・中村 純寿	日本ロボット外科学会学術集会 (15)	2023.2.2
	肺動脈浸潤が疑われた進行肺癌に対しロボット支援下手術を施行した1例	白石 綾・山本 陽子 茅田 洋之・池田 直樹 安原裕美子	日本ロボット外科学会学術集会 (15)	2023.2.2
救命救急科	急性腹症による心停止蘇生後患者にDCSを行った3症例	橘 孝幸	第59回日本腹部救急医学会	2023.3.10
	小腸憩室穿通に対して腹腔鏡下小腸部分切除術を施行した3例	明石 大輝	第59回日本腹部救急医学会	2023.3.10
	軽微な受傷機転で重症体幹部外傷をきたした2例	石橋 拓恵	第59回日本腹部救急医学会	2023.3.9
	骨盤骨折の術前評価にて骨内動静脈瘻を発見でき術中大量出血を防げた1例	内田 充優	第59回日本腹部救急医学会	2023.3.9
	Stanford A型解離治療3カ月後に上腸間膜動脈のmalperfusionを認め・血管内治療を行った1例	薬師寺秀明	第59回日本腹部救急医学会	2023.3.9
	急性虫垂炎における悪性新生物合併に関して	加藤 文崇	第59回日本腹部救急医学会	2023.3.10
	内視鏡処置関連合併症に対するリカバリーショット ERCP関連手技による十二指腸乳頭部穿孔に対する当院の治療戦略	橋本 優	第59回日本腹部救急医学会	2023.3.10
	新専門医制度下における救急外科医のキャリアパス Acute care surgeonは外科医としてのキャリアパスを積むべきで・そのためのシステムが必要である	天野 浩司	第59回日本腹部救急医学会	2023.3.10

科名	演 題	発 表 者	学 会 ・ 研 究 会 名	年 月 日
救命救急科	腸間膜動脈閉塞症に対する治療戦略	茅田 洋之	第59回日本腹部救急医学会	2023.3.10
	肋骨骨折観血的整復固定術における胸腔鏡併用の利点について	茅田 洋之	第39回日本呼吸器外科学会	2022.5.20
	広汎子宮全摘+骨盤リンパ節郭清術後に生じた尿管による絞扼性イレウス	向井 信貴	第 14 回 Acute Care Surgery 学会	2022.9.30
	鶏骨による小腸憩室穿孔の 1 例	辻 泉穂	第14回 Acute Care Surgery 学会	2022.9.30
	外傷性十二指腸傍乳頭憩室穿孔の 1 例	矢野 愛華	第14回 Acute Care Surgery 学会	2022.9.30
	機能予後を重視したACS戦略 当院における機能予後を重視した多職種介入の取り組み	茅田 洋之	第14回 Acute Care Surgery 学会	2022.10.1
	Acute care surgeonになるために必要なこと Acute care surgeonに求められる手術手技の分析とその修練についての考察	天野 浩司	第14回 Acute Care Surgery 学会	2022.9.30
	外傷手術看護とトレーニング実践 救命センター看護師に求める限定的な手術看護スキル 「外回り看護師」の視野	橋本 優	第14回 Acute Care Surgery 学会	2022.10.1
	より実効性の高いBCP策定を目指した当院でのBCM	森田 正則	第28回日本災害医学会	2023.3.9
	餅による窒息に対してPCPS導入下に異物を摘出した 1 例	石田 貴大	第125回近畿救急医療研究会	2023.3.18
内科	カフェイン中毒に対してPCPS導入を施行した 1 例	萩原 伊織	第125回近畿救急医療研究会	2023.3.18
	GLP-1受容体作動薬の影響により・門脈ガスが出現したと考えられた 1 例	金原 充志	第125回近畿救急医療研究会	2023.3.18
	中性洗剤飲用により著明な乳酸アシドーシスを呈した 1 例	古橋 侑輔	第43回日本中毒学会西日本地方会	2023.2.25
整形外科	手根骨長軸脱臼の 1 例	亀山 貞・片岡 利行	中部日本手外科研究会	2022.1
	中節骨基部PIP関節内骨折に対する治療成績 創外固定vsロッキングプレート	片岡 利行・亀山 貞 安井 行彦・難波 二郎 栗山 幸治	中部日本手外科研究会	2022.1
	手術適応の判断が難しかった骨盤輪・寛骨臼骨折の 1 症例	川本 匡規	関西骨盤外傷研究会	2022.1
	大腿骨遠位骨幹部骨折術後偽関節の 1 例	大野 一幸	大阪整形外科症例検討会	2022.2
	松下法を用いた矯正終了後にピン刺入部で骨折が生じた外傷性足関節尖足拘縮の 1 例	杉田 淳・細澤 幸 大野 一幸	日本四肢再建・創外固定学会学術集会	2022.3

科名	演 題	発 表 者	学 会 ・ 研 究 会 名	年 月 日
整 形 外 科	鎖骨骨折における骨粗鬆症の関与	大野 一幸・久野亜積実 亀山 貞・川本 匡規 片岡 利行・杉田 淳	日本骨折治療学会	2022.6
	スポーツ活動による小児上肢骨折の特徴と傾向	杉田 淳・久野亜積実 亀山 貞・川本 匡規 岡田 昌浩・片岡 利行 大野 一幸・細澤 幸輝	日本骨折治療学会	2022.6
	鎖骨重複骨折に肋骨骨折を合併した2例	久野亜積実・川本 匡規 大野 一幸	日本骨折治療学会	2022.6
	月状骨窩尺側骨片を伴う橈骨遠位端骨折の3例	片岡 利行・亀山 貞 細澤 幸輝・久野亜積実 川本 匡規・岡田 昌浩 杉田 淳・大野 一幸 安井 行彦・難波 二郎	日本骨折治療学会	2022.6
	手根骨長軸脱臼の1例	亀山 貞・片岡 利行 大野 一幸	日本骨折治療学会	2022.5
	胸髄損傷後新たに頸髄損傷を受傷した症例のリハビリテーション治療経験	大野 一幸	日本リハビリテーション医学会学術集会	2022.6
	COVID-19重症例における急性期加療後の認知機能障害の検討：単施設後ろ向き研究	梶山 裕太・藤原麻美子 松川 訓久・大野 一幸	日本リハビリテーション医学会学術集会	2022.6
	Modern papineau法の実際一創を閉鎖しない治療法ー	大野 一幸・杉田 淳	日本骨・関節感染症学会	2022.7
	挟圧外傷により大腿切断となったASO合併例の1例	細澤 幸輝・久野亜積実 亀山 貞・川本 匡規 片岡 利行・杉田 淳 大野 一幸	大阪整形外科症例検討会	2022.9
	floating kneeの治療成績	大野 一幸	大阪整形外科症例検討会	2022.9
	大腿骨転子部骨折のTelescoping量の経時的変化の検討	細澤 幸輝・杉田 淳 大野 一幸・久野亜積実 川本 匡規	中部日本整形災害外科学会	2022.10
	診断に難渋したダンベル腫瘍の1例	細澤 幸輝・中嶋 望 亀山 貞・片岡 利行 杉田 淳・石井 正悦 大野 一幸	南大阪整形外科談話会	2022.11
科	体操競技中に生じた小児骨折に対する横断研究	杉田 淳・大野一幸	日本小児整形外科学会	2022.12
	Can postoperative excessive sliding of the cephalomedullary nail in trochanteric femoral fractures be predicted in the early postoperative period?	Hosozawa K Sugita A	APOA Congress 60 Years of Trailblazing Orthopedics Through Diversity & Synergy	2022.11
	Comparative Study of Ultrasound-Guided Percutaneous Repair and Open Repair for Acute Achilles Tendon Rupture	Sugita A Hosozawa K	Congress of Asia Pacific Orthopaedic Association (APOA)	2022.11

科名	演 題	発 表 者	学 会 ・ 研 究 会 名	年 月 日
脳 神 経 外 科	外傷により生じた後交通動脈損傷後の解離性動脈瘤破裂に対してコイル塞栓術を施行した1例	西川 侑甫	第34回大阪脳血管内治療研究会	2022.10.7
	鎖骨下動脈ステント留置術においてガイドワイヤのpull throughに4Fカテーテルを利用する“catheter catching”法	梶川隆一郎	第38回日本脳血管内治療学会学術集会	2022.11.10
	器質化硬膜下血腫に対して塞栓術が有効であった2例	角野 喜則	第38回日本脳血管内治療学会学術集会	2022.11.10
	働き方改革対する堺市立総合医療センター脳神経外科の挑戦	都築 貴	第92回大阪大学脳神経外科関連施設臨床懇話会	2022.7.2
	脳血管構造を元に理解する主管動脈閉塞の症状評価と急性期脳梗塞治療の実際	梶川隆一郎	堺市急性期脳卒中治療講演会(レスキューストローク堺)	2022.11.15
	腸内細菌とくも膜下出血後早期脳損傷	川端 修平	第93回大阪大学脳神経外科関連施設臨床懇話会	2023.1.7
	Laryngeal Dynamic Movement of Swallowing induced ICA stenosis and Artery to Artery Embolism in Entrapped ICA by Hyoid bone and Thyroid cartilage	末松 拓也	第93回大阪大学脳神経外科関連施設臨床懇話会	2023.1.7
	多段階の血管内手術にて治療した両側椎骨動脈解離によるくも膜下出血の1例	角野 喜則	STROKE2023	2023.3.16
	口腔歯数がくも膜下出血の重症度や予後に与える影響の検討	平井 信登	STROKE2023	2023.3.16
皮 膚 科	血管炎との鑑別を要した壊疽性膿瘡の1例	爲政 萌子・田中 文 出野りか子・浅川 真理 安原裕美子	第86回日本皮膚科学会東京支部学術集会	2022.11.19
	慢性骨髄性白血病の治療中に環状線維融解性巨細胞肉芽腫を生じた1例	笹岡 佑輔・田中 文 爲政 萌子	第73回日本皮膚科学会中部支部学術集会	2022.10.29
形 成 外 科	SBI関連のadult-onset Still's diseaseを発症したと思われる3例	山際 優子・上月 志乃 米谷 公佑・吉田 裕美 門脇 未来	第10回オンコプラスティックサージャリー学会総会	2022. 10.27-10.28
	他科との連携を通して完遂する・下肢開放骨折への取り組み	米谷 公介・上月 志乃 山際 優子・門脇 未来	大阪形成外科医会	2022.10.22
泌 尿 器 科	腎盂尿管腫瘍に対する尿管鏡の意義	西村 裕貴・岩西 利親 稲垣 裕介・吉岡 厳 高山 仁志	第74回西日本泌尿器科学会総会	2022. 11.3-11.5
	RARC後急速な経過をたどったPlasma-cytoid Urothelial Carcinomaの1例	西村 裕貴・岩西 利親 脇田 哲平・稲垣 裕介 武田 健・高山 仁志 安原裕美子	第251回日本泌尿器科学会関西地方会	2022.10.29

科名	演 題	発 表 者	学 会 ・ 研 究 会 名	年 月 日
泌尿器科	当院におけるロボット支援腹腔鏡下腎部分切除術の治療成績	稲垣 裕介・岩西 利親 西村 裕貴・吉岡 巖 高山 仁志	第36回日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会	2022. 11.10-11.12
産 婦 人 科	当院における外来子宮鏡手術の導入と取り組み	愈 史夏・松吉 光 大塚 文湖・加藤真由子 北井 俊大・竹田満寿美 横山 拓平・宮西加寿也 太田 行信・山本 敏也	第 5 回日本子宮鏡研究会	2022. 2.12-2.13
	当院における外来子宮鏡手術の導入と取り組み	愈 史夏・松吉 光 大塚 文湖・加藤真由子 北井 俊大・竹田満寿美 横山 拓平・宮西加寿也 太田 行信・山本 敏也	第 5 回日本子宮鏡研究会	2022. 2.12-2.13
	中期流産後遺残胎盤に対して後日子宮動脈塞栓術施行後自然に胎盤の脱落を得られた 1 症例	山下 央・愈 史夏 中村 純寿・山口 峻市 松吉 光・河田真由子 八木 一暢・北井 俊大 竹田満寿美・横山 拓平 宮西加寿也・山本 敏也 太田 行信	第50回大阪大学産婦人科オープンクリカルカンファレンス	2022.6.11
	子宮頸がん検診を契機に診断された子宮峡部と子宮体部に多発した若年子宮体癌の 1 例	北井 俊大・太田 行信 松吉 光・大塚 文湖 竹田満寿美・愈 史夏 横山 拓平・安原裕美子 山本 敏也	第64回日本婦人科腫瘍学会	2022. 7.14-7.16
	薬剤性肺炎の被疑薬が漢方薬であると判断し・化学療法を継続し得た卵巢癌肺転移の 1 症例	松吉 光・大塚 文湖 加藤真由子・北井 俊大 竹田満寿美・愈 史夏 横山 拓平・太田 行信 山本 敏也	第64回日本婦人科腫瘍学会	2022. 7.14-7.16
	ペンブロリズマブ投与終了後に長期無増悪生存期間を得られている再発子宮体癌の 1 例	大塚 文湖・松吉 光 加藤真由子・前中 隆秀 北井 俊大・竹田満寿美 愈 史夏・横山 拓平 太田 行信・山本 敏也	第74回日本産科婦人科学会	2022. 8.5-8.7
	若年性卵巢癌に対する妊孕性温存手術後に新規卵巢癌を発症した 1 例	松吉 光・愈 史夏 大塚 文湖・加藤真由子 前中 隆秀・北井 俊大 竹田満寿美・横山 拓平 太田 行信・安原裕美子 山本 敏也	第74回日本産科婦人科学会	2022. 8.5-8.7
	卵巢腫瘍茎捻転を契機に診断されたMayer-Rokitansky-Kuester-Hauser症候群の 1 例	山口 峻市・愈 史夏 松吉 光・大塚 文湖 加藤真由子・前中 隆秀 北井 俊大・竹田満寿美 横山 拓平・太田 行信 山本 敏也	第74回日本産科婦人科学会	2022. 8.5-8.7

科名	演 題	発 表 者	学 会 ・ 研 究 会 名	年 月 日
眼 科	加齢黄斑変性に対するルテインサプリメント摂取による血漿濃度変化	春藤 卓也	第126回日本眼科学会総会	2022. 4.14-4.17
	Pachychoroid neovascularopathyの眼底自発蛍光	中川 典彦	第126回日本眼科学会総会	2022. 4.14-4.17
	滲出型加齢黄斑変性に対するプロルシズマブスイッチ後1年経過	横山 彩子	第126回日本眼科学会総会	2022. 4.14-4.17
	軟性ドルーゼンが消失した網膜血管腫増殖2例	春藤 卓也	第38回日本眼循環学会	2022. 7.16-7.17
	血管瘤2症例(MacTel Type 1と網膜細胞脈瘤)	中川 典彦	第38回上方黄斑研究会	2022.8.20
	Pachychoroid spectrum disease再発例の検討	中川 典彦	第76回日本臨床眼科学会	2022. 10.13-10.16
	Focal choroidal excavation合併pachychoroid関連疾患の特徴と治療	中川 典彦	第61回日本網膜硝子体学会	2022. 12.2-12.4
	網膜色素上皮剥離に対する光線力学療法の短期治療成績	横山 彩子	第61回日本網膜硝子体学会	2022. 12.2-12.4
	治療抵抗性のpachychoroid関連疾患	中川 典彦	第39回上方黄斑研究会	2023.1.21
	陽子線治療後に眼球萎縮を来し・眼球摘出に至った網膜芽細胞腫の1例	中川 典彦	第252回O.C.C	2023.3.11
耳鼻咽喉科・頭頸部外科	鼻中隔矯正術の術後に鼻閉が著明に増悪した1例	赤澤 仁司・長井 美樹	第61回日本鼻科学会総会・学術講演会	2022. 10.13-10.15
	水痘・帯状疱疹ウイルスによる急性嚥下障害の予後についての検討	江頭 汰明・長井 美樹 ト部 浩一・赤澤 仁司	第363回日耳鼻大阪地方連合会	2023.2.4
	当科における甲状腺未分化癌12症例の検討	ト部 浩介・長井 美樹 赤澤 仁司・江頭汰明樹	第363回日耳鼻大阪地方連合会	2023.2.4
放射線診断科	肺癌術後フォロー中にふらつきで発症したPAPTの1例	宮内裕美子・池原実華子 坂本 篤彦・宮田 知 中村 純寿・栗生 明博	第333回日本医学放射線学会関西地方会	2023.2.4
	CTガイド下肺生検における気胸発生率低下に対する生理食塩水によるトラクト塞栓と迅速な体位変換の有用性	里村 洋樹・中村 純寿 坂本 篤彦・大久保 聡 栗生 明博	JSIR・ISIR & APSCVIR 2022	2022. 6.4-6.6
病理診断科	当院での病理解剖材料を用いた研修医教育の試み	安原裕美子	第111回日本病理学会総会	2022.4.14
	大量の下痢が長期間持続したCOVID-19の1例	安原裕美子	第111回日本病理学会総会	2022.4.15
	大量の下痢が長期間持続したCOVID-19の小腸病変	安原裕美子	第478回大阪胃研究会	2022.5.18

科名	演 題	発 表 者	学 会 ・ 研 究 会 名	年 月 日
病 理 診 断 科	診断・治療に苦慮した卵巣粘液性腫瘍の1例	安原裕美子	第64回日本婦人科腫瘍学会	2022.7.16
	当院での病理解剖材料を用いた研修医教育の試み	安原裕美子	第54回日本医学教育学会	2022.8.6
	ベバシズマブによる肺癌治療中に肺出血を生じた1剖検例	安原裕美子	第68回日本病理学会秋期特別集会	2022.11.17
	縦隔腫瘍の1例	相原 諒・安原裕美子	第100回日本病理学会近畿支部学術集会	2023.2.11
	卵巣腫瘍の1例	中谷 早紀・安原裕美子	第100回日本病理学会近畿支部学術集会	2023.2.11
	ベバシズマブによる肺癌治療中に肺出血を生じた1剖検例	安原裕美子	第62回呼吸器病理研究会	2023.3.4
	GAPPSの胃病変	渋川 成弘・安原裕美子	第483回大阪胃研究会	2023.3.8
	食道EBV-positive mucocutaneous ulcer	安原裕美子	第483回大阪胃研究会	2023.3.8
	当科にて遺伝子パネル検査を施行した胆膵癌6例の検討	北川 彰洋・安原裕美子	第84回日本臨床外科学会	2022. 11.24-11.26
	急速な経過を辿った菌状息肉症の1例	シリヤナ ・安原裕美子	第117回近畿血液学地方会	2022.11.26
	ニボルマブ+イピリムマブ併用療法が奏功したThoracic SMARCA4-deficient undifferentiated tumorの1例	中野 仁夫・安原裕美子	第63回日本肺癌学会	2022.12.1
	鶏骨による小腸憩室穿孔の1例	辻 泉穂・安原裕美子	第14回 Acute Care Surgery 学会	2022.9.30
	外傷性十二指腸傍乳頭憩室穿孔の1例	矢野 愛華・安原裕美子	第14回 Acute Care Surgery 学会	2022.9.30
	子宮頸がん検診を契機として診断された子宮峡部と子宮体部に多発した若年子宮体癌の1例	北井 俊大・安原裕美子	第64回日本婦人科腫瘍学会	2022. 7.14-7.16
	診断と治療に難渋した胃後壁に接する脱分化型脂肪肉腫再発の1例	辻 泉穂・安原裕美子	第122回日本外科学会定期学術集会	2022. 4.14-4.16
麻 酔 科	Anesthetic Management Of A Patient With Severe Tracheobronchial Stenosis Undergoing Lordosis Surgery	Murakami S Takeshita A Tachibana K	ANESTHESIOLOGY 2022 Annual Meeting・ New Orleans・	2022. 10.21-10.25
	気管ステント留置術においてVeno Venous Extracorporeal Membrane Oxygenation併用下に麻酔管理を行った1例	小森奈津子・青井 良太	日本麻酔科学会第68回関西支部学術集会	2022. 9.2-10.3

科名	演 題	発 表 者	学 会 ・ 研 究 会 名	年 月 日
麻酔科	Webを用いた針刺し防止合同カンファレンスの開催について	三淵 未央・青井 良太	第44回日本手術医学会総会	2022. 10.14-10.15
	診断に難渋した術後発症の脂肪塞栓症の1例	奥村 早紀・青井 良太	第50回日本集中治療医学会学術集会	2023. 3.2-3.4
遺 伝 診 療 科	COVID-19重症例における急性期治療後の認知機能障害(単施設後ろ向き研究)	江左 佳樹・梶山 裕太 鈴木 裕・渡邊 有史 階堂三砂子・藤村 晴俊 小川 吉彦・西田 幸司 郷間 巖・熊澤 淳史 小島 久和・松川 訓久 藤原麻美子・大野 一幸 小林 潤也	第63回日本神経学会学術大会・東京・Web[ハイブリッド開催]	2022.5.20
	幼い子供に常染色体優性多発性嚢胞腎の遺伝学的検査を希望し来談した1家族例	階堂三砂子	2022年度6月高槻病院遺伝カンファレンス・Web	2022.6.9
	脳出血発症を契機に診断に至った骨形成不全症Ⅰ型の1例	青沼 可也・江左 佳樹 渡邊 有史・梶山 裕太 階堂三砂子・藤村 晴俊 小林 潤也	日本内科学会第236回近畿地方会・神戸・Web[ハイブリッド開催]	2022.6.25
	幼い子供に常染色体優性多発性嚢胞腎の遺伝学的検査を希望し来談した1家族例	階堂三砂子・宮田ゆかり	第46回日本遺伝カウンセリング学会・東京	2022.7.2
	当院における摂食嚥下支援加算の取り組みと課題	舟橋 康弘・中川 千佳 長井 美樹・階堂三砂子 小倉 孝文・吉山 詩織 藤原麻美子・毛利 祐治 鳥羽ちひろ・大谷 夏子 東南 花凜・山口 晴菜 松本芽久美・小林 竜也	第28回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会・千葉	2022. 9.23-9.24
	精神発達遅滞を伴う 難治性てんかんの移行期医療の話題	階堂三砂子	てんかん勉強会・Web	2022.10.11
	免疫療法下の免疫介在性神経筋疾患におけるCOVID-19ワクチン接種後の抗体産生能について	階堂三砂子・梶山 裕太 佐々木伸也・齊藤 孝子	第40回日本神経治療学会学術集会・福島	2022.11.2
	当院におけるマイクロサテライト不安定性検査後のLynch症候群精査機会提供状況について	階堂三砂子	2022年度9月高槻病院遺伝カンファレンス・Web	2022.12.8
	小細胞肺癌発生の予測スコアが有用であったランバート・イートン筋無力症候群の1例	明石 大輝・江左 佳樹 鈴木 裕・渡邊 有史 大藪 達彦・階堂三砂子 藤村 晴俊・小林 潤也	日本内科学会第238回近畿地方会・Web開催	2022.12.10
	高齢で認めたn-ヘキサミン中毒による多発ニューロパチーの1例	平井 信登・江左 佳樹 大藪 達彦・鈴木 裕 渡邊 有史・階堂三砂子 藤村 晴俊・小林 潤也	日本内科学会第239回近畿地方会・大阪またはWeb開催	2023.3.4

科名	演 題	発 表 者	学 会 ・ 研 究 会 名	年 月 日
遺 伝 診 療 科	非外傷性患者に胸骨圧迫を行い脳内空気塞栓をきたした1例	村田 篤哉・江左 佳樹 大藺 達彦・鈴木 裕 渡邊 有史・階堂三砂子 藤村 晴俊・小林 潤也	日本神経学会第124回近畿 地方会・大阪	2023.3.5
	長期生存を得た巨大軸索性ニューロパチー の1剖検例	渡邊 有史・江左 佳樹 大藺 達彦・梶山 裕太 階堂三砂子・藤村 晴俊 安原裕美子・小林 潤也	日本神経学会第124回近畿 地方会・大阪	2023.3.5
集 中 治 療 科	診療の質指標開発の経過報告とDPCデータを用いた全国の集中治療室におけるEvidence-Practice gapの実態。	熊澤 淳史	第50回日本集中治療医学会 学術集会総会	2023.3.3
	敗血症治療における輸液・昇圧剤投与の最適化。海外で開発された強化学習モデルの外部検証研究。	熊澤 淳史	第50回日本集中治療医学会 学術集会総会	2023.3.2
	既存電子データを利用した感染管理サーベイランスの構築	熊澤 淳史	第50回日本集中治療医学会 学術集会総会	2023.3.4
	術後肺炎を発症した・ロボット支援下肺葉切除術の1例	田中 健太	第50回日本集中治療医学会 学術集会総会	2023.3.4
	Fontan手術中のノルアドレナリン使用が術後胸水に与える影響	村上 紗羅	第50回日本集中治療医学会 学術集会総会	2023.3.3
薬 剤 科	本邦における販売中止に至った医療用医薬品に関する実態調査	橋本 貴子	第32回日本医療薬学会年会	2022. 9.23-9.25
	抗真菌薬濃度測定における血清分離剤入り採血管の吸着の影響について	日比野泰志	2023年近畿薬剤師合同学術 大会	2023. 2.4-2.5
	当院におけるDTG/3TC配合錠の有効性及び安全性に関する検討ー中間報告ー	溝端 友希	第36回日本エイズ学会	2022. 11.18-11.20
	新型コロナウイルス感染対策下でのオンライン吸入指導講習会の実施	大谷 暢子	2023年近畿薬剤師合同学術 大会	2023. 2.4-2.5
	AUCを指標とするVCM TDMにおける体重の影響についての検討	塩田 真帆	2023年近畿薬剤師合同学術 大会	2023. 2.4-2.5
	化学療法による好中球減少症におけるフィルグラスチムBS注シリンジ「F」®とノイトロジン®注の有効性および安全性の比較検討	遠藤 晋吾	日本臨床腫瘍薬学会学術大 会 JASPO 2023	2023. 3.4-3.5
	JASPO基幹病院におけるレジデントの育成と評価方法～教育担当かつ修了生としての立場から～	山本 圭城	第12回日本薬剤師レジデ ントフォーラム	2023.3.5
技 術 診 療 科	当院における心不全再入院患者の傾向調査	丸本 翔馬	第28回日本心臓リハビリテ ーション学会学術集会	2022. 6.11-6.12
	軽症糖尿病サポート外来における多職種協働介入の取り組み	牟礼 直人	第1回日本老年療法学会学 術集会	2022. 10.1-10.2
	環境や介入課題の工夫により介助量が軽減した半側空間無視と注意障害を認めた片麻痺症例	堀 常太郎	第20回日本神経理学療法学 会学術大会	2022. 10.15-10.16

科名	演 題	発 表 者	学 会 ・ 研 究 会 名	年 月 日
技 リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン 術 科	オミクロン変異株による重症COVID-19への呼吸ケアとリハビリテーション	桂 智哉	第32回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会学術集会	2022. 11.11-11.12
	HFNC管理中より理学療法介入した一症例	飯田 ゆきえ	大阪府理学療法士会 南支部 新人症例発表会	2023.1.22
	当院での新人教育改革の実際～個別担当制から組織的取り組みへ～	谷合 雄基	第62回近畿理学療法学会学術大会	2023.2.5
臨 床 工 学 科	Relationship between multidisciplinary cooperation of medical staff and moral distress in the field of emergency and intensive care.	Ounishi T Kono A Okamoto F	26th East Asian Forum of Nursing Scholars (26th EAFONS)	2023.3.11
栄 養 管 理 科	COVID-19感染症が重症化した高度肥満患者がNST介入期間を通じて減量に対する認知の修正が認められた 1 例	畑 勝智	第14回日本臨床栄養代謝学会近畿支部学術集会	2022.7.30
	コロナ禍における 1 型糖尿病を持つ成人の患者交流；対面形式の代替としての冊子形式での交流の意義	岩崎 史歩	第26回日本病態栄養学会年次学術集会	2023.1.14
臨 床 検 査 技 術 科	冠攣縮性狭心症患者において心エコーで心臓腫瘍を発見した 1 症例	是永 愛・橋詰 澄夫 芝地みゆき・森 智美 川崎 智香・下川てるみ 齊藤 孝子	第71回日本医学検査学会	2022. 5.21-5.22
	Training Cardiography Using Hearts Obtained from Autopsy	Korenaga A Hashidume S Yasuhara Y Sasaki S	International Federation of Biomedical Laboratory Science 2022	2022. 10.5-10.10
看 護 局	重症褥瘡感染症患者に早期のNST介入で改善が得られた 1 症例	塚本 裕巳	第37回日本臨床栄養代謝学会学術集会	2022. 5.31-6.1
	重症患者の栄養管理に関する実態調査	市坪 智佳	第37回日本臨床栄養代謝学会学術集会	2022. 5.31-6.1
	当院における心不全再入院患者の傾向	丸本 翔馬 共同（木本智代）	日本心臓リハビリテーション学会学術集会	2022.6.11
	職員のSARS-CoV2感染が確認された救命病棟における管理対策～稼動再開に向けた当院での対策～	松田 祥子	第37回日本環境感染学会総会・学術集会	2022. 6.16-6.18
	ホモロジーモデリングによるMSH6バリエーションの病原性予測	好井 理世	第28回日本遺伝性腫瘍学会学術集会	2022.6.17
	急性期病院で維持透析患者の最期を支える援助に対する 1 考察 患者の透析治療にかけの思いを尊重して	田中 順也	第27回日本老年看護学会学術集会	2022.6.25
	長時間同一体位の手術において足背部に発赤を認めた事例の検討	吉村 真実	第 9 回日本手術看護学会近畿地区大会	2022.6.25
	急性期病院の透析室で急変予測スコアをリスク評価に活用した効果と課題	田中 順也	第24回日本医療マネジメント学会学術集会	2022.7.8
	危機を転機にかえる～重症COVID-19病床20床を経験して～	南 恵	第24回日本医療マネジメント学会学術総会	2022.7.8

科名	演 題	発 表 者	学 会 ・ 研 究 会 名	年 月 日
看護局	集中治療センターにおける教育体制の構築と人材育成～組織変革～	南 恵	第24回日本医療マネジメント学会学術総会	2022.7.9
	急性期病院で維持透析患者の終末期を支援した透析スタッフの思い ーデスカンファレンスを通してー	田中 順也	第33回日本サイコネフロロジー学会学術集会	2022.7.23
	実践促進委員会 活動報告 基礎編開催の概要と評価	他施設共同研究 藤原真弓	日本家族看護学会	2022.9.10
	実践促進委員会 活動報告 応用編開催の概要と評価	他施設共同研究 藤原真弓	日本家族看護学会	2022.9.10
	当院における摂食嚥下支援チームの活動と課題について	舟橋 康弘 中川 千佳	第28回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会	2022.9.23
	WEBを用いた針刺し防止合同カンファレンスの開催について～針刺し場面を動画で振り返る～	三淵 未央	第44回日本手術医学会総会	2022. 10.14-10.15
	超高齢透析患者の腹膜透析治療にかける意向を繋ぐ支援	田中 順也	第28回日本腹膜透析医学会学術集会	2022.11.26
	急変時対応の実態調査と各部署の取り組みによる成果と今後の課題～リスクマネージャー会活動を通じて～	道北 睦美 田中 順也	第17回医療の質・安全学会学術集会	2022.11.27
	自動腹膜灌流装置を使用した腹膜透析の看護～導入から退院後訪問を通じて～	藤川 仁美 田中 順也	第28回日本腹膜透析医学会学術集会	2022. 11.26-11.27
	輸液・内服のインシデント減少を目指した取り組み～「6R指さし呼称」に着目して～	青木優香子	第17回医療の質・安全学会学術集会	2022. 11.26-11.27
	コロナ禍の面会制限における取り組み～リモート面会の効果と限界～	西 美恵 村上 夏代 高林登志子 金山 千明	第60回全国自治体病院学会	2022. 11.10-11.11
	IVR安全チェック時の効果的な活用に向けた要因分析	石橋 奈見 田中八千代	第60回全国自治体病院学会	2022. 11.10-11.11
	透析室における手指衛生の意識向上に向けた取り組み	大倉名保子	第60回全国自治体病院学会	2022. 11.10-11.11
	HIV告知を受けた患者への関わり～家族へも伝えないことを選択した患者～	正木るり子	第36回日本エイズ学会学術集会.総会	2022. 11.18-11.20
	がん化学療法に輸液ポンプを有効活用するには	他施設共同研究 河田尚子	第37回日本がん看護学会学術集会	2023. 2.25-2.26
	気管切開カニューレ閉塞に関する看護教育実践報告～訓練機材を用いた体験型教育の効果～	堀 美紀	第125回救急医学研究会	2023.3.18
事病 務 部院	高度急性期病院における外来機能のあり方	佐々木裕一郎	第60回全国自治体病院学会	2022.11.10
医 事 課	継続・安定した診療報酬請求にむけての取り組みについて	藤川 修平	日本病院学会	2022. 7.7-7.8

学術講演(2022年4月～2023年3月)

科名	演 題	発 表 者	講演会名及び対象	年 月 日
腎	新規尿酸降下薬ユリス錠の特徴と今後の期待～腎臓内科の立場から～	倭 成史	腎臓と尿酸管理を考える会	2022.4.13
	慢性腎臓病における高カリウム血症対策～ロケルマの使用経験～	倭 成史	LOKELMA TV Symposium Week	2022.5.23
	糖尿病性腎症に著明な管外細胞増多を伴った1例	森本まどか 河村 勇志 玉井慎二郎 三谷 和可 野津 翔輝 岩田 幸真 倭 成史	第105回大阪腎疾患研究会(OCKD例会)	2022.6.17
	CKD患者の貧血治療について	岩田 幸真	CKD meeting in Sakai	2022.6.23
	高カリウム血症に対するロケルマへの期待	倭 成史	LOKELMA® Web Symposium in Toyama	2022.7.29
	慢性腎臓病における病診連携を考える～腎性貧血を中心として～	倭 成史	CKD診療を考える会	2022.9.3
臓	地域における腎臓専門医の役割～ダバグリフロジンの使用経験を交えて～	岩田 幸真	CHF&CKD seminar	2022.9.15
	DKDの病態と進行抑制薬の使用について	岩田 幸真	DM-CKDカンファレンス	2022.10.1
	慢性腎臓病の新規治療～SGLT2阻害薬の有用性～	倭 成史	Forxiga TV Symposium Week	2022.10.17
内	CKD診療下における高尿酸血症治療とユリス錠への期待	倭 成史	CKDと高尿酸血症治療を考える会	2022.10.21
	高度腎機能障害を呈した敗血症性AKI,DICに対して急性血液浄化療法非施行下でrTMを使用した経験	倭 成史	Critical Care DIC Forum in OSAKA SESSION 1: AKI	2022.11.11
	「腎サポートとアフエレスシス」～Kidney Replacement Therapy(KRT)はKidney RescueやRecovery Therapyとしての効果も有しうるのか?～	倭 成史	CKD病診連携セミナー特別講演	2022.11.17
	腎臓内科医から見たSGLT2阻害薬: フォシーガへの期待～Target CKD, Beyond DKD～	倭 成史	遠賀中間医師会 CKD病診連携セミナー	2022.11.22
科	CKDの早期診断・治療の重要性	倭 成史	泉州糖尿病カンファレンス2022	2022.11.24
	高カリウム血症に対するロケルマの活用	倭 成史	高カリウム血症を考える会: closing remarks	2023.2.9
	右片側性胸水貯留を伴った急激な腎機能障害の1例	倭 成史	紀泉地区RPGN研究会	2023.3.7
	腎臓内科医からみたSGLT2阻害薬: フォシーガへの期待～Taget CKD, Beyond DKD～	倭 成史	泉州心腎連関セミナーSESSION 2	2023.3.16
内糖 分尿 泌病 ・代 謝内 科	コロナ禍における糖尿病診療	藤澤 智巳	第34回糖尿病療養指導士講演会/糖尿病療養指導に携わるコメディカル	2022.8.6
	かかりつけ医として知っておきたい高齢者糖尿病の治療のポイント～食事・運動療法と各種薬剤のポジショニング～(教育講演)	藤澤 智巳	第29回大阪府内科医会推薦医部会講演会/大阪府内科医会推薦医	2022.9.3

科名	演 題	発 表 者	講演会名及び対象	年 月 日
消化器内科	逆流性食道炎と胃がんにおける最近の話題	澁川 成弘	堺市医師会内科医会消化器談話会	2022.9.10
	潰瘍性大腸炎とうまく付き合うために	北村 信次	堺市難病患者支援センター学習交流会	2022.10.4
	潰瘍性大腸炎における最近の話題	澁川 成弘	堺市医師会内科医会消化器談話会	2022.12.10
	変わりつつある炎症性腸疾患の薬物治療	合原 彩	大阪府病院薬剤師会	2022.12.10
	IBD治療の基本と最近の話題	北村 信次	Medical Conference Osaka Sakai	2023.3.18
消化器外科	胃癌薬物療法Up To Date－周術期から進行再発まで－	西川 和宏	胃がん治療オンラインセミナー	2022.11.29
	ICI併用療法時代の最新胃癌治療－治療効果を最大化するための戦略とコッー	西川 和宏	第3回群馬胃癌研究会	2022.11.30
	ICI時代の胃癌薬物治療シークエンス－HER2陽性胃癌治療を中心に－	西川 和宏	Gastric Cancer Web Seminar	2022.12.5
	ICIによる食道癌薬物療法の新たな流れ	西川 和宏	食道癌薬物治療フォーラム in 南大阪	2022.12.12
	「非血液毒性をいかに拾い上げるか？～Electronic Patient Reported Outcome (ePRO)の導入経験～」	川端 良平	第29回日本がんチーム医療研究会	2022.2.11
	大腸癌術後補助化学療法を再考する	能浦 真吾	Colorectal Cancer Web Seminar	2022.6.2
	エンハーツ使用時の留意点	川端 良平	エンハーツ医療連携シンポジウム	2022.6.27
	食道癌治療に関わる最前線－薬物治療編－	川端 良平	食道癌治療フォーラム in 和歌山	2022.9.2
	胃癌1次治療におけるICI併用療法の現状～医師主導アンケート結果を踏まえて～	川端 良平	がん免疫療法 南大阪消化器がん研究会2022	2022.10.5
	V.A.C. ULTAを用いた腹部切開創感染の管理と、Prevenaによる創感染予防の実際	前田 栄	関西NPWTセミナー	2022.9.21
	肝細胞癌に対するABC Conversionを考える	宮本 敦史	Hepatocellular Carcinoma Expert Meeting	2022.6.9
	胃外科周術期における栄養介入の重要性－最新のエビデンスを含めて－	西川 和宏	がん化学療法と栄養ポリシーセミナー	2022.4.6
	胃外科周術期における栄養介入の重要性－最新のエビデンスを含めて－	西川 和宏	ていね・がんと栄養セミナー	2022.5.27
	HER2陽性胃癌における治療戦略－周術期治療の観点から－	西川 和宏	Gastric Cancer Leader's Meeting 実臨床のClinical Question 胃癌治療の「どうする？」を考える	2022.6.23
	切除不能胃がん3次治療におけるエンハーツへの期待	西川 和宏	エンハーツ医療連携シンポジウム	2022.6.27
	胃癌化学療法の新たな流れ－1次治療ICIとHER2陽性胃癌治療を中心に－	西川 和宏	Gastric Cancer Web Seminar in 佐賀	2022.7.1
	胃癌化学療法の最近の話題と今後の展開について	西川 和宏	神奈川胃癌フォーラム	2022.7.7
	TNM分類・癌取扱い規約	西川 和宏	第15回日本癌治療学会認定CRC教育集会	2022.7.16

科名	演 題	発 表 者	講演会名及び対象	年 月 日
消化器外科	ICI時代の胃癌薬物治療シークエンス	西川 和宏	Lilly GI Seminar	2022.7.29
	進行胃がんの新しい流れ－HER2陽性胃癌のエビデンスと実臨床－	西川 和宏	South Kinki Gastric Cancer Seminar	2022.8.19
	進行胃癌化学療法－ICI時代の薬物シークエンス－	西川 和宏	第3回津軽消化器がん講演会	2022.9.14
	切除不能胃がん3次治療におけるエンハーツへの期待	西川 和宏	Gastric Cancer Seminar ～胃癌診療の最前線～	2022.9.16
	胃癌術後の体重減少に成分栄養剤の利点を生かす	西川 和宏	第9回消化器癌栄養療法セミナー（第60回日本癌治療学会学術集会サテライト）	2022.10.21
	最新の胃癌薬物療法シークエンス	西川 和宏	Lilly GC Web Seminar Cutting Edge 2022	2022.11.1
	ICI併用療法時代の進行胃癌治療戦略－胃癌治療を最大化するためのコツ－	西川 和宏	香川県消化器がんセミナー	2022.11.10
	胃癌治療の最前線～ロボット手術や免疫療法を含む最新薬物治療から栄養管理を考える～	西川 和宏	堺市医師会内科医会消化器談話会	2022.11.12
	ICI併用療法時代の進行胃癌治療戦略－胃癌治療を最大化するためのコツ－	西川 和宏	第24回 青森県消化器癌化学療法セミナー	2022.11.19
乳腺外科 内分泌科	病診・病薬連携/タスクシフト	宮本 敦史	第31回日本がんチーム医療研究会	2023.3.4
	周術期におけるチーム医療	川端 良平	第31回日本がんチーム医療研究会	2023.3.4
整形外科	当院のHBOC診療体制と乳房サーベイランスの現状	山村 順 宮村裕紀子 神垣 俊二 横山 拓平	第28回日本遺伝性腫瘍学会学術総会	2022.6.17-6.18
	救命救急センターにおける高齢者の骨折の動向	大野 一幸	第114回京都整形外科懇話会	2022.2
	堺市における重度四肢外傷の現状	大野 一幸	第1回堺市整形外科病診連携の会	2022.8
	地域で取り組む二次性骨折予防と神経障害性疼痛	大野 一幸	Bridge seminner	2022.11
皮膚科	月状骨窩尺側骨片を伴う橈骨遠位端骨折の3例	片岡 利行	第1回Orthopedics Conference in Sakai	2022.9
	女性医師のライフワークバランス、アトピー性皮膚炎治療に関して	田中 文	Dermatologist Lady's meeting	2022.8.27
	堺市立総合医療センターにおける乾癬治療の実際と馬場記念病院様との連携体制について	田中 文	南大阪病診連携セミナー	2022.10.27
	皮膚疾患とフットケア	田中 文	フットケアカンファレンス	2022.12.12
	深めよう、薬剤のいろは	田中 文	第15回堺市病院連携スキルアップwebセミナー	2023.3.7
器泌科尿	当院の遺伝子パネル検査の結果～実際に使用した医師からの報告と今後の展望について～	田中 文	堺市立総合医療センターがんゲノム医療フォーラム	2023.3.8
	当科における腎細胞がん治療指針	高山 仁志	腎細胞癌webセミナー in 南大阪/地域医師	2022.10.27

科名	演 題	発 表 者	講演会名及び対象	年 月 日
泌尿器科	当科におけるニボルマブ・イピリムマブ併用療法の使用経験	高山 仁志	南大阪RCC・UC I-O Seminar/ 地域医師	2022.10.13
	当科における腎細胞がん治療指針	高山 仁志	腎細胞癌webセミナー in 南大阪/ 地域医師	2022.10.27
	腎細胞癌の術後補助療法における新たな治療選択肢	高山 仁志	RCC Adjuvant Seminar in 南大阪/地域医師	2022.12.9
産婦人科	子宮頸癌で子宮を失わないために ～子宮頸がん検診とワクチンの話～	山本 敏也	堺市民公開講座2022	2022.3.5
	子宮頸がんワクチンの基礎知識	山本 敏也	堺医師会学術講演会	2022.6.15
眼科	南大阪の黄斑診療	沢 美喜	第11回いくの眼科勉強会 眼科医・ コメディカル	2022.5.26
	ベオビュ2年を振り返る	沢 美喜	ノバルティス社内講演 製薬会社 社員	2022.6.3
	AMD診療 いままでとこれから	沢 美喜	アイリーア発売10周年記念講演会 in大阪Vol.1 眼科医	2022.6.28
	AMD治療選択の実際	沢 美喜	Ochanomizu Medical Retina Cooperation 眼科医	2022.6.29
	堺アイセンター活動報告とアフリベルセプト 長期治療例を振り返る	沢 美喜	第3回 Sakai Eye Seminar 眼科医	2022.9.22
	加齢黄斑変性アップデート	沢 美喜	2022年10月度大阪府保険医協会 眼科会員懇談会 医師全般	2022.10.22
	加齢黄斑変性アップデート	沢 美喜	参天製薬社内研修会 製薬会社社 員	2023.2.3
	Pachychoroid関連疾患の眼底自発蛍光	中川 典彦	第3回 Sakai Eye Seminar 眼科医	2022.9.22
	ルテインサプリメント研究(The Sakai Lutein Study)の追加解析	春藤 卓也	第3回 Sakai Eye Seminar 眼科医	2022.9.22
	PEDに対するPED治療成績	横山 彩子	第3回 Sakai Eye Seminar 眼科医	2022.9.22
	MIGSの適応を考える	西山 一聖	第3回 Sakai Eye Seminar 眼科医	2022.9.22
耳鼻咽喉科・ 頭頸部外科	慢性副鼻腔炎の嗅覚障害診療～疾病負荷と 検査のコツを中心に～	赤澤 仁司	Sinus Seminar in South OSAKA/ 耳鼻科医	2022.4.28
	好酸球性副鼻腔炎に対する効果的な治療戦略～ 病診連携の視点を織り交ぜて～	赤澤 仁司	Allergy Forum in SAKAI/ 耳鼻科医	2023.2.2
	経鼻下垂体手術における耳鼻咽喉科医の役割	赤澤 仁司	NACIフォーラム2023/耳鼻科医	2023.3.3
	「食べる」「味わう」「生きる」を支える嚥下 診療	長井 美樹	第7回和歌山県耳鼻咽喉科医会・ 嚥下及び在宅医療講演会	2022.10.29
	「食べる」「味わう」「生きる」を支える摂食 嚥下医療へ貢献するために～外来における 嚥下診療の実践～	長井 美樹	大阪府保険医協会 耳鼻咽喉科部 会学術講演会	2023.1.14
	近未来の耳鼻咽喉科医療－病院での展開 ～摂食嚥下 チーム医療から手術まで～	長井 美樹	第36回日本耳鼻咽喉科頭頸部外科 学会秋季大会シンポジウム	2022.11.6
腔歯 外科 科口	がん治療の支援のための“口腔管理”そして “口腔がん”	小倉 孝文	がん患者の会「ブランコの会」	2022.6.26

科名	演 題	発 表 者	講演会名及び対象	年 月 日
治療放射線科	緩和的放射線治療を在宅患者へ	和田健太郎	堺市医師会主催大阪府緩和ケア人材養成事業講演会	2023.2.4
放射線診断科	肝細胞癌治療のパラダイムテェンジ ABC Conversionを考える	中村 純寿	Hepatocellular Carcinoma Expert Meeting	2022.6.9
	内臓動脈瘤コイル塞栓術の塞栓率を上げるためのウチの工夫	中村 純寿	Ruby Coil user's Meeting in September	2022.9.15
薬剤・技術局	「薬剤師が知っておきたい感染症の知識」	安井友佳子	神戸薬科大学同窓会大阪支部 2022年度第1回学術講演会／薬剤師対象	2022.11.27
	「感染症に強い薬剤師になろう！基礎～応用まで」	安井友佳子	令和4年度スキルアップ研修会／薬剤師対象	2023.1.21
薬 剤 科	同行研修～退院時服薬指導、チーム医療～切れ目ない地域連携を目指して	藤井 一美	保険薬局薬剤師と病院薬剤師の連携研修会／薬剤師対象	2022.10.25
	『がん治療における薬薬連携～本気で取り組む時代の到来～』	藤井 千賀	奈良県薬剤師会生涯研修セミナー／薬剤師対象	2022.9.15
	当院における周術期薬剤管理の取り組み	浅香 倫子	大阪府病院薬剤師会第15支部12月学術講演会／薬剤師対象	2022.12.8
	実際のところ、みんなどうやっているの？～典型例から臨床薬剤師の業務を学ぶ～喘息・COPD	大谷 典子	第16回大阪府病院薬剤師会実務セミナー／薬剤師対象	2023.1.22
	レスキュー薬の選択と注意点について	山本 明紀	地域をつなぐ薬剤師セミナー／薬剤師対象	2023.3.4
	TDMやってみよう、やってみた、こうなった	山本 圭城	日本TDM学会 第66回セミナー／医療従事者対象	2023.3.18
テリハ技術科	慢性閉塞性肺疾患について	桂 智哉	フェニーチェ堺 文化交流室	2022.11.16
臨床工学科	当院のECMO導入について	杉本 憲彦	CV.com/循環器関連臨床工学技士	—
	急性期のコロナ透析	杉本 憲彦	堺ブロック情報交換会/堺市臨床工学技士	—
臨床検査技術科	ISO15189とコロナ検査	佐々木伸也	遺伝子病理・検査診断研究会 第3回ワンポイントショートセミナー(Web講演)/臨床検査技師対象	2022.5.11-6.1
	臨床検査技師会紹介(日臨技・大臨技)	是永 愛	令和4年度 大臨技「新人研修会」/臨床検査技師対象	2022.6.11
	病理検体を用いたFISH検査への取り組み	佐々木伸也	奈良県臨床検査技師会 病理・遺伝子合同講習会(Web講演)/臨床検査技師対象	2023.2.22
放射線技術科	「MR機器：性能評価を中心に」	木村 哲哉	磁気共鳴専門技術者認定試験直前勉強会(Web開催)／磁気共鳴専門技術者認定試験を受験予定の診療放射線技師・臨床検査技師・その他技術者	2022.9.25
	「画像評価・性能評価」	木村 哲哉	診療放射線技師基礎技術講習／日本診療放射線技師会員	2023.1.8
看護局	高齢透析患者の人生の最終段階をどのように迎えるか	田中 順也	第67回日本透析医学会学術集会 横浜医療者全般	2022.7.2
	維持血液透析を終了する事例：多職種協働による支援のあり方	田中 順也	第67回日本透析医学会学術集会シンポジウム横浜医療者全般	2022.7.3

科 名	演 題	発 表 者	講演会名及び対象	年 月 日
看 護 局	サイコネフロロジー「見える化」のはじめ方： 学会発表を通して 学会発表を目指す事例研究の基本から失敗 から学ぶ事例のまとめ方～	田中 順也	第33回日本サイコネフロロジー学 会学術集会シンポジウムオンライ ン医療者全般	2022.7.24
	医療者のことばが持つ力	田中 順也	第14回日本ヘルスコミュニケーション 学会学術集会シンポジウム名古屋 医療者・教育者	2022.10.1
	CKD看護を言語化しよう！事例報告のま まとめ方Part 4 ～事例報告の疑問を解決し よう～	他施設共同 田中 順也	第25回日本腎不全看護学会学術集 会交流集会名古屋医療者全般	2022.10.16

院内研究活動(2022年 4 月～2023年 3 月)

科 名	演 題	発 表 者	年 月 日
外脳 科神 科経	脳卒中の外科治療 ～診断から手術までの実際～ (令和 4 年度 第 2 回 臨床カンファレンス)	梶川隆一郎	2022.10.6
器泌 科尿	泌尿器科の救急	岩西 利親	2023.1.23
眼 科	眼科救急ここをみて(初期研修医 救急レクチャー)	春藤 卓也	2023.1.31
	令和 4 年度 第 4 回臨床カンファレンス 白内障・緑内障	西山 一聖	2022.3.9
	令和 4 年度 第 4 回臨床カンファレンス 加齢黄斑変性	春藤 卓也	2022.3.9
	令和 4 年度 第 4 回臨床カンファレンス 糖尿病・高血圧・ 腎疾患に関連する眼底疾患	中川 典彦	2022.3.9
	令和 4 年度 第 4 回臨床カンファレンス 甲状腺眼症	春藤 卓也	2022.3.9
腔歯 外科 科口	2022年度堺市立総合医療センター 勉強会 がん薬物療法 研究会レクチャー 特別編 薬剤師さんに知っておいてほ しい「がん治療時の口腔のトラブル」	小倉 孝文	2023.1.25
診放 断射 科線	ステントについて詳しくなろう	中村 純寿	2023.3.17
病 理 診 断 科	成人スティル病の経過中に緑膿菌敗血症と下腿壊死を発症 し死亡に至った 1 例	浅川 麻里・安原裕美子	2022.4.28
	終末期に急速に呼吸不全が進行した肺腺癌の 1 例	山下 央・安原裕美子	2022.5.26
	原因不明のミオパチーを背景に、急性肝障害を呈し死亡し た 1 例	渡邊 有史・安原裕美子	2022.5.26
	原発性アミロイドーシスの管理に難渋した 1 例	鈴木 裕・安原裕美子	2022.6.21
	SLE長期加療中に制御不能の消化管出血を来した 1 例	甲斐智太郎・安原裕美子	2022.7.21
	尿路感染治療中に急変したシェーグレン症候群の 1 例	シ リ ヤ ナ・安原裕美子	2022.8.18
	血管内リンパ腫に対してリツキシマブ治療開始早期に心肺 停止した 1 例	相原 諒・安原裕美子	2022.10.20
	ANCA関連血管炎経過中に急激な血圧低下を来した 1 例	石橋 拓恵・安原裕美子	2022.11.24
	急性骨髄性白血病の寛解導入療法中に発熱し急激に昏睡状 態となった 1 例	中谷 早希・安原裕美子	2022.11.24
	来院当日に急死した肺癌の 1 例	青木 雅実・安原裕美子	2022.12.15
	長期生存を得た巨大軸索性ニューロパチーの 1 例	萩原 伊織・安原裕美子	2022.12.15
	ショック・意識障害で搬送されたアルコール性肝硬変の 1 例	石田 貴大・安原裕美子	2023.1.19
	原発性硬化性胆管炎経過中に多発脳出血を来した 1 例	宮本 佳奈・安原裕美子	2023.2.9
	アルコール依存症患者の片側性横隔膜麻痺により呼吸不全 を来した 1 例	中川 達・安原裕美子	2023.2.9

科名	演 題	発 表 者	年 月 日
放射線 技 術 科	MRI安全管理研修「第1回 概論」	木村 哲哉	2022. 4.18-4.27
	MRI安全管理研修「第2回 磁場と高周波」	木村 哲哉	2022. 5.13-5.19
	MRI安全管理研修「第3回 傾斜磁場の人体への影響」	木村 哲哉	2022. 5.26-6.10
	MRI安全管理研修「第4回 撮像原理と装置管理」	木村 哲哉	2022. 6.14-6.27
	MRI安全管理研修「第5回 MR安全管理の決まり事(添付文書と規格)」	木村 哲哉	2022. 7.5-7.15
	MRI安全管理研修「第6回 MR安全管理の実務」	木村 哲哉	2022. 7.25-8.9
	読影の補助勉強会「第1回 STAT画像報告 ―読影の補助の考え方―」	藤原 健	2022.10.20
	読影の補助勉強会「第2回 脳CT Perfusion」	宮内 亮典	2022.12.22
	読影の補助勉強会「第3回 MR angiographyのアーチファクト」	大島 康慈	2023.1.31
	読影の補助勉強会「第4回 インシデントレポートから学ぶ」	藤本 学	2023.2.22
看護 局	読影の補助勉強会「第5回 胃透視検査」	坂 登喜子	2023.3.20
	第1回 CNC 長期化した患者の面会制限について ～コロナ禍における家族看護～	楠本 晃久	2022.11.4
	第2回 CNC 支援を受け入れられない高度視力障害のある患者との関わり	笹尾亜由美	2022.12.2
	第3回 CNC 分娩後出血により緊急塞栓術となった患者の看護とチーム医療について	佐々木綾子	2023.1.11

病 院 年 報 （令和4年度版）

編集・発行 地方独立行政法人 堺市立病院機構
法人本部 法人事務局 総務人事部 総務課

印 刷 宏 和 印 刷 株 式 会 社

